

第5回自然環境保全基礎調査

# 植生調査報告書

植生メッシュデータ作成及び全国とりまとめ業務

第6回植生調査手法の検討

統一凡例の考え方

平成11(1999)年3月

環境庁自然保護局

アジア航測株式会社



## 第 6 回植生調査手法の検討

### 統一凡例の考え方

#### 目 次

1	統一凡例の基本的な考え方	1
2	凡例体系の概要	1
3	植生図上の表示について	2
4	凡例名の変更	3
5	凡例の検討	4
6	植生区分・大区分の概要	5
資料-1	大区分・中区分の解説	資-1
資料-2	統一凡例(案)一覧	資-37



## 1 統一凡例の基本的な考え方

- ・研究者、専門家に加えアセス担当者、行政担当者などが利用者として増加することを想定し、専門家以外でも理解しやすい凡例とする。
- ・植生自然度、植生区分等、これまで既に定着してきた概念は継承する。
- ・既に調査された都道府県の群落凡例と統一凡例の対照関係を示し、従来の調査成果を継承できるよう配慮する。
- ・今回整備する植生図の縮尺（1/25,000）にあわせ、新たな知見の集積を反映できるよう凡例体系に柔軟性をもたせるよう配慮する。

## 2 凡例体系の概要

- ・第2回及び第3回調査で用いられてきた旧凡例について、植生区分－大区分（相観的な区分）－中区分（優占種的な区分）－細区分（群集及び群落）の各段階に区分して、その位置づけを整理した。
- ・自然植生、代償植生の区分、植生自然度等については、原則として、第2回及び第3回基礎調査時の都道府県からの報告を尊重しつつ、全国的な観点から同一の性格の群落は同一表示となるよう旧凡例を整理した。
- ・区分、中区分、細区分の組み合わせで約470の統一凡例を設定した（資料）。また、第2回及び第3回基礎調査で各都道府県で使用した旧凡例と、同一性格の群落を特定できるよう都道府県別の対照表を作成した（参考資料）。

### （植生区分）

- ・第2回及び第3回調査の植生区分と同様に区分した。（10区分）
- ・寒帯・亜高山帯自然植生を高山帯自然植生域（Ⅰ）に、亜寒帯・亜高山帯自然植生及び代償植生をコケモートウヒクラス域自然植生及び代償植生（Ⅱ及びⅢ）に名称を変更した。
- ・湿原、岩角地・石灰岩地・蛇紋岩地植生、火山荒原植生・硫気孔原植生等、特殊立地的な要素の強い草原のうち、その分布が植生域を越えて広域で確認されるものは、特殊立地の群落として、一つの植生区分（Ⅷ）にまとめた。ただし、自然草原や自然低木群落の中で、特定の植生域に分布が限られるもの（雪田草原等）は対応する植生区分に含めた。

### （大区分）

- ・大区分は58設定し、森林と草原、針葉樹と広葉樹、落葉性と常緑性等の区分、及び群系の分布の特徴、自然植生か代償植生かの別などの組み合わせにより区分した。
- ・分布範囲の広いものについては、その地理的特徴等によりさらに区分した。  
例：落葉広葉樹林（日本海型）、亜熱帯常緑広葉樹林（隆起石灰岩上）等

### （中区分）

- ・中区分は、252（伐採跡地群落など中区分のないもの4を含む）設定し、おもに優占種、相観、立地条件などを反映する区分とした。  
例：オオシラビソ群団、スズタケブナ群団、ケヤキ群落、アカマツ群落、火山荒原植生等
- ・同一の大区分の中で、群落の高さについて高～低、さらにその分布面積については大～小、分布域については北～南にそれぞれ順次配列した（図-1）。

### （細区分）

- ・細区分は、群集レベルでまとめられたもの、あるいはこれに準ずる群落により区分した。なお、現在設定されている細区分は257である。
- ・同一の中区分の中で、群落の高さについて高～低、さらにその分布面積については大～小、分布域については北～南にそれぞれ順次配列した（図-1）。

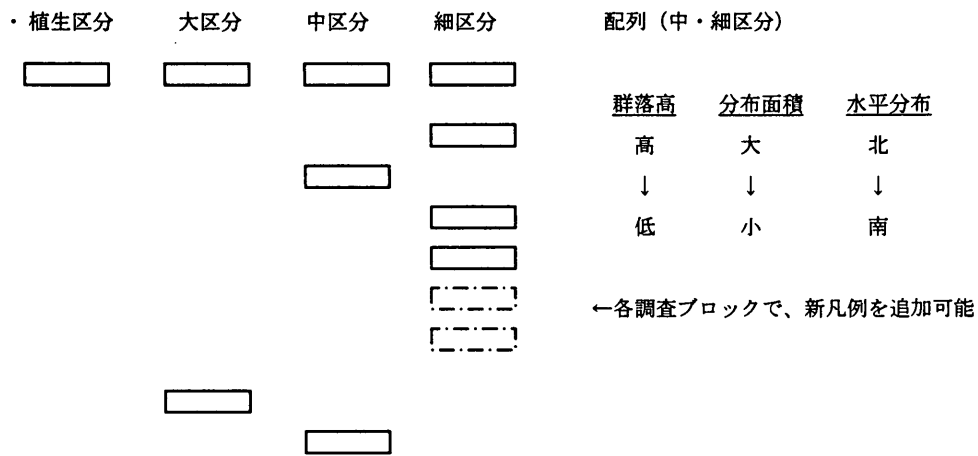


図-1 統一凡例体系のイメージ

### 3 植生図上の表示について

- ・ 現存植生図上の表示は、原則として大区分により彩色し、採用した凡例に通し番号を付し、対応するそれぞれの区画に表示する。  
 なお、大区分の示す群落が広範囲に分布する場合は中区分での彩色区分を検討する。
- ・ 凡例は原則として細区分のあるものは細区分を使用することとするが、植生資料の不足等から、細区分までの群落区分ができない場合に限り、中区分または大区分による凡例表示も可とする。
- ・ 植生域区分が難しいササ群落、伐採跡地群落等については、既存植生図や気候帯区分等の情報を参考に群落の植生区分を決定する。

#### 4 凡例名の変更

基本的には第2回第3回の凡例を踏襲したが、以下のような観点から凡例名の変更を行った。

##### ・群集・群落名の具体的表示

第2回第3回調査においては凡例名が複数の群集・群落を含む大区分名または中区分名に相当する場合があった。その場合は県別凡例解説によって、細区分名に該当する群集・群落名が併記されたり、記載内容から細区分名に該当する群集・群落名が妥当だと判断された場合は、具体的な内容を示す群集・群落名に変更した。なお、適当な細区分名がない場合は新規に群落名(案)を設定した。

例) 高山低木群落(宮城県)→コケモモハイマツ群集

##### ・群団・群集・群落名の変更

第6回調査では、最近の研究によるデータの蓄積と群落体系の整理の進展に伴い、順次大区分・中区分を細区分(群集レベル)に区分することをめざしている。凡例を設定するにあたって、その第一段階として、最近の研究で定説となっているものについてはそれにあわせることにした。なお、参考にした文献は全国の植生が体系的に扱われている「日本植生便覧」(宮脇・奥田・藤原1994)「日本植物群落図説」(宮脇・奥田1990)などである。

例) シラビソトウヒ群団→オオシラビソ群団

ノグルミーコナラ群落(長崎県対馬)→ノグルミーコナラ群集

ハマニンニクコウボウムギ群落→ハマニンニクコウボウムギ群集

レンゲツツジシラカンバ群落→レンゲツツジシラカンバ群集

シキミーモミ群集 →西日本の一部はコガクウツギーモミ群集

ジュウモンジンダーサワグルミ群集→四国・九州の外帯はヤハズアジサイサワグルミ群集

##### ・群集・群落名の表記の統一整理

群集の学名は一般に、2種の植物名の連記、すなわち、群集標徴種-群落体系の上位の標徴種(おもに群団レベルの優占種)の順で表記される(例: *Illicio-Abietum firmae*)。これに対応する和名には、群集の学名の順に2種の植物名を連記する方法(例: シキミーモミ群集)と、学名の順とは逆の連記をする方法(例: モミーシキミ群集)の2通りがあり、どちらを使用するかは学者により一致していない。前者は群集の学名の順序に従った表記法であり、後者はおもに群落の優占種を先頭においた、わが国での慣用的な表記法である。このようにこれらは、同じ実体をもつ植物群落に対しての和名表現上の違いである。

第2回、第3回の調査では、凡例に両者が混在していたため、同じ群落か別の群落かがわかりにくく、混乱を起こすきらいがあった。それを避けるため今回の第6回調査では、標徴種-上位の標徴種の順(学名表記の順)で表記を統一した。また、群集とほぼ同じレベルでのまとまりがあるが、現在暫定的に群落として扱われている単位についても同様の表記とした。なお、この統一は、どちらが正しいということによるものではなく、あくまで環境庁凡例表記としての整理であることに留意されたい。

##### ・植物名の呼称変更

基本的に「植物目録」(環境庁1988)に準拠した。

例) タブ→タブノキ、シイ→コジイまたはスダジイ、モクビャクコウ→モクビャクコウ、

マイヅルソウ→マイヅルソウ

##### ・土地利用等の表記の統一整理

伐採跡地群落は大区分、植林地、耕作地(路傍・空地雑草群落を除く)、市街地などは中区分までの扱いとし、凡例をまとめた。この理由として、伐採跡地群落では、植生図の更新間隔を考慮すると群落の遷移の進行が早いために細区分の必要性が少ないこと、植林地、耕作地では他の土地利用情報で概ね補完できること、市街地では細区分の必要性が少ないことがあげられる。あわせて表記の統一も行った。

例) 伐跡群落・ベニバナボロギクダンドボロギク群集など→伐採跡地群落

常緑果樹園・落葉果樹園・桑畑→果樹園

茶畑・畑地雑草群落・ヒメムカシヨモギオオアレチノギク群落など→畑地雑草群落

休耕田雑草群落→水田放棄雑草群落

## 5 凡例の検討

第2回第3回の凡例解説により植生図凡例を検討し、以下のような観点から検討事項をあげた。

### ・凡例の細分・新設

第2回第3回調査においては、凡例が複数の大区分・中区分に相当する場合や、複数の細区分に相当する群集・群落を含む場合があった。その場合は県別凡例解説の内容から、大・中・細区分名に該当する群集・群落名を判断し、現在の凡例を細分するよう提案した。

大区分・中区分レベルへの細分は、全国の表示精度をそろえるため、立地、相観、群落高、管理状況などの違いによってできるだけ行う。細区分レベルで区分するかどうかは、判読区分の可能性、分布面積、分布状況を検討して決定する。なお、群集・群落を細区分に新設する場合も含む。

例) 牧草地・ゴルフ場・芝地【大区分】→牧草地／ゴルフ場・芝地【中区分】に細分

ヤナギ低木群落(ヤブツバキクラス域)【中区分】

→ヤナギ高木群落／ヤナギ低木群落【中区分】に細分

ボショウジースダジイ群団【中区分】

→ケナガエサカキースダジイ群集／オキナワシキミースダジイ群集【細区分】などに細分

### ・群集・群落名の検討(保留)

第2回第3回調査において使用された凡例のなかには、最近の研究と対応させると内容が異なるために群集名を決定できないものや、最近の研究で群落体系の整理が完了していないために群集を確定できないものなどがある。前者の場合は、さらに調査を進め適当な群集・群落名を決定する。後者の場合は今後の研究の進展を待ち、群集として整理する。なお、参考にした文献は全国の植生が体系的に扱われている「日本植生便覧」(宮脇・奥田・藤原1994)「日本植物群落図説」(宮脇・奥田1990)などである。

例) イヌブナ群集→ブナーイヌブナ群集など

ミヤマクマワラビシオジ群集(兵庫県)→シオジ群落など

溪畔林(福島県)→サワグルミ群落など

ハドノキータブノキ群落(東京都)→イノデータブノキ群集など

### ・群集・群落が分布するかどうかの確認

第2回第3回調査において、植生図には記載されず欠番となっているにもかかわらず、凡例解説・調査票(または環境庁内部資料)にはその凡例番号に対応した記載がある場合がある。これについては、当該群集・群落が実際に分布するかどうかを確認する。群集・群落が存在しないか、表示できないほど小面積ならば凡例を整理し、表示できる面積があれば植生図に追加表示する。

### ・資料の追加

第2回第3回調査においては、植生図の凡例に対し、凡例解説・調査票の資料が県別に添付されている。資料に記載がないものは、資料を追加する。

### ・その他

優占種によって2つの凡例に分ける場合、他群落に含めても差し支えない場合など検討する。



## 6 植生区分・大区分の概要

以下に植生区分・大区分の概要を述べる。植生区分・大区分一覧表を表-1に示す。

### I：高山帯自然植生域（大区分1～3）（「」は大区分名または中区分名、()内の数字は大区分コードをさす）

日本の高山帯はヨーロッパアルプスなどにみられる草原主体の高山帯ではなく、ハイマツの低木群落優勢で植生体系上はコケモートウヒクラス域上部に含められているが、常緑針葉樹林の優占する亜高山帯とは景観上明瞭に区別できるため、一般的に高山帯の植生域として分けられている。

北海道北部では低地からみられ、南にいくほど高度を上げ、本州中部山岳で2400m以上が相当する。

本植生域の中心をなすのはハイマツ群落などの「高山低木群落」(1)で、風衝が強く積雪量の少ない尾根部で発達している。風衝地や崩壊地など砂礫の移動の激しい場所では「高山ハイデ及び風衝草原」(2)が成立し、積雪が遅くまで残る雪田や雪渓付近には「雪田草原」(3)が成立する。

### II：コケモートウヒクラス域自然植生（大区分4～7）

日本の常緑針葉樹林域は、広く分布する小型木本植物と針葉樹の名を組み合わせ、コケモートウヒクラス域と呼ばれている。

北海道の大雪山系では標高500m付近からみられるが、南にいくほど高度を上げ、本州中部では標高2400mから1500～1600mの間に発達する。四国では1700m以上となる。

北海道ではエゾマツ、トドマツなどのエゾマツ群団に属する「亜寒帯常緑針葉樹林」(4)が広い面積を占めている。本州、四国ではオオシラビソ群団に属する「亜高山帯常緑針葉樹林」(5)が広がり、日本海側多雪地ではオオシラビソ、太平洋側乾性立地ではシラビソ、シコクシラベ、コメツガなどが多い。なだれや崩壊が激しく常緑針葉樹林が成立できない立地には、ダケカンバを主とする「亜高山帯広葉樹林」(6)がみられる。斜面下部や上部のさらに不安定な立地では「高茎草原及び風衝草原」(7)がみられる。

### III：高山帯・コケモートウヒクラス域代償植生（大区分8～10）

高山帯及びコケモートウヒクラス域に生育する森林植生が伐採や山火事によって消失した跡には、回復途上の二次的な植生がみられる。もっとも代表的な植生は、ダケカンバ群落などの「亜高山帯二次林」(8)である。風衝や多雪などの環境条件の厳しいところでは、一度森林が破壊されると植生回復は遅く、それまで林床や周辺に生育していたササが繁茂し「二次草原」(9)となることも多い。明らかに伐採直後と判断される植物群落は、「伐採跡地群落」(10)として区分する。

### IV：ブナクラス域自然植生（大区分11～21）

日本の落葉広葉樹林域は、群落体系上の最上級単位であるブナクラスの名をとり、ブナクラス域と呼ばれている。

ブナクラス域は東北北部から北海道では低地からみられる。南にいくほど高度は上がり、中部日本で標高1500～1600mから600～700mの間に発達し、九州の霧島で1700から1000mとなる。

ブナクラス域は大きく2分される。北海道全域と本州の東北北部から中国地方の日本海側にかけては、「落葉広葉樹林（日本海型）」(11)が成立している。東北中部から九州にかけての太平洋側では「落葉広葉樹林（太平洋型）」(13)が成立している。前者は、さらに、北海道黒松内低地以北のブナが分布しない地域を「サワシパーミズナラ群団」、黒松内低地以南のブナの分布する地域を「チシマザサーブナ群団」として細分されている。

「落葉広葉樹林（日本海型）」「落葉広葉樹林（太平洋型）」の両タイプの決定要因となっているのは、温度条件とともに冬季の積雪量の多寡である。日本海側は、日本海をわたってくる季節風が脊梁山脈に沿って上昇し、豪雪をもたらす。そのため、「落葉広葉樹林（日本海型）」のうち「チシマザサーブナ群団」には雪圧や雪の匍行、融雪時の崩壊に耐えて生育できる形態をもつ植物が分化している。ブナは樹幹がまっすぐで葉も大きく、日本海側多雪地でもっとも優勢に生育する。林床の低木には幹が匍匐するヒメアオキ、ハイイヌツゲ、チャボガヤ、ハイイヌガヤなどの常緑植物や、葉が大型化したオオバクロモジ、マルバマンサクなどがみられ、

チシマザサ、クマイザサ、チマキザサなどのササ類が広範に生育している。

「落葉広葉樹林（日本海型）」のうち北海道北部の「サワシバーミズナラ群団」はブナが生育せず、ミズナラ、エゾイタヤ、シナノキ、ヤチダモを主とする多数の落葉広葉樹によって構成される。林床にはチシマザサーブナ群団と共通する低木類が生育するほか、日本海側にチシマザサ、太平洋側にエゾミヤコザサが多い。

これに対し、太平洋側は冬季寡雪で乾燥する太平洋型気候下にある。ここでみられる「落葉広葉樹林（太平洋型）」の「スズタケーブナ群団」では、ブナは樹幹の上方で杯状に多数の枝を分け、葉が小さい。林床にはスズタケやミヤコザサが高被度で生育している。このほかブナクラス域下部にはイヌブナ群落、ミズナラ群落などが分布している。なお、イヌシデアカシデ群落は太平洋側にも日本海側にも出現するが、ここに含めた。

「落葉広葉樹林（日本海型）」「落葉広葉樹林（太平洋型）」が成立するのは斜面の中生立地であるが、本州以南にはウラジロモミ群落、ヒノキアスナロ群落などの「冷温帯常緑針葉樹林」（14）が、気候的極相または土地的極相として成立している。北海道では典型的な常緑針葉樹林とはならず、ブナクラスを構成する落葉樹と、エゾマツ、トドマツなど亜寒帯常緑針葉樹が混生した「下部針広混交林」（12）となる。また、本州、四国、九州では岩角地の土地的極相としてアカマツやヒメコマツが優占する「岩角地針葉樹林」（15）がみられる。

溪流沿いの湿性立地ではサワグルミ群落、シオジ群落などの「溪畔林」（16）が成立し、河川後背の過湿地ではハンノキ群落、ヤチダモ群落などの「沼沢林」（17）が成立する。河川沿いではヤナギ高木群落などの「河辺林」（18）が成立する。

以上のような森林が成立しない不安定な立地では自然低木群落や自然草原がみられる。低木群落は、斜面上部に分布するウラジロヨウラクミヤマナラ群団などの「岩角地・風衝地低木群落」（19）と、斜面下部に成立するタニウツギ群落などの「なだれ地低木群落」（20）に分けられる。「自然草原」（21）も、斜面上部の風衝地にササ群落、斜面下部にオオヨモギーオオイタドリ群団などがみられる。

## V：ブナクラス域代償植生（大区分22～26）

ブナクラス域に生育する森林植生が伐採や山火事によって消失した跡地には、回復途上の二次的な植生がみられる。もっとも代表的な群落は、ミズナラ、カシワ、コナラなどナラ類を主とする「落葉広葉樹二次林」（22）で、里山として数年ごとの伐採を繰り返すことによって維持されてきた。斜面上部の乾性立地では、アカマツを主とする「常緑針葉樹二次林」（23）が先駆的に形成される。尾根部や山頂部、急傾斜地などの風衝の激しい場所や凹状の積雪の多い場所では、森林が成立せず、ノリウツギ群落などの「落葉広葉低木群落」（24）や、ササが侵入繁茂した「二次草原」（25）となることが多い。明らかに伐採直後と判断される植物群落は、「伐採跡地群落」（26）として区分する。

## VI：ヤブツバキクラス域自然植生（大区分27～39）

日本の常緑広葉樹林域は、体系上の最上級単位であるヤブツバキクラスの名をとって、ヤブツバキクラス域と呼ばれている。

ヤブツバキクラス域は関東以西の標高700～800m以下で発達し、北にいくほど高度を下げ、東北地方北部では海岸寄りに北上している。逆に南にいくほど高度は上がり、九州の霧島では1000mが上限となる。

ヤブツバキクラス域は、本州、四国、九州までの地域と、常緑植物の豊富な奄美大島以南の琉球及び小笠原の亜熱帯域に大きく2分される。

本州の東北南部から九州では「常緑広葉樹林」（27）が成立し、低地から丘陵地にかけてはシラカシ、アカガシ、イチイガシなどのカシ類の群落、コジイやスダジイなどシイ類の群落がみられ、低地の沖積地ではタブノキ群落、ホルトノキ群落などがみられる。

本州以南のヤブツバキクラス域上部や下部には、モミ群落などの「暖温帯常緑針葉樹林」（28）が気候的極相または土地的極相として成立している。また、岩角地や海岸断崖地の土地的極相として、アカマツ群落やクロマツ群落などの「岩角地・海岸断崖地針葉樹林」（29）がみられる。溪谷沿い、自然堤防などの湿性立

地では「落葉広葉樹林」(30)が成立している。

河川後背の過湿地では、ブナクラス域と同様にハンノキ群落などの「沼沢林」(31)が成立し、河川沿いではヤナギ低木群落などの「河辺林」(32)が成立している。

風衝地、火山地、河口の汽水域などの森林が成立しない立地では、「自然低木群落」(33)がみられる。また、潮風の激しい海岸風衝地には「海岸風衝低木群落」(34)が成立している。

奄美大島以南、及び小笠原を含む亜熱帯域では、古生層など非石灰岩を母岩とする地域に「亜熱帯常緑広葉樹林」(35)がみられ、石灰岩を母岩とする地域にナガミボチョウジーリュウキュウガキ群団などの「亜熱帯常緑広葉樹林(隆起石灰岩上)」(36)がみられる。いずれもきわめて多種の常緑植物によって構成される。海岸の河口では熱帯にも広く分布する「亜熱帯湿生林(マングロブ林)」(37)が、海岸断崖地ではリュウキュウマツ群落の「亜熱帯針葉樹林」(38)が成立している。以上のような森林の成立できない海岸断崖地、砂丘、火山地などでは各種の「亜熱帯低木群落」(39)がみられる。

#### **VII：ヤブツバキクラス域代償植生(大区分40～46)**

ヤブツバキクラス域では、古くから人間の居住地域となり植林地・耕作地、市街地等の土地利用が進んでいるため、自然植生のほとんどは、代償植生によっておきかえられている。しかし、これらの群落は身近な植物の生育空間として重要である。

森林植生が伐採や山火事によって消失した跡地には、回復途上の二次的な植生がみられる。ヤブツバキクラス域の南部には植生回復が進みシイ類、カシ類、タブノキなどの常緑広葉樹が萌芽再生した「常緑広葉樹二次林」(40)がみられる。一方、クラス域北部の低地から丘陵地の広い範囲には、コナラ、クヌギ、イヌシデなどを主とする「落葉広葉樹二次林」(41)が分布し、里山として定期的な伐採により維持されてきた。乾燥しやすく貧養な立地では、マツ類が先駆的に生育する「常緑針葉樹二次林」(42)が形成され、丘陵地斜面上部の乾性立地ではアカマツ、海岸の風衝斜面ではクロマツ、沖縄ではリュウキュウマツが分布している。この他、河川堤防、林縁などの陽地では「タケ・ササ群落」(43)や、先駆的な「低木群落」(44)が形成される。人為的影響がさらに強まる刈り取り草地や放置後数年以上が経過した造成地などには、ススキ、シバなど各種の多年生草本からなる「二次草原」(45)が出現する。明らかに伐採直後と判断される植物群落は「伐採跡地群落」(46)として区分する。

#### **VIII：河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等(大区分47～53)**

河辺・湿原・塩沼地・砂丘など、植物の生育にとって厳しい特殊な立地に成立する草本植物群落(一部低木群落を含む)は、土地的要因に規定される自然植生であり、気候的要因で規定されるクラス域を越えて分布している。これらは「湿原・河川・池沼植生」(47)、「塩沼地植生」(48)、「砂丘植生」(49)、「海岸断崖地植生」(50)、「岩角地・石灰岩地・蛇紋岩地植生」(51)、「火山荒原植生・硫気孔原植生」(52)、「隆起珊瑚礁植生」(53)に分けられ、それぞれの立地に適応した独特の相観をもつ植物群落が形成されている。

#### **IX：植林地、耕作地植生(大区分54～57)**

人工的に管理される植生区分であり、各種の「植林地」(54)、「竹林」(55)、「牧草地・ゴルフ場・芝地」(56)、「耕作地」(57)が含まれる。耕作地や市街地周辺の路傍・空地などに形成される二次草原(ヒメムカシヨモギ、オオアレチノギクなど越年生の帰化植物群落や、セイタカアワダチソウ、ヨモギ、クズなど多年生草本の群落)は、持続期間が短い植物群落であるという理由から、本植生区分に含まれている。

#### **X：その他(大区分58)**

植生がほとんど見られない地域であり、「市街地等」(58)として、市街地、工場地帯、造成地、干拓地、開放水域、自然裸地が含まれる。

表-1 統一凡例案（植生区分・大区分一覧表）

植生区分別の大区分

植生区分	大区分	大区分数
I 高山帯自然植生域	1 高山低木群落 2 高山ハイデ及び風衝草原 3 雪田草原	3
II コケモモトウヒクラス域自然植生	4 亜寒帯針葉樹林 5 亜高山帯針葉樹林 6 亜高山帯広葉樹林 7 高茎草原及び風衝草原	4
III コケモモトウヒクラス域代償植生	8 亜高山帯二次林 9 二次草原 10 伐採跡地群落	3
IV ブナクラス域自然植生	11 落葉広葉樹林（日本海型） 12 下部針広混交林 13 落葉広葉樹林（太平洋型） 14 冷温帯針葉樹林 15 岩角地針葉樹林 16 溪畔林 17 沼沢林 18 河辺林 19 岩角地・風衝地低木群落 20 なだれ地低木群落 21 自然草原	11
V ブナクラス域代償植生	22 落葉広葉樹二次林 23 常緑針葉樹二次林 24 落葉広葉低木群落 25 二次草原 26 伐採跡地群落	5
VI ヤブツバキクラス域自然植生	27 常緑広葉樹林 28 温暖帯針葉樹林 29 岩角地・海岸断崖地針葉樹林 30 落葉広葉樹林 31 沼沢林 32 河辺林 33 自然低木群落 34 海岸風衝低木群落 35 亜熱帯常緑広葉樹林 36 亜熱帯常緑広葉樹林（隆起石灰岩上） 37 亜熱帯湿性林（マングローブ林） 38 亜熱帯常緑針葉樹林 39 亜熱帯低木群落	13
VII ヤブツバキクラス域代償植生	40 常緑広葉樹二次林 41 落葉広葉樹二次林 42 常緑針葉樹二次林 43 タケ・ササ群落 44 低木群落 45 二次草原 46 伐採跡地群落	7
VIII 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生等	47 湿原・河川・池沼植生 48 塩沼地植生 49 砂丘植生 50 海岸断崖地植生 51 岩角地・石灰岩地・蛇紋岩地植生 52 火山荒原植生・硫気孔原植生 53 隆起珊瑚礁植生	7
IX 植林地、耕作地植生	54 植林地 55 竹林 56 牧草地・ゴルフ場・芝地 57 耕作地	4
X その他	58 市街地等	1

注) クラス域区分と植生区分

日本の植生は、自然植生の構成種の名をとって、高山帯域、コケモモトウヒクラス域、ブナクラス域、ヤブツバキクラス域\*の各クラス域に大別されている。この「クラス域」とは、広域に分布し景観を特徴づけている自然植生によって植物社会学的に定義されたもので、主要なクラスの生育域のことである。

それぞれのクラス域は高山草原とハイマツ帯、亜高山針葉樹林域、落葉広葉樹林域、常緑広葉樹林域に対応している。これらの分布の決定要因となっているのは気候、なかでも気温である。

統一凡例の植生区分の設定では、これらクラス域の植生について自然植生と代償植生とに区分した。さらに、河辺・湿原・塩沼地・砂丘などの環境条件の厳しい特殊な立地に生育する植生のように、クラス域を超えて分布する植生（主として自然草原）については、地形や地質的要因で持続する自然植生であるため、特殊立地の自然植生として独立して区分した。

\*小笠原の常緑広葉樹林の上級単位は現在のところ決定していないが、便宜上ヤブツバキクラス域に含めた。



## 資料－ 1

### 大区分・中区分の解説



## ●大区分1:高山低木群落

日本の高山帯を特徴づけるハイマツが優占する常緑低木群落を主体とし、林縁や谷筋に分布する落葉広葉樹の低木群落をも含む。風衝が強く積雪量の少ない尾根部ではハイマツ群落が広く発達し、稜線の風衝地ではミヤマナラ、ミネザクラ、コミネカエデなどが多い。谷部ではミヤマハンノキなどの落葉低木群落が小面積でモザイク状に入りこんでいる。これらの群落が交錯し植生図上で表示できない場合や、ハイマツとハクサンシャクナゲやチシマザサが混生する場合などが含まれる。

第2回第3回の凡例解説の内容を整理した結果、北海道から岐阜県まで8道県がこの凡例に該当する。なお、ハイマツ群落の分布面積が大部分を占めれば後述する中区分の「ハイマツ群落」とし、落葉広葉樹の低木群落の分布面積や分布パターンによっては、「ハイマツ群落」と「亜高山帯広葉樹林」（大区分6）に分けて記載する。また、チシマザサが優占する地域は「高茎草原及び風衝草原」（大区分7）とする。

### ◆中区分：ハイマツ群落

高山や高緯度地方の山地に分布するハイマツの優占する常緑針葉樹低木群落。比較的雪の少ない風衝側の斜面や尾根部に広く成立する。コケモモハイマツ群集を主体とし、林縁の落葉広葉樹低木群落を含む。第2回第3回では、北海道から岐阜県まで9道県が、コケモモハイマツ群集として記載されているか、あるいは同群集に該当すると判断される（凡例解説により判断し、高山低木群落の一部を同群集として扱っている）。

## ●大区分2:高山ハイデ及び風衝草原

高山や高緯度地方の山地の風衝地や崩壊地などに分布する矮性低木群落や草原が一括されている。山頂部の斜面や稜線、周氷河土、崩壊地など、乾燥と低温にさらされ砂礫の移動が激しいためにハイマツ群落が成立しないところにみられる。やや安定した礫原ではミネズオウ、ガンコウラン、コメバツガザクラ、ウラシマツツジなどのツツジ科を主とした矮性低木によって構成される高山ハイデ（ヒース）が発達する。さらに風衝が強く砂礫の移動の激しい不安定地では風衝草原が形成され、美しい乾性のお花畑となっている。これらは北海道のエゾオヤマノエンドウ群落、本州のコマクサーイワツメクサクラス、タイツリオウギ群落、ヒゲハリスゲ群落など、地域によって異なる植生単位に細分されている。

第2回第3回では、北海道から岐阜県まで9道県でこの大区分名で記載されているが、後述する中区分に細分される可能性がある。

### ◆中区分：ミネズオウ群落

高山や高緯度地方の山地の風衝地に成立する矮性低木群落。やや安定した礫原に成立しガンコウラン、ミネズオウ、コメバツガザクラなどが優占しカーペット状に広がり、イワウメ、イワヒゲ、チシマツガザクラなどを伴う。第2回第3回では、コメバツガザクラ－ミネズオウ群集として北海道から静岡県まで6道県で記載されている。

### ◆中区分：エゾオヤマノエンドウ群落

北海道の山地の少雪地、風衝地に成立する矮性低木群落。エゾマメヤナギ、エゾオヤマノエンドウを主とし、マルバヤナギ、タカネツメクサなどが混生する。周氷河土などにもみられる。第2回第3回では、エゾマメヤナギ－エゾオヤマノエンドウ群集として北海道で記載されている。

### ◆中区分：ヒゲハリスゲ群落

中部山岳の風衝の激しい稜線や傾斜地に成立する多年生草本群落。オヤマノエンドウ、タカネシオガマ、ハクサンイチゲ、チシマギキョウなどが生育する。第2回第3回では、オヤマノエンドウ－ヒゲハリスゲ群集として富山県、山梨県、静岡県で記載されている。

### ◆中区分：タイツリオウギ群落

高山の崩壊性の強い傾斜地に成立する多年生草本群落。イワオウギ、ミヤマオトコヨモギ、イワベンケイ、タカネツメクサ、シコタンソウなどが生育する。第2回第3回では、イワオウギ－タイツリオウギ群集として静岡県で記載されている。

### ◆中区分：イワツメクサ群落

高山の崩壊性の強い傾斜地に成立する多年生草本群落。イワツメクサが優占する。第2回第3回では、石川県で記載されている。

### ◆中区分：コマクサーイワツメクサクラス

高山の周氷河土、火山、風衝砂礫地、崩壊地、雪田底などに成立する荒原草本群落。コマクサ、イワブクロ、コバノツメクサなどが生育する。第2回第3回では、北海道から静岡県まで5道県で記載されている。細区分にはミヤマクロスゲ－チシマクモグサ群集（北海道）、フジハタザオーオンタデ群集（静岡県富士山）がある。



### ●大区分3:雪田草原

高山や高緯度地方の山地の遅くまで残雪のある雪田に分布する矮性低木群落及び草原。多雪であるためハイマツ林が成立しにくい場所にみられ、冬季季節風の風背側の緩斜面から平坦地にかけて広面積で発達し、雪蝕圈谷や二重山稜などの凹状地、谷筋では帯状に分布する。雪田上部の急傾斜の岩礫地や雪田底部の砂礫地など融雪後乾性化する立地では、アオノツガザクラが高常在度で生育し、チングルマ、ジムカデ、ミネズオウなどを伴うカーペット状の群落を形成する（アオノツガザクラ群団、チングルマ群落など）。融雪後も適潤な立地ではエゾコザクラ、ヒナザクラ、ハクサンコザクラなどサクラソウ属の草原が形成される。融雪水が流下する緩傾斜地または平坦地は周年湿性となり、黒泥土や泥炭が形成され、イワイチョウ、ショウジョウスゲ、ヌマガヤなどヌマガヤオーダーの群落（ショウジョウスゲ群落）がみられる。これらはいわゆる湿性のお花畑で夏季には美しい花で彩られる。

第2回第3回では、北海道から岐阜県まで12道県がこの凡例で記載されているが、これらのうちには分布面積によっては後述する中区分に区分される可能性がある。

#### ◆中区分：チングルマ群落

高山や高緯度地方の山地で雪田や湿性の緩斜面に成立する植生高の低い植物群落。チングルマやエゾツガザクラを主とし、ミツバオウレン、ハクサンボウフウなどが混生する。第2回第3回では、エゾツガザクラチングルマ群落として北海道で記載されている。

#### ◆中区分：アオノツガザクラ群団

高山や高緯度地方の山地の雪田や緩斜面の水の豊富な立地に成立する低茎の多年生草本群落。アオノツガザクラの他、タカネヤハズハハコ、イワカガミ、ミツバオウレン、ジムカデ、キンスゲなどが生育する。雪田、雪渓など積雪の残る湿潤な立地だけでなく、火口壁、岩礫地などにもみられる。第2回第3回では、石川県で記載されている。細区分にはエゾコザクラ群落、エゾツガザクラアオノツガザクラ群落（以上北海道に分布）、タカネヤハズハハコアオノツガザクラ群集（中部地方に分布）がある。

#### ◆中区分：ショウジョウスゲ群落

主として高山や高緯度地方の山地の浅く泥炭の形成された斜面凹状地に成立する草本群落。ヌマガヤオーダーの植物群落で、コケモートウヒクラス域でも成立するが、主要な分布域は高山帯である。ショウジョウスゲまたはヌマガヤが優占し、イワイチョウ、ショウジョウバカマ、タテヤマリンドウ、ミヤマリンドウ、キンコウカなどが混生する。第2回第3回では、ショウジョウスゲイワイチョウ群集として富山県、石川県で記載されているが、他に本州中部以北で確認される可能性がある。

### ●大区分4:亜寒帯針葉樹林

北海道のコケモートウヒクラス域に分布する常緑針葉樹の自然林。北方針葉樹林とも呼ばれる。山地斜面の適潤地に優占するエゾマツ、トドマツの群落を主体とする。岩角地、蛇紋岩地や湿地周辺など特殊立地にはアカエゾマツが優占する。他にダケカンバ、イチイなどが混じる。これらの群落は中区分のエゾマツ群団として一括されている。

#### ◆中区分：エゾマツ群団

北海道のコケモートウヒクラス域に分布する常緑針葉樹の自然林。エゾマツ、トドマツ、アカエゾマツが優占する。エゾマツ、トドマツは北海道に分布し、アカエゾマツは北海道と岩手県早池峰山に分布する。第2回第3回では、エゾマツトドマツ群集（北海道の山地の適潤地に分布）、アカエゾマツ群集（北海道、岩手県の岩角地、湿原の付近など特殊立地に分布）、イチイトドマツ群集（北海道の山地の寒冷湿潤な多霧帯に分布）、ダケカンバエゾマツ群落（北海道の山岳地に分布）など、4つの群集・群落として記載されている。

## ●大区分5: 亜高山帯針葉樹林

本州、四国のコケモモトウヒクラス域に分布する常緑針葉樹または落葉針葉樹の自然林。冬季季節風の風衝斜面でよく発達し高木林となるが、コケモモトウヒクラス域上限や湿原の周辺では低木の疎林となる。なだれの頻発する風背斜面ではほとんど発達しない。もっとも代表的な群落は日本海側のオオシラビソの優占する群落である。太平洋側では地域によってシラビソ、トウヒ、シコクシラベ、コメツガの他、落葉針葉樹のカラマツが優占する。これらは中区分のオオシラビソ群団として一括されている。

### ◆中区分：オオシラビソ群団

本州、四国のコケモモトウヒクラス域に分布する常緑針葉樹または落葉針葉樹の自然林。日本海側では主としてオオシラビソ、トウヒが優占し、太平洋側ではシラビソ、シコクシラベ、コメツガの他、落葉針葉樹のカラマツが優占する。第2回第3回では、シラビソトウヒ群団など（長野県、岐阜県、石川県）として記載されたが、最近の研究によりオオシラビソ群団の名称に変更した。

細区分にはオオシラビソ群集（本州中部以北の日本海側に広面積で分布）、シラビソ-オオシラビソ群集（本州の関東、中部の太平洋側に分布）、シコクシラベ群集（四国に分布）、コメツガ群落（本州の東北、関東、中部、近畿の岩礫地に分布）、カラマツ群落（本州中部の火山性礫地や河辺に分布）がある。

## ●大区分6: 亜高山帯広葉樹林

コケモモトウヒクラス域におけるなだれ地、崩壊地では、針葉樹高木林が成立せず、ダケカンバを主とする落葉広葉樹の自然低木林が形成されている。ダケカンバが優占し、ナナカマド、オガラバナ、ミヤマハンノキなどが混生する。

### ◆中区分：ミドリユキザサ-ダケカンバ群団

コケモモトウヒクラス域における急傾斜地、積雪の多い立地などに成立する落葉広葉樹の自然低木林。地域によってダケカンバ、ミヤマハンノキ、ヤハズハンノキなど数種のいずれかが優占する。日本海側では融雪時期の遅れ、雪の匍行、なだれの頻度が高いなど積雪の影響が強い斜面部にみられる。太平洋側では積雪が多く崩壊性の強い風衝地にみられる。ササ-ダケカンバ群落より高海拔地の、積雪量のより多いところに分布する。第2回第3回では、福島県から静岡県まで6県で本群団として一括して記載されている。細区分にはミヤマハンノキ-ダケカンバ群集などがある。

### ◆中区分：ササ-ダケカンバ群落

コケモモトウヒクラス域からブナクラス域上部の比較的積雪量の多いところに成立する落葉広葉樹の自然低木林。ダケカンバが優占し、林床にチシマザサが密生することを特徴とする。高山山頂や溪岸斜面上部のなだれ地などに広くみられるが、日本海側では南・西向き融雪がやや遅い斜面やなだれの少ないところでよく発達する。ミドリユキザサ-ダケカンバ群団より低海拔で積雪量の少ないところに分布する。第2回第3回では、北海道から岐阜県まで13道県で記載されている。

## ●大区分7: 高茎草原及び風衝草原

コケモモトウヒクラス域の傾斜地において、斜面下部のなだれ地や凹状地、斜面上部の風衝地などは、広葉樹林が成立できないきわめて不安定な立地であるため、高茎広葉草原（シナノキンバイ-ミヤマキンポウゲ群団）及び各種のササ群落が形成される。

### ◆中区分：シナノキンバイ-ミヤマキンポウゲ群団

コケモモトウヒクラス域のうち積雪の多い急傾斜地、小谷などに成立する高茎広葉草原。北海道ではトカチフウロ、タカネトウチソウ、ミヤマキンポウゲ、バイケイソウ、ミヤマイなどが生育する。本州日本海側の多雪地では広面積に発達し、シナノキンバイ、ミヤマキンポウゲ、ハクサンフウロ、ハクサンポウフウ、ハクサンイチゲ、コバイケイソウなどが生育する。第2回第3回では、北海道から静岡県まで11道県で記載されている。

### ◆中区分：ササ群落

コケモモトウヒクラス域のうち、おもに山頂部や尾根筋の風衝地、谷筋のなだれ地や崩壊地に成立するササ群落。日本海側ではチシマザサを中心に、クマイザサ、チマキザサ、オオバザサなど、太平洋側ではミヤコザサなどが優占し、多種のササ類の群落が一括されている。日本海側多雪地に多く、風背側斜面、なだれ地、積雪の残る場所、湿原周辺などにもみられる。なお、風衝地やなだれ地で人為の加わり方の判断が難しい場合は、自然植生として区分する。第2回第3回では、北海道、群馬県、新潟県、福井県、高知県で記載された群落が該当する。細区分にチシマザサ群落（北海道から本州の日本海側に分布。積雪深50cm以上に一致する）、オクノカンスゲ-チシマザサ群集がある。

## ●大区分8: 亜高山帯二次林

コケモモトウヒクラス域における伐採跡地、山火事跡地などに復元した落葉広葉樹の二次林。ダケカンバが優占し、林床にはササが生育する。

### ◆中区分：ダケカンバ群落

コケモモトウヒクラス域における伐採跡地、山火事跡地などに復元した落葉広葉樹の二次林。ダケカンバ、ウダイカンバなどが優占する。第2回第3回では、北海道から高知県まで13道県で記載されている。

## ●大区分9: 二次草原

コケモモトウヒクラス域における伐採跡地、スキー場、造成跡地などに復元した二次草原のうち、帰化雑草などを含まない安定した組成を持つ持続的な群落。風衝地や積雪の残る場所ではチシマザサ、クマイザサなどのササ類の群落、多雪地ではイネ科多年生草本のヒゲノガリヤス群落などがみられる。

### ◆中区分：ササ群落

コケモモトウヒクラス域における伐採跡地、スキー場、造成跡地などに復元したササ群落。チシマザサ、クマイザサが優占する。人為的な影響によって成立したことが明らかな場合に限る。なお、風衝地や残雪のある場所では持続群落となる場合があるので、人為の加わり方の判断が難しい場合は自然植生（大区分7）として区分する。第2回第3回では、北海道から高知県まで11道県で記載されている。細区分にチシマザサ群落（北海道から本州の日本海側に分布。分布域は積雪深50cm以上に一致する）、クマイザサ群落がある。

### ◆中区分：ヒゲノガリヤス群落

コケモモトウヒクラス域における伐採跡地、スキー場、造成跡地などに復元した高茎のイネ科草本群落。ヒゲノガリヤスが優占する。ヒゲノガリヤスは本州の高山帯からブナクラス域に分布し、多雪地に多い。第2回第3回では、長野県で記載されている。

## ●大区分10: 伐採跡地群落

森林の伐採跡地に形成された草本群落、または1m前後の樹高の低い落葉広葉低木群落。伐採直後は土壌が一時的に富養になるが、数年後には表土が流亡し乾性、貧養になる。そのため、伐採跡地の群落は持続期間が短く次々に遷移する。一般にはブナクラス域中部以上のものに類似するが、森林復元には一層長い時間を要する。第2回第3回では、北海道から奈良県まで9道県で記載されている。

伐採跡地群落は経年変化を統計的に検討するために従来と同様、各クラス域に細分している。中区分、細区分は行わない。なお、樹高2m以上の落葉低木群落に発達したものは「亜高山帯二次林」（大区分8）として区分する。

## ●大区分11:落葉広葉樹林(日本海型)

北海道、本州の日本海側多雪地に分布するブナクラス域における落葉広葉樹林。北海道の黒松内低地以南から中国地方にかけての広い範囲ではよく発達したブナ林(チシマザサ-ブナ群団)が分布している。北海道の黒松内以北ではブナを欠きエゾイタヤ、シナノキ、ミズナラなど多種の落葉樹が生育するミズナラ林(サワシバ-ミズナラ群団)が分布している。また、北海道から東北北部にかけての海岸風衝地ではカシワが優占するカシワ群団、エゾイタヤが優占するエゾイタヤ-シナノキ群団が分布している。

### ◆中区分:チシマザサ-ブナ群団

ブナクラス域における北海道黒松内以南の主として日本海側山地に分布する落葉広葉樹の自然林。ブナが優占し、ホオノキ、ハウチワカエデ、ミズナラなどが混生する。低木層以下にはチシマザサ、チマキザサ、オオバクロモジなど冬季多雪な日本海側に分布する植物が生育する。群団標徴種のチシマザサは北海道から本州の日本海側に分布し、分布域は積雪深50cm以上に一致することが知られている。第2回第3回では、北海道や東北地方の日本海側山地で広大な面積を占め、中国地方までの15道県で本群団に一括して記載されている。

細区分にはヒメアオキ-ブナ群集(本州日本海側の緩斜面凹地、土壌の厚い適潤地に分布)、マルバマンサク-ブナ群集(日本海側滋賀県までの尾根状地に分布)、スギ-ブナ群落(日本海側の秋田、立山、山口などに分布)、クロモジ-ブナ群集(中国山地に分布)の4群集・群落がある。

### ◆中区分:サワシバ-ミズナラ群団

ブナクラス域のうちおもに北海道の道東、道央に分布する落葉広葉樹の自然林。山地の適潤から乾性の立地に成立し、ブナを欠き、ミズナラ、エゾイタヤ、シナノキ、ヤチダモを主とし、アサダ、サワシバ、ホオノキなど多種の落葉広葉樹が混生する。林床にはチシマザサ-ブナ群団と共通する低木類のほか、日本海側でチシマザサ、太平洋側にミヤコザサが多い。第2回第3回では、北海道で記載されているが、他に群団の分布が確認されている青森県東部、岩手県北部でも区分される可能性がある。

なお、第2回第3回で記載されたエゾイタヤ-シナノキ群落は、北海道では成帯的な分布を示し、種組成もきわめて豊富である。これに対し本州では海岸風衝地の土地の極相として現れ、種組成も貧化している。最近の研究成果(「日本植物群落図説」等)を参照し、前者をサワシバ-ミズナラ群団に、後者をエゾイタヤ-シナノキ群団(後述)として中区分を分けている。

### ◆中区分:エゾイタヤ-シナノキ群団

ブナクラス域のうち、北海道、本州の主として日本海側の海岸風衝地に成立する落葉広葉樹の自然林。エゾイタヤが優占し、シナノキ、カシワ、ケヤキが混生する。第2回第3回では、北海道でエゾイタヤ群落、青森県、秋田県、山形県、新潟県、石川県でエゾイタヤ-シナノキ群落として記載されているが、これらをエゾイタヤ-シナノキ群団としてまとめている。

### ◆中区分:カシワ群団

ブナクラス域のうち、北海道、本州の主として日本海側の海岸風衝地に成立する落葉広葉樹の自然低木林。カシワが優占する。第2回第3回では、カシワ群落などとして北海道、東北地方北部、新潟県まで5道県の日本海側海岸で記載されている。

なお、カシワ群落には内陸の火山地など乾性立地に成立するものもあるが、これは「落葉広葉樹二次林」(大区分22)に含めて扱っている。

## ●大区分12:下部針広混交林

道南を除く北海道のブナクラス域上部に分布する、常緑針葉樹と落葉広葉樹の混交する自然林。エゾマツ、トドマツなどの亜寒帯針葉樹に、ハルニレ、ミズナラ、エゾイタヤ、シナノキなどのブナクラスの落葉樹が混交し、明瞭な優占種はない。林内にはササが多い。道央から道東にかけての低山地、丘陵地に分布している。植林地への転換や針葉樹の択伐によって原生の林分は少なくなっている。第2回第3回では、北海道で記載されている。

## ●大区分13: 落葉広葉樹林(太平洋型)

本州、四国、九州のブナクラス域において、冬季寡雪である太平洋側山地を中心に分布する落葉広葉樹の自然林。もっとも主要な植生単位はブナが優占し林床にはスズタケやミヤコザサなどが生育するスズタケブナ群団である。他にブナクラス域下部ではイヌブナ群落、ミズナラ群落、イヌシデアカシデ群落などがみられる。

### ◆中区分：スズタケブナ群団

ブナクラス域における岩手県以南の太平洋側山地に分布する落葉広葉樹の自然林。ブナが優占し、ホオノキ、ハウチワカエデ、ミズナラなどが混生する。低木層以下にはスズタケ、ミヤコザサ、クロモジなど冬季寡雪な気候に適応した植物が生育する。これらの植物は、チシマザサ、チマキザサ、オオバクロモジなど冬季多雪な日本海側に生育する植物と著しい対照をなしている。現存する生育地は小面積でしかも孤立分断されている。第2回第3回では、岩手県から熊本県までの14県で本群団として一括して記載されている。

細区分にはヤマボウシブナ群集（関東、中部地方に分布）、ミヤコザサブナ群集（関東北部に分布）、シラキブナ群集（中部、近畿、四国、九州に分布）など7群集がある。

### ◆中区分：イヌブナ群落

ブナクラス域下部の山地または低山地に成立する落葉広葉樹の自然林。主としてイヌブナが優占し、アカシデ、イヌシデ、ミズナラなどが混生する。東北や中部地方の太平洋側ではイヌブナにモミが混生する針広混交林となる。表土の浅い乾性立地の急斜面や尾根部に多い。第2回第3回でイヌブナ群集などとして岩手県から滋賀県まで関東、中部、近畿の10県で記載されたものが該当する。

細区分にはチャボガヤイヌブナ群集（北陸、近畿北部、中国山地東部の日本海側山地に分布）、今回新設したコハクウンボクイヌブナ群集（関東以西、四国、九州の太平洋側低山地に分布）など3群集がある。イヌブナ群落は最近の研究で整理中であり、今後追加、整理される可能性がある。

### ◆中区分：ミズナラ群落

ブナクラス域における火山地など乾燥しやすい立地に成立する落葉広葉樹の自然林。ミズナラが優占し、リョウブが混生することが多く、ミズナラの大径木を含む。降水量の少ない地域や古い火山地など乾燥しやすくブナが生育しないところにみられる。第2回第3回では、群馬県で記載されている。細区分にリョウブミズナラ群集（関東から九州に分布）がある。

### ◆中区分：イヌシデアカシデ群落

ブナクラス域における渓谷沿いの岩角地、急斜面などに成立する落葉広葉樹の自然林。岩角地ではアカシデ、斜面ではイヌシデが優占することが多く、しばしば両種は混生する。太平洋側にも日本海側にも分布する。第2回第3回では、岩手県、新潟県から香川県まで11県で記載されている。細区分として、同様の立地に二次林として成立しているアカシデ群落（青森県、秋田県）を含める。

### ◆中区分：コハウチワカエデ群落

ブナクラス域のうち佐賀県、長崎県の雲仙など火山性の立地に成立する落葉広葉樹の自然林。コハウチワカエデ、ヤマボウシ、ナナカマドなどが優占し、ブナを欠いている。第2回第3回では、ケクロモジコハウチワカエデ群落として佐賀県、長崎県で記載されている。

## ●大区分14:冷温帯針葉樹林

主要な分布域がブナクラス域である常緑針葉樹の自然林。常緑針葉樹林はブナクラス域上限付近や、ブナクラス域下部からヤブツバキクラス域上部にまたがって分布するものがある。上部の森林としてはウラジロモミ群落が見られ、福島県以西の太平洋側で気候の極相として発達している。下部の森林としてはヒノキアスナロ群落、クロベ-ヒメコマツ群落、アスナロ群落、ツガ群落、ツガートガサワラ群落、ヒノキ群落、コウヤマキ群落、スギ群落などが尾根状地を中心に分布し、土地的極相として発達する。また、これらは古気候に対応した遺存的植物群落である。

なお、分布や生育状況の差異により、ブナクラス域における針葉樹林を「冷温帯針葉樹林」と後述する「岩角地針葉樹林」とに区分している。

### ◆中区分：ウラジロモミ群落

本州太平洋側のブナクラス域上部に分布する常緑針葉樹の自然林。ウラジロモミが優占し、ブナ、コメツガ、シラビソなどが混生する。山地の比較的緩やかな斜面や谷状地で発達する。ウラジロモミは本州（本州の福島県以西、紀伊半島）、四国に分布する。第2回第3回では、栃木県から徳島県まで関東、中部、近畿、四国の10県で記載されている。細区分にウラジロモミ-コメツガ群落（東京都、山梨県に分布）がある。

### ◆中区分：ヒノキアスナロ群落

日本海側多雪地のブナクラス域下部を中心に分布する常緑針葉樹の自然林。ヒノキアスナロが優占し、しかも伏状更新が著しく、ブナ、アカシデ、サワシバ、クロベなどと混生する。溪谷沿いの土壌の浅いや湿性の立地に偏在し、蛇紋岩地や火砕流堆積地など特殊な地質のところにも多い。ヒノキアスナロは北海道、本州（北部、石川）に分布する。第2回第3回では、北海道（渡島半島）、青森県（下北半島、津軽半島）で広い面積を占め、他に岩手県（早地峰）、群馬県、石川県（能登宝立山）の群落に記載されている。

### ◆中区分：クロベ-キタゴヨウ群落

ブナクラス域における瘦尾根や岩角地に成立する常緑針葉樹の自然林。クロベ、キタゴヨウが優占し、ブナ、オオシラビソなどが混生する。キタゴヨウはヒメコマツとは変種関係にあり、北海道と本州（中北部）に分布する。第2回第3回では、青森県から石川県まで9県で記載されたものが該当する。細区分にはアカミノイヌツゲ-クロベ群集（日本海側多雪地に分布）がある。

### ◆中区分：クロベ-ヒメコマツ群落

ブナクラス域における瘦尾根や岩角地に成立する常緑針葉樹の自然林。クロベ、ヒメコマツ、ヒノキ、ツガなどが優占し、ミズナラ、ブナ、オオシラビソなどが混生する。クロベは本州、四国に分布し、ヒメコマツは北海道（南部）、本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、クロベ-キタゴヨウ群落（前述）より南寄りの群馬県から高知県まで9県で記載されたものが該当する。

### ◆中区分：アスナロ群落

ブナクラス域下部を中心に分布する常緑針葉樹の自然林。アスナロが優占する。蛇紋岩地や火砕流堆積地など特殊な地質のところにも多い。溪谷沿いの土壌の浅いや湿性の立地に偏在する。アスナロは本州（北部から中部）、四国、九州に分布する。第2回第3回では、福島県、栃木県、兵庫県、徳島県の4県で記載されているが、他にアスナロの分布する北関東から中国山地東部まで確認される可能性がある。

### ◆中区分：ツガ群落

ブナクラス域下部からヤブツバキクラス域上部にかけて山地の尾根部などに成立する常緑針葉樹の自然林。花崗岩や変成岩の露出地にもみられる。ツガが優占し、モミ、ヒメコマツ、ヒノキ、イヌブナ、アカシデ、コハウチワカエデなどが混生する。なお、ツガ群落には常緑広葉樹が多い林分でヤブツバキクラス域に属するものもあるが、植生区分はブナクラス域に一括されている。ツガは本州の福島県以西、四国、九州に分布する。第2回第3回では、富山県、兵庫県、宮崎県で記載された群落が該当する。細区分にはコカンスゲ-ツガ群集（関東から近畿の太平洋側に分布）、ハイノキ-ツガ群集（九州に分布）が含まれるが、さらに最近の研究にあわせて再整理される可能性がある。

### ◆中区分：ツガートガサワラ群落

ブナクラス域とヤブツバキクラス域の境界付近の岩角地に成立する、常緑針葉樹の自然林。和歌山県、奈良県、四国に分布するツガサワラを主とし、ツガ、モミ、スギ、ヒノキなどが混生する。ツガサワラは時に30mを越える巨木となり、林内にはツジ科植物が多い。ツガサワラの伐採により著しく減少している。第2回第3回では、高知県で記載されている。

### ◆中区分：ヒノキ群落

ブナクラス域下部からヤブツバキクラス域上部にかけて、山地の岩角地、瘦せ尾根、花崗岩地などに成立する常緑針葉樹の自然林。ヒノキが優占し、ツガ、コウヤマキ、アカマツ、ヒメコマツ、ミズナラなどが混生する。ヒノキは福島県以西、四国、九州に分布する。第2回第3回では、福島県から宮崎県まで10県で記載されている。なお、ヒノキ群落には常緑広葉樹が多い林分でヤブツバキクラス域に属するものもあるが、植生区分はブナクラス域に一括されている。細区分にはシノブカグマ-ヒノキ群集（関東～近畿地方に分布）、ジャクナゲ-ヒノキ群集（本州西南部、四国に分布）がある。

### ◆中区分：コウヤマキ群落

ブナクラス域下部からヤブツバキクラス域上部にかけて、山地の瘦せ尾根に成立する常緑針葉樹の自然林。コウヤマキが優占し、ツガ、ヒノキ、ヒメコマツなどが混生する。植生起源と考えられるが天然更新が行われている群落も含む。コウヤマキは福島、中部以西、四国、九州に分布する。第2回第3回では、和歌山県（高野山）、島根県、愛媛県（篠山）などで記載されている。

### ◆中区分：スギ群落

ブナクラス域下部からヤブツバキクラス域上部にかけて、山地の岩角地、瘦せ尾根、花崗岩地などに成立する常緑針葉樹の自然林。土地的極相として残存しているものが多いが、屋久島など空中湿度の高い場所では斜面の広い範囲で生育する。スギが優占し、モミ、ツガ、ヒノキ、ブナ、ヤマグルマ、ヒメシャラなどが混生する。林内に常緑広葉樹が多い林分でヤブツバキクラス域に属するものも含まれるが、植生区分はブナクラス域に一括されている。スギは本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、徳島県（木頭村）、高知県（魚梁瀬）、鹿児島県（屋久島）で記載された群落が該当する。なお、ブナと混生する群落はスギ-ブナ群落（大区分11）として別に区分されている。

## ●大区分15:岩角地針葉樹林

ブナクラス域における岩角地、尾根部などに成立するアカマツ、ヒメコマツなどのマツ属植物が優占する常緑針葉樹の自然林。

針葉樹林を分布や生育状況の差異により「冷温帯針葉樹林」（大区分14）と「岩角地針葉樹林」とに区分している。「冷温帯針葉樹林」はブナクラス域における上部または下部の岩角地を中心に分布し、局地的にも気候的極相として発達する。また、このうち下部の針葉樹林は古気候に対応した遺存的植物群落である。これに対し、マツ類の「岩角地針葉樹林」はブナクラス域からヤブツバキクラス域まで広範囲で自然植生としては岩角地に限って出現し、土地的極相として成立する。マツ属植物は乾性立地に先駆的に侵入する陽樹であり、人間活動に伴って生育域を広げてきたという点も異なっている。

### ◆中区分：アカマツ群落

ブナクラス域における山地の尾根、岩角地などに成立する常緑針葉樹の自然林。土壌が浅く乾性の立地にみられる。アカマツが優占する。第2回第3回では、青森県から鹿児島県まで16県で記載されている。二次林や植林のよく発達したものと相観や組成上の区別が困難であるが、立地により区分する。なお、主としてヤブツバキクラス域に分布するアカマツ群落（大区分29）は植生区分をヤブツバキクラス域とし別に扱っているため、県によっては境界域の検討が必要である。

### ◆中区分：ヒメコマツ群落

ブナクラス域下部の山地の尾根、岩角地などに成立する常緑針葉樹の自然林。土壌が浅く乾性の立地にみられる。ヒメコマツが優占し、アカマツが混生する。クロベ-ヒメコマツ群落より低標高にみられ、アカマツが多いことで区別される。第2回第3回では、千葉県清澄山に寒冷期の遺存群落として残存している群落が記載されている。現在その群落は断片的になり凡例として区分できるか疑わしいが、ヒメコマツの優占する群落は他の地域でも区分されるものとみられる。

## ●大区分16:溪畔林

ブナクラス域において、山地の溪谷の谷底やテラス状地、溪谷崖錐斜面など、溪畔の湿潤であるが比較的排水のよい立地に成立する落葉広葉樹の自然林。サワグルミ、シオジ、ハルニレ、ケヤキなどの森林群落を含む。

第2回第3回で記載されたエゾイタヤ-シナノキ群落（福島県）は、組成や立地などの点からこの区分に該当すると考えられる。

### ◆中区分：サワグルミ群落

ブナクラス域における溪畔に成立する落葉広葉樹の自然林。サワグルミが優占し、時にトチノキ、カツラが混生する。湿潤であるが比較的排水のよい山地溪畔や谷底にみられる。サワグルミは北海道から九州まで分布する。第2回第3回では、ジュウモンジシダー-サワグルミ群集（東北から中国地方の日本海側に分布）、新設されたヤハズアジサイ-サワグルミ群集（太平洋側の伊豆半島、紀伊半島、四国、九州に分布）などとして記載されている。

### ◆中区分：シオジ群落

ブナクラス域における溪谷沿いに成立する落葉広葉樹の自然林。太平洋型及び瀬戸内型気候域で、砂礫土の堆積した湿潤な山地溪畔や谷底にみられる。シオジが優占し、時にサワグルミ、オヒョウが混生する。第2回第3回の兵庫県で記載された群落は、組成や分布からみると本群落に該当すると判断される。シオジは関東以西、四国、九州に分布する。細区分にはミヤマクマワラビ-シオジ群集（本州太平洋側、九州に分布）がある。

### ◆中区分：ハルニレ群落

ブナクラス域における溪畔や沼畔に成立する落葉広葉樹の自然林。日本海型気候域で、砂礫土が堆積した湿潤な崖錐斜面、湧水辺、谷底などにみられる。ハルニレが優占し、エゾイタヤ、ドロノキ、カツラ、ヤチダモなどが混生する。草本層には広葉草本植物が多数生育する。ハルニレは北海道から九州まで分布する。第2回第3回では、北海道、秋田県で記載されたものが該当する。細区分にハルニレ群集（東北～中部地方に分布）がある。

### ◆中区分：ケヤキ群落

ブナクラス域下部からヤブツバキクラス域上部にかけての溪畔に成立する落葉広葉樹の自然林。ケヤキ、オニイタヤが優占し、クマノミズキ、エゾエノキ、イヌシデ、オオモミジ、イタヤカエデなどが混生する。湿潤な砂礫土の堆積した崖錐斜面や山地溪畔から、適湿な沖積低地までにみられる。第2回第3回では、青森県から大分県まで15県で記載されているが、本州以南の他地域にも確認される可能性がある。なお、主としてヤブツバキクラス域に分布するケヤキ群落（大区分30）は、植生区分をヤブツバキクラス域とし別に扱っている。細区分にはチャボガヤ-ケヤキ群集（本州の日本海側に分布）、ヒメウワバミソウ-ケヤキ群集（九州の阿蘇・九重に分布）がある。

### ◆中区分：アサガラ群落

ブナクラス域下部の石灰岩地の谷沿いに成立する落葉広葉樹の自然林。ケヤキの大木が点在し、アサガラが亜高木層に優占し、ミズキ、クマノミズキ、ニワトコなどが混生する。第2回第3回では、コクサギ-アサガラ群落として福岡県で記載されている。

## ●大区分17:沼沢林

ブナクラス域における沼沢に成立する落葉広葉樹の自然林。土壌が厚く堆積した山麓斜面下部や谷底の適湿地にヤチダモ群落、山間や丘陵の谷地、湧水辺、池沼畔の過湿地にハンノキ群落などがみられる。

### ◆中区分：ヤチダモ群落

ブナクラス域における山地溪畔の自然堤防や後背湿地に成立する落葉広葉樹の自然林。ハルニレ、ヤチダモが優占し、ミズナラ、エゾイタヤ、カツラなどが混生する。ハンノキ群落より排水のよい適湿～湿潤で肥沃な沖積地にみられる。ヤチダモは北海道、東北、中部に分布する。第2回第3回では、秋田県で記載されている。細区分にハンノキヤチダモ群集（北海道、本州の日本海側に分布）、ハシドイヤチダモ群集（北海道の400m以下の低地、本州の北～中部に分布）がある。

### ◆中区分：ハンノキ群落

ブナクラス域における沼沢、湿原に成立する落葉広葉樹の自然林。ハンノキが優占し、トネリコ、ナラガシワなどが混生する。低木層はあまり発達しない。立地は停滞水で常に浸されている。ハンノキは北海道から九州まで分布するが残存林分は少ない。第2回第3回では、北海道が全国の大部分を占め、長野県まで6道県で記載されている。

## ●大区分18:河辺林

ブナクラス域における河辺に成立する落葉広葉樹の自然林。高木林から低木林まであり、ドロノキ、オオバヤナギ、ケショウヤナギ、シロヤナギなどが優占するヤナギ高木群落、タチヤナギ、イヌコリヤナギなどが優占するヤナギ低木群落がある。オニグルミ群落、ヤマハンノキ群落なども含む。このほか、上流の砂礫の多い溪流辺にはカワラハンノキ、ミヤマカワラハンノキ、ヤハズハンノキ、ヤシャブシ、キシツツジなどが群落を形成する。

なお、第2回第3回の「自然低木群落」の一部で河辺に立地するものは「河辺林」に区分する。

### ◆中区分：ヤナギ高木群落

ブナクラス域における河川の上・中流域の河畔、低湿地などに成立する落葉広葉樹の自然林。オオバヤナギ、ドロノキ、オノエヤナギ、シロヤナギ、コゴメヤナギ、ケショウヤナギなどが優占する。第2回第3回では、北海道から石川県まで10道県で記載されている。細区分にはオオバヤナギドロノキ群集など3群集が含まれる。

### ◆中区分：ヤナギ低木群落

ブナクラス域における河川の上・中流域の河畔、低湿地などに成立する落葉広葉樹の低木群落。タチヤナギ、イヌコリヤナギ、オノエヤナギなどが優占し、エゾノキヌヤナギ、カワヤナギなどが混生する。第2回第3回では、北海道が大部分を占め、岐阜県まで10道県で記載されている。

### ◆中区分：オニグルミ群落

ブナクラス域からヤブツバキクラス域にかけての溪畔や河岸に成立する落葉広葉樹の半自然林。ジウモンジダサワグルミ群集域内の適潤富養な立地にみられる。オニグルミ、カツラ、ハルニレなどが混生する。オニグルミは北海道から九州まで分布し、北海道では自然林として出現する。第2回第3回では、北海道でのみ記載されているが、他地域でも半自然林として先駆的な群落が確認される可能性がある。

### ◆中区分：ヤマハンノキ群落

ブナクラス域における谷筋のやや湿性の立地に成立する落葉広葉樹の自然林。崩壊跡地や山火事跡地などにも先駆的に生育する。ヤマハンノキが優占し一斉林となっていることが多い。エゾマツ、エゾイタヤ、ハルニレ、ミズナラなどが混生し、次第にこれらの樹種に置き換えられる。ヤマハンノキは北海道から九州まで分布する。第2回第3回では、北海道が大部分を占め、宮崎県まで9道県で記載されている。

### ◆中区分：河辺ヤシャブシ群落

ブナクラス域における河辺、崩壊地などに成立する落葉広葉樹の半自然低木群落。岩礫の多い不安定な立地に先駆的に生育する。ヤシャブシが優占し、ヤマハンノキが混生する。ヤシャブシは本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、栃木県で記載されている。

なお、火山地、風衝地のヤシャブシの群落は「岩角地・風衝地低木群落」（大区分19）に含める。



## ●大区分19:岩角地・風衝地低木群落

ブナクラス域における岩角地・風衝地に生育する落葉広葉樹を主とする自然低木群落。優占種は一定しないが、風衝地ではミヤマナラ、ナナカマド、ミネヤナギ、キャラボクなどブナクラス域より上部にまで分布するウラジロウラケ-ミヤマナラ群団にまとめられる群落がみられる。その他、ブナクラス域中部ではブナ、ミズナラ、アカヤシオ、シロヤシオ、ナナカマド、コハウチワカエデ、ブナクラス域下部ではコナラ、マンサクなどの低木が優占する。石灰岩地や火山地などの岩角地ではヤシャブシ群落、イワシデ群落、ヤマボウシ群落、オオヒメツグ群落などがみられるほか、オオコメツツジ、サラサドウダン、ノリウツギなどの優占する群落もみられる。第2回第3回では、静岡県から鹿児島県まで、中部、近畿、四国、九州の太平洋側7県で自然低木群落として記載されたものが該当する。

なお、自然低木群落は組成や立地により「岩角地・風衝地低木群落」（大区分19）、「なだれ地低木群落」（大区分20）、「河辺林」（大区分18・32）などに区分する。

### ◆中区分：ウラジロウラケ-ミヤマナラ群団

日本海側多雪地のコケモートウヒクラス域からブナクラス域にかけて、山頂部や尾根部の風衝地に成立する落葉広葉樹の自然低木群落。ブナクラス域上部ではミヤマナラが優占することが多く、マルバマンサク、オオカメノキなどが混生する。高海拔地ではコミネカエデが優占し、ミネザクラ、ダケカンバ、ナナカマドなどが混生する。また、日本海側では常緑針葉樹低木のキャラボクも生育する。これらの一部はコケモートウヒクラス域における植生として区分されていたが、基本的にはブナクラス域における植生なので植生区分をブナクラス域に一括している。ウラジロウラケ-ミヤマナラ群団は東北から中部地方を中心に分布する。第2回第3回では、青森県から鳥取県まで13県で記載されている。

なお、ウラジロウラケ-ミヤマナラ群団とされたなかに、オオシラビソ群集の発達する斜面下部や、風背地の残雪の多い立地のものも含まれていたが、これらは「なだれ地自然低木群落」として別に区分する。

細区分にはミヤマナラ群落、ナナカマド-ミネヤナギ群落、キャラボク群落など4群落が含まれる。

### ◆中区分：ヤシャブシ群落

ブナクラス域における火山の風衝地や岩礫地などに成立する落葉広葉樹の自然低木群落。表土が未発達で乾燥しやすい立地で発達する。ヤシャブシが優占し、荒原状のものから小高木林までさまざまな発達段階のものがみられる。ヤシャブシは本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、宮崎県、鹿児島で記載されている。なお、河辺のヤシャブシの群落は河辺ヤシャブシ群落として区分する。

### ◆中区分：オオイタヤメイゲツ群落

ブナクラス域における石灰岩地の風衝地に成立する落葉広葉樹の自然林。オオイタヤメイゲツが上層に優占し、イタヤカエデ、シナノキ、サワグルミなどを伴う。滋賀県の伊吹山、御池岳、霊仙岳などの山頂部や尾根筋にみられる。オオイタヤメイゲツは本州、四国に分布する。第2回第3回では、ミヤマカタバミ-オオイタヤメイゲツ群集として滋賀県でのみ記載されている。

### ◆中区分：オオヒメツグ群落

ブナクラス域とヤブツバキクラス域の境界付近にみられる石灰岩地に成立する常緑広葉樹と落葉広葉樹の混交する自然林。オオヒメツグが上層に優占し、コハウチワカエデ、アオキなどが混生する。第2回第3回では、サイゴクイボター-オオヒメツグ群集として福岡県（古処山）で記載されている。

### ◆中区分：イワシデ群落

ブナクラス域とヤブツバキクラス域の境界付近にみられる日当たりのよい岩角地、石灰岩地や風衝地に成立する落葉広葉樹の自然林。イワシデが上層に優占し、マルバアオダモ、ネズミサシ、イブキ、ネジキ、タカノツメなどが混じる。イワシデは四国、九州に分布する。第2回第3回では、徳島県から熊本県まで6県で記載されている。細区分にはイワツクバネウツギーイワシデ群集がある。

### ◆中区分：ヤマボウシ群落

ブナクラス域とヤブツバキクラス域の境界付近にみられる火山地に成立する落葉広葉樹の自然林。ヤマボウシが優占し、リョウブ、カナクキノキなどが混生する。第2回第3回では長崎県（雲仙）で記載されている。

### ◆中区分：ナナカマド群落

ブナクラス域における火山性の岩角地に成立する落葉広葉樹の半自然林。ナナカマド、マンサク、イタヤカエデ、コミネカエデなどが上層を形成する。風衝や野火の影響でブナ林への遷移が抑えられている。第2回第3回では、コミネカエデ-ナナカマド群集として大分県（九重火山）で記載されている。

## ●大区分20:なだれ地低木群落

日本海側多雪地のブナクラス域内で、なだれ地や崖錐など不安定な立地のため森林が成立しない場所にみられる落葉広葉樹の自然低木群落。タニウツギ、ヒメヤシャブシ、オオコメツツジなどが優占する。中区分にタニウツギ群落がある。

第2回第3回では、北海道から鳥取県まで、東北、中部、近畿、中国の日本海側10道県で自然低木群落として記載されたものが該当する。なお、自然低木群落は組成や立地により「岩角地・風衝地低木群落」（大区分19）、「なだれ地低木群落」（大区分20）、「河辺林」（大区分18・32）などに区分する。

### ◆中区分：タニウツギ群落

ブナクラス域におけるなだれ地、崩壊地、崖錐などに成立する落葉広葉樹の自然低木群落。タニウツギ、ヒメヤシャブシなどが優占し、他にミヤマカワラハンノキ、キツネヤナギなどが混生する。タニウツギは北海道、本州の主として日本海側に分布する。第2回第3回では、北海道から滋賀県まで日本海側8道県で記載されており、奥羽山地に多い。細区分にはヒメヤシャブシ・タニウツギ群落、ダイセンヤナギ・タニウツギ群落がある。

## ●大区分21:自然草原

ブナクラス域の風衝地や積雪の遅くまで残る場所など、主として気候的な要因によって成立する草原。風衝地のススキやササの草原、または他のイネ科植物の優占する草原、谷筋の適潤地にみられるオオヨモギ、オオイタドリ、アカソなどの高茎広葉草本の群落（オオヨモギ・オオイタドリ群団）、池沼付近の湿生植物の群落などが含まれる。

第2回第3回では、北海道から鹿児島県まで9道県で記載されたものが該当するが、分布面積によっては中区分ないし細区分として追加確認される可能性があり、また、植生区分Ⅶの各種の群落として区分される可能性もある。

### ◆中区分：ササ群落

ブナクラス域のうち、おもに山頂部や尾根筋の風衝地に成立する自然植生のササ群落。クマイザサ、チシマザサ、ミヤコザサなど多種のササ類の群落があり、区分することができない場合にこの中区分を新規に用いる。日本海側多雪地に多く、なだれ地や残雪の多い場所にもみられ、人為の加わり方の判断が難しい場合も含まれる。第2回第3回では、ササ群落はミクラザサ群落（東京都御蔵島）を除き全て代償植生として扱われていたが、コケモートウヒクラス域と同様に、尾根部や山頂部の風衝地、積雪の多い凹状地などの半自然性のササ群落を自然植生として区分する。

### ◆中区分：シモツケソウ群落

標高1000m以上の山地尾根部や火口丘などの風衝地や急傾斜地に成立する草本群落。シモツケソウ、フジアカショウマ、シユロソウなどが混生し、局地的にササ類が密生する。シモツケソウは本州中部以西、四国、九州に分布している。第2回第3回では、富山県で記載されたものが該当する。細区分にフジアカショウマ・シモツケソウ群集（神奈川県、山梨県、静岡県に分布）がある。

### ◆中区分：シマノガリヤス群落

伊豆諸島の山頂部に成立する風衝草原。ミヤマクマザサ、シマノガリヤス、シマキンレイカ、ハコネコメツツジなどが優占する。第2回第3回では、シマキンレイカ・シマノガリヤス群集として東京都（御蔵島、八丈島の山頂風衝地）で記載されている。

### ◆中区分：オオヨモギ・オオイタドリ群団

ブナクラス域における谷沿いや山道沿いの崩壊地、林縁、伐採跡地などに成立する高茎広葉草原。半陰の適潤～湿潤の立地に発達する。オオヨモギ、オオイタドリ、アカソ、テンニンソウなどが優占する。本群団は北海道、東北、中部に分布が確認されている。第2回第3回では、青森県、秋田県、長野県、富山県、山梨県で記載された群落が該当する。

## ●大区分22: 落葉広葉樹二次林

ブナクラス域に生育する落葉広葉樹の二次林。自然林の伐採の後に再生した回復途上の群落である。もっとも代表的な群落はミズナラ、カシワ、コナラなどナラ類を主とする群落で、他に地域によってウダイカンバ、リョウブ、コナラ、アカシデ、イヌシデ、クマシデなどが優占する群落が分布する。

第2回第3回では、北海道の伐採跡地に再生した二次林として記載されたものが該当するが、分布面積によってはさらに後述する中区分に細分される可能性がある。

### ◆中区分：ミズナラ群落

ブナクラス域における山地に広範囲に成立する落葉広葉樹の二次林。ミズナラが優占し、クリ、コハウチワカエデ、イヌシデ、コナラなどが混生する。土壌の発達したところにみられる。伐採など人為的破壊により成立し、定期的な伐採で持続群落として発達する。第2回第3回では、山形県で記載されている。

細区分にはスギーミズナラ群落（日本海側山地に分布）、ブナーミズナラ群落（山地の高海拔地に分布）、クリーミズナラ群落（山地の高海拔地に分布）などがある。

### ◆中区分：カシワーミズナラ群落

ブナクラス域における冷涼寡雪な内陸性気候地域、火山灰堆積地など乾燥しやすい立地に多い落葉広葉樹の二次林。カシワ、ミズナラが混生し、コナラ、アベマキ、ハリギリなどが混生する。刈り取り、放牧、火入れなど草原の管理を停止した後に遷移したもの、伐採跡地に形成されたものなどがある。火山地では先駆的な群落を形成する。第2回第3回では、北海道から鹿児島県まで13道県で記載されている。

### ◆中区分：ウダイカンバ群落

ブナクラス域上部の崩壊地や伐採地に先駆的に成立するウダイカンバが優占する落葉広葉樹の二次林。ウダイカンバは北海道、本州（中部以北）に分布する。第2回第3回では、秋田県で記載されている。

### ◆中区分：リョウブ群落

ブナクラス域における鉱山跡や煙害地の周辺に成立する落葉広葉樹の二次林。重金属への耐性が高いリョウブが単純な群落を形成する。第2回第3回では、栃木県（足尾）で記載されている。

### ◆中区分：コナラ群落

ブナクラス域下部の山地に成立する落葉広葉樹の二次林。コナラが優占し、コハウチワカエデ、リョウブ、カスミザクラ、アカマツなどが混生する。土壌の発達した斜面で定期的な伐採で持続群落として発達する。第2回第3回では、山形県で記載されている。なお、主としてヤブツバキクラス域に分布するコナラ群落（大区分4 1）は植生区分をヤブツバキクラス域として別に扱っているため、県によっては植生境界の検討が必要である。細区分としてカスミザクラーコナラ群落（青森県、秋田県、福島県、新潟県、長野県）が記載されている。

### ◆中区分：アカシデーイヌシデ群落

ブナクラス域下部の渓谷沿い斜面に多い落葉広葉樹の二次林。イヌシデ、アカシデが混生し、アカシデまたはイヌシデのいずれか一方の群落となる場合もあり、クマシデ、サワシバ、ヨグソミネバリなどが混生する。主として渓谷沿いの土壌の浅い斜面に立地する。本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、福島県から宮崎県まで21府県で記載されている。なお、アカシデ群落（青森県、秋田県）は、自然植生と同様に渓谷沿いの土壌の浅い急峻な尾根部や岩角地に立地することから、自然植生（大区分1 3）として別に区分している。

### ◆中区分：クマシデ群落

ブナクラス域下部の岩礫の堆積した斜面などに成立する落葉広葉樹の二次林。クマシデが優占し、ミズナラ、コハウチワカエデ、マルバアオダモ、サワシバ、ウラジロガシなどが混生する。石灰岩や火山岩の岩礫が堆積し不安定な斜面にみられる。クマシデ群落は本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、富山県、熊本県で記載されている。細区分にはコガクウツギークマシデ群集（九州中部の火山灰地に分布）がある。

### ◆中区分：シラカンバ群落

ブナクラス域上部の冷涼寡雪な内陸気候を示す地域に成立する落葉広葉樹の二次林。シラカンバが優占し、ミズナラ、ウダイカンバが混生する。火山灰の堆積地に多い。シラカンバは北海道と本州の中部以北に分布する。第2回第3回では、北海道渡島半島から岐阜県まで関東、中部の9道県で記載されている。細区分にはササーシラカンバ群落、レンゲツツジーシラカンバ群集（本州中部の尾根筋、谷沿い崩壊地に分布）がある。

### ◆中区分：ハシドイ群落

ブナクラス域における岩礫の堆積した斜面に成立する落葉広葉樹の二次林。ハシドイが優占し、エゾエノキ、ミツデカエデ、チドリノキなどが混生する。谷沿いの石灰岩の転石が多い急斜面にみられる。ハシドイは北海道から九州まで分布するが群落としての報告は少なく、第2回第3回では、熊本県でのみ記載されている。

## ●大区分23: 常緑針葉樹二次林

ブナクラス域の山地斜面上部や尾根部など、乾性の立地に広範囲に生育する常緑針葉樹の二次林。アカマツが優占する。中区分のアカマツ群落に一致する。

### ◆中区分：アカマツ群落

ブナクラス域における山地の斜面上部に広く分布する常緑針葉樹の二次林。アカマツが優占する。伐採跡地や山火事跡地に先駆的に形成される。アカマツ植林から二次的に広がったものも多い。斜面下部では落葉広葉樹二次林に遷移するが、尾根部の土壌の浅い乾性の立地ではアカマツが再生し持続群落となる。よく発達した二次林は構成する種数も多く、岩角地などの極端な立地に成立する自然林との区別が可能である。第2回第3回では、青森県から鹿児島県まで17県で記載されている。なお、主としてヤブツバキクラス域に分布するアカマツ群落（大区分4 2）は植生区分をヤブツバキクラス域として別に扱っているため、県によっては境界域の検討が必要である。

## ●大区分24: 落葉広葉低木群落

ブナクラス域に生育する先駆性の落葉広葉樹の低木群落。ノリウツギが広い範囲で優占し、他に太平洋側にニシキウツギ、日本海側にタニウツギ、四国山地ではダイセンミツバツツジが優占する。森林伐採跡地などでは一時的に出現するが、積雪の遅くまで残る立地や崩壊しやすい立地では持続群落となる。

### ◆中区分：ノリウツギ群落

ブナクラス域における山地に成立する落葉広葉樹の低木群落。ノリウツギが優占し、タニウツギ属植物が混生する。第2回第3回では、宮崎県で記載された群落が該当する。

細区分にはニシキウツギノリウツギ群落、タニウツギノリウツギ群落、ヤマカモジグサーノリウツギ群集、ツクシウツギノリウツギ群落がある。

### ◆中区分：ダイセンミツバツツジ群落

ブナクラス域における山地に成立する落葉広葉樹の低木群落。ダイセンミツバツツジ、コヨウラクツツジなどの低木が優占し、下層にはススキが高被度で生育する。第2回第3回では愛媛県（大山峯）で記載されている。

## ●大区分25: 二次草原

安定した組成をもつイネ科植物の優占する二次草原。チシマザサ、クマイザサ、チマキザサ、ミヤコザサ、チュウゴクザサなどのササ類の群落、ススキ、シバなどが優占する群落などがある。

### ◆中区分：ササ群落

ブナクラス域における山地の伐採跡地や山火事跡地に成立する。太平洋側ではエゾミヤコザサ、ミヤコザサ、スズタケ、日本海側ではチシマザサ、クマイザサ、チマキザサの群落が広範囲でみられ、他にハコネダケ、イブキザサ、チュウゴクザサなどの群落があり、これらがササ群落として一括されている。風衝地や残雪のある場所では持続群落となる場合があるので、人為の加わり方の判断が難しい場合は自然植生（大区分21）として区分する。第2回第3回では、北海道から大分県まで24道府県で記載されている。なお、図示可能であれば、チシマザサークマイザサ群落、チマキザサ群落、スズタケ群落、ミヤコザサ群落などの細区分として追加する。

### ◆中区分：ススキ群団

ブナクラス域における山地の伐採跡地、採草地、火入れ地などに成立する多年生の高茎草原。ススキが優占し、カリヤスモドキ、トダシバなどが混生する。日本の代表的な二次草原で、数年ごとに刈り取りや火入れが行われ維持されている。山頂や稜線の風衝地では半自然草原として持続する。平野では河川敷、長く放置された畑放棄地、造成地などに出現する。かつては屋根材など用途が広く山地に広くみられたが、近年では植林地や人工草地への転換が進み減少している。第2回第3回では、北海道から熊本県まで28道府県で記載されたものが該当する。東北、中国地方の準平原や九州地方の溶岩台地では広い面積を占める。細区分にカワラマツバーススキ群落、ノハナショウブーススキ群集などがある。

### ◆中区分：シバ群団

ブナクラス域における山地の放牧地、刈り取りの頻繁な牧草地などに成立する多年生の低茎草原。シバが優占する。海岸断崖肩部や稜線の風衝地では半自然草原として持続する。近年では植林地や人工草地への転換が進み減少している。第2回第3回では、北海道から熊本県まで9道府県で記載されている。類似する群落としてヤブツバキクラス域代償植生のシバ群団（大区分45）とは種組成で区別し、植生区分IXの「牧草地・ゴルフ場・芝地」（大区分56）とは、土地利用の状態を判断して区別する。

### ◆中区分：ヘビノネゴザ群落

重金属に耐性のあるシダ植物ヘビノネゴザの純群落。銀山、銅山の廃坑等に多い。時間の経過とともに他の草本植物が侵入し、面積は減少している。第2回第3回では、栃木県（足尾銅山）で記載されている。

## ●大区分26: 伐採跡地群落

森林の伐採跡地に一時的に形成された草本群落、または伐採後数年を経た樹高1m前後の落葉広葉低木群落。伐採直後にはブナクラス域上部ではヤナギラン、中部以上ではヤクシソウ、タケニグサ、下部ではベニバナボロギク、ダンドボロギクなどの草本群落がみられる。数年後にはクマイチゴ、タラノキなどの有刺植物や、ヤマウルシなど陽性低木類が混生する低木群落が形成される。第2回第3回では、北海道から宮崎県まで29道府県で記載されたものが該当する。

伐採跡地群落は経年変化を統計的に検討するために従来と同様、各クラス域に細分している。中区分、細区分は行わない。なお、遷移の進行に伴い樹高2m以上に達した落葉低木群落は「落葉広葉樹二次林」（大区分22）として区分する。

## ●大区分27:常緑広葉樹林

本州、四国、九州のヤブツバキクラス域に広く成立する常緑広葉樹の自然林。山地から低地にはシラカシ、アラカシ、アカガシ、ウラジログシ、イチイガシ、シリブカガシなどのカシ類を主とする群落や、コジイ、スダジイなどのシイ類を主とする群落がみられる。海岸付近ではタブノキ、ホルトノキなどが優占する群落がみられる。

### ◆中区分：シラカシ群落

ヤブツバキクラス域上部に分布する。シラカシが優占するがケヤキを伴うことが多い。火山灰台地などの土壌の発達した場所に多い。第2回第3回では、シラカシ群集（東北地方南部以西に分布）、ツクバネガシ-シラカシ群集（近畿地方以西に分布）などとして記載されている。

### ◆中区分：アラカシ群落

自然植生としてはヤブツバキクラス域におけるなかで溪流沿いの急傾斜地や石灰岩地などの土地的極相林として成立している。アラカシは本州、四国、九州に分布する。九州ではアカガシ群落の二次林として出現する機会が多いが発達した林分は自然植生に含める。第2回第3回では、群馬県から鹿児島県まで17府県で記載されているが、全国的に面積は非常に少ない。

細区分にはナンテン-アラカシ群集（本州西部、四国、九州北部の石灰岩地に分布）、ジャンヒゲ-アラカシ群集がある。

### ◆中区分：アカガシ群落

ヤブツバキクラス域上部に分布する常緑広葉樹の自然林。アカガシが優占し、ツクバネガシ、ウラジログシ、アラカシなどが混じる。アカガシは関東以西の内陸部の山地や丘陵に分布する。第2回第3回では、埼玉県から鹿児島県までの5県で記載されている。細区分にはミヤマシキミ-アカガシ群集（九州に分布）がある。

### ◆中区分：ツクバネガシ群落

ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域下部にかけて分布する常緑広葉樹の自然林。ツクバネガシが優占し、シラカシ、ウラジログシ、アラカシ、アカガシなどが混生する。ツクバネガシは関東以西に分布するが、群落としては近畿以西の内陸部の山地や丘陵で分布が確認されている。第2回第3回では、滋賀県でのみ記載されている。

### ◆中区分：ウラジログシ群落

ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域下部にかけて分布する常緑広葉樹の自然林。渓谷沿いの急斜面などではウラジログシまたはイスノキが広く優占するが、尾根部の安定した立地ではモミ、アラカシ、スダジイなどの被度が高くなる。林内には常緑植物が多い。ウラジログシは本州から琉球に分布する。第2回第3回では、宮城県を北限とし福岡県まで20県で記載されている。

細区分にはヒメアオキ-ウラジログシ群集（日本海沿岸の丘陵地に分布）、イスノキ-ウラジログシ群集（本州の中部、近畿、四国、九州に分布）がある。なお、ウラジログシ群落のなかで東北まで分布するとされていたサカキ-ウラジログシ群集は、最近の研究でシキミ-モミ群集に統合されている。

### ◆中区分：イチイガシ群落

ヤブツバキクラス域において沿岸の山地、丘陵地、沖積地などの適潤な立地に分布する常緑広葉樹の自然林。イチイガシが優占し、スダジイ、コジイ、ヤマモモ、アカガシなどが混生する。イチイガシは関東南部以西、四国、九州に分布する。第2回第3回では、静岡県、三重県、奈良県、鹿児島県で記載されている。細区分にはイチイガシ群集（本州の近畿以西、四国、九州に分布）、ルリミノキ-イチイガシ群集（本州の東海地方以西、四国、九州に分布）がある。

### ◆中区分：ハナガシ群落

ヤブツバキクラス域における山地谷部の適潤地に分布する常緑広葉樹の自然林。ハナガシの被度が高く、イチイガシ、コジイなどが混生する。樹高は30mに達し常緑広葉樹でもっとも高い。ハナガシは四国、九州に分布する。第2回第3回では、宮崎県でのみ記載されている。

### ◆中区分：シリブカガシ群落

ヤブツバキクラス域における山地や丘陵の花崗岩域など土壌の浅い立地に成立する。コジイ、シリブカガシが優占し、タブノキが混生する。コジイ群落に似るが、林内にはシリブカガシが特徴的にみられる。シリブカガシは近畿、中国、四国、九州、琉球に分布する。第2回第3回では、大阪府で記載されている。細区分にはシイモチ-シリブカガシ群集（本州西部、九州北部に分布）がある。

### ◆中区分：イヌツグ群落

ヤブツバキクラス域の山頂部の風衝地に成立する低木林で、アカガシ群落域のなかで局所的にイヌツグが優占する。第2回第3回では、ハイノキ-イヌツグ群落として鹿児島県（開門岳）で記載されている。

◆中区分：ヤマグルマ群落

ヤブツバキクラス域から一部ブナクラス域にかけての岩角地や崖地、風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。樹高10~15mぐらいまでの高木林となる。ヤマグルマが優占し、ユズリハ、カクレミノなど常緑植物を伴うが、他にナナカマド、コミネカエデなど落葉植物を伴う場合がある。ヤマグルマは本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、東京都（伊豆御蔵島）でユズリハヤマグルマ群集が、長崎県（雲仙）でヒカゲツツジーヤマグルマ群集が記載されている。

◆中区分：コジイ群落

ヤブツバキクラス域内陸部の山地、丘陵に分布する常緑広葉樹の自然林。コジイが優占し、アラカシ、ウラジロガシが混生する。花崗岩を基盤とする山地など乾性の立地に多い。コジイは関東以西、四国、九州に分布する。第2回第3回では、宮崎県で記載された群落が該当する。

細区分にはサカキコジイ群集（近畿、中国、四国の花崗岩地に分布）、カナメモチコジイ群集（東海、近畿、中国、四国の花崗岩地に分布）、クロバイコジイ群集（本州西南部の台地に分布）がある。

◆中区分：スダジイ群落

ヤブツバキクラス域のうち屋久島以北の山地、丘陵に分布する常緑広葉樹の自然林。スダジイが優占するが、ウラジロガシ、アカガシ、タブノキ、コジイ、ホルトノキ、イヌマキなどが混じる。乾性の立地に多い。スダジイは関東以西、四国、九州、琉球に分布する。第2回第3回では、鳥取県、徳島県、高知県、鹿児島県で記載されている。

細区分にはヤブコウジースダジイ群集（福島県南部以西、四国、九州の乾生立地に分布）、ホソバカナワラビースダジイ群集（伊豆以西、四国の適潤立地に分布）、ミズバイースダジイ群集（紀伊半島以西、四国、九州の適潤立地に分布）など6群集が含まれる。スダジイ群落は各群集の分布がほぼ明らかになっているので、これらの細区分として区分される可能性がある。

◆中区分：マテバシイ群落

沿岸部の乾燥しやすい場所に成立する常緑広葉樹の自然林。マテバシイが密な樹冠を形成するため林床はきわめて貧弱である。古くから薪炭林として利用されているため二次林や植林も広範囲で見られる（それぞれ大区分40、57とする）。マテバシイは紀伊半島、四国、九州、琉球に分布する。第2回第3回では、山口県、鹿児島県、沖縄県で記載されている。

◆中区分：ホソバタブ群落

ヤブツバキクラス域における渓谷沿いの湿潤な崖錐地に成立する常緑広葉樹の自然林。ホソバタブまたは落葉広葉樹のケヤキが優占し、バリバリノキ、サカキ、オニイタヤなどが混じる。ホソバタブは近畿以西、琉球まで分布する。第2回第3回では、愛媛県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の5県で記載されている。

◆中区分：ヤブツバキ群落

ヤブツバキクラス域北限のおもに日本海沿岸の海岸風衝地に分布する常緑広葉樹の自然林。ヤブツバキが優占する小高木林となる。第2回第3回では、青森県、秋田県で記載されている。

◆中区分：タブノキ群落

ヤブツバキクラス域における低地の沖積地や凹状斜面など適潤地に分布する常緑広葉樹の自然林。タブノキが優占し、イヌマキ、ホルトノキ、アコウ、ショウベンノキなどが混じる。第2回第3回では、太平洋側では岩手県、日本海側では山形県を北限に沖縄県まで15県に分布するが、古くからの低地開発のため鹿児島を除き残存面積はきわめて少ない。

細区分には広い分布域をもつイノデータブノキ群集（本州の東北南部、関東以西、九州の東北沿岸部に分布）、ムサシアブミータブノキ群集（四国南部、九州に分布）、ヤブニッケイータブノキ群落（八丈島に分布）がある。タブノキ群落は各群集の分布がほぼ明らかになっているので、これらの細区分として区分される可能性がある。

◆中区分：ホルトノキ群落

ヤブツバキクラス域における瀬戸内海沿岸を主とするやや少雨の地に分布する常緑広葉樹の自然林。ホルトノキが優占することが多いが、ムクノキ、エノキなどの落葉広葉樹も混生する。ホルトノキは千葉以西から琉球、小笠原に分布する。第2回第3回では、本州の愛知県、和歌山県をはじめ、四国、九州、沖縄の8県で記載されているが、群落の分布が確認されている中国地方などにも確認される可能性がある。

◆中区分：カゴノキ群落

ヤブツバキクラス域における風衝地、岩角地、石灰岩地などに局所的に成立する常緑広葉樹の自然林。カゴノキまたはウラジロガシが優占し、ヤブニッケイ、ムクノキなどが混じる。カゴノキは関東以西から琉球に分布する。第2回第3回では、岐阜県、福岡県、沖縄県の3県で記載されている。

◆中区分：クスノキ群落

ヤブツバキクラス域のスダジイ群落域に成立する常緑広葉樹の半自然林。火災後に再生した二次林や植林に由来する林であるが、クスノキの巨木が優占するため区分される。第2回第3回では、鹿児島県で記載されている。

## ●大区分28:暖温帯針葉樹自然林

常緑針葉樹林はブナクラス域からヤブツバキクラス域上部にまたがって分布するが、このうち主要な分布域がヤブツバキクラス域である常緑針葉樹の自然林。モミ群落、ナギ群落、イヌマキ群落などがある。林内には常緑植物が多い。

### ◆中区分：モミ群落

ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域下部にかけて分布する常緑針葉樹の自然林。モミが優占し、時にアカガシ、ウラジロガシなどのカシ類やツガの他、アカシデ、イヌシデなど落葉広葉樹が混じる。かつては気候的極相林として広く成立していたと考えられるが、現在では急傾斜地や土壌の浅い乾性立地の土地的極相林として成立しているものが多い。第2回第3回では、シキミーモミ群集（東北以南から九州までに分布）として記載されたが、そのうち一部は最近の研究により新設したコガクウツギーモミ群集（中国地方以西、四国、九州に分布）に変更されている。

### ◆中区分：ナギ群落

ナギは普通ヤブツバキクラス域の樹林に点在して生育するが、奈良県春日大社境内にはナギの純林がみられる。カゴノキ、イチイガシ、モミ、イヌガシなどが混じる。ナギは鹿に採食されず他の生物の生育を抑制する他感作用があるため、天然更新をしている。第2回第3回では、奈良県でのみ記載されている。

### ◆中区分：イヌマキ群落

ヤブツバキクラス域における半島の海岸部や小島に分布する常緑針葉樹の自然林。イヌマキが優占し、林床にヒトツバが繁茂する。シイ林構成種が欠如した土地的極相とみなされる。イヌマキは関東以西から琉球まで分布する。第2回第3回では、ヒトツバーイヌマキ群落として兵庫県（南淡町煙島）で記載されている。

## ●大区分29:岩角地・海岸断崖地針葉樹林

ヤブツバキクラス域で土壌が浅く乾燥しやすい立地ではマツ類の針葉樹自然林が成立する。岩角地や尾根部にはアカマツ群落、海岸断崖地や海岸砂丘にはクロマツ群落が成立している。岩角地ではヒメコマツ群落もみられる。

なお、針葉樹林を分布や生育状況の差異により「暖温帯針葉樹林」（大区分28）と「岩角地・海岸断崖地針葉樹林」とに区分している。「暖温帯針葉樹林」はヤブツバキクラス域上部、または海岸の岩角地を中心に分布し、局地的には気候的極相として発達することもある。また、古気候に対応した遺存的植物群落でもある。これに対し、マツ類の「岩角地・海岸断崖地針葉樹林」はブナクラス域からヤブツバキクラス域まで広範囲で自然植生としては岩角地に限って出現し、土地的極相として成立する。

### ◆中区分：アカマツ群落

ヤブツバキクラス域の低地から山地にかけての岩角地、尾根部などに成立するアカマツが優占する常緑針葉樹の自然林。第2回第3回では、岩手県から鹿児島県まで19県で記載されている。内陸の山地に多いが、北限の岩手県では三陸海岸に分布し、他に山地の河辺砂礫地にも成立する。発達した二次林（大区分42）との区別は難しいが、岩角地や尾根部、河辺など極端な立地に成立するものだけを自然植生とする。なお、主としてブナクラス域に分布するアカマツ群落（大区分15）は植生区分をブナクラス域として別に扱っているので、県によっては境界域の検討が必要である。

### ◆中区分：クロマツ群落

ヤブツバキクラス域の海岸断崖地に成立する常緑針葉樹の自然林。耐塩性、耐乾性の高いクロマツが優占し、海岸からの距離に応じて低木林から高木林まで発達段階の異なるものがみられる。低木層には海岸風衝低木群落の構成種であるマサキ、トベラ、ウバメガシなどが多い。第2回第3回では、青森県から鹿児島県まで15県で記載されている。なお、海岸砂丘に古く植林されたと思われるクロマツ群落はクロマツ植林（大区分54）とする。

### ◆中区分：ヒメコマツ群落

ヤブツバキクラス域上部の山地の尾根、岩角地などに成立する常緑針葉樹の自然林。土壌が浅く乾性の立地にみられる。ヒメコマツが優占する。第2回第3回では、千葉県清澄山に寒冷期の遺存群落として残存している群落が記載されている。

## ●大区分30:落葉広葉樹林

ヤブツバキクラス域からブナクラス域上部にかけての溪谷沿いの崖錐、低地の微高地などにみられる落葉広葉樹の自然林。常緑広葉樹林が成立しない不安定でやや湿性の立地に成立する。ケヤキ群落、ムクノキーエノキ群落、ミズキ群落などがある。

### ◆中区分：ケヤキ群落

ヤブツバキクラス域からブナクラス域上部にかけての溪谷沿いの崖錐、低地の微高地などにみられる落葉広葉樹の自然林。ケヤキが優占し、ミズキ、オニイタヤ、イロハモミジ、ムクノキなどが混生する。低木層にはコクサギ、ヤマブキなどの落葉樹、アオキ、シロダモなどの常緑樹、イヌガヤ、カヤなどの針葉樹が生育する。第2回第3回では、福島県以南、四国、九州まで19府県で記載されている。細区分にはコクサギ-ケヤキ群集（関東地方のローム質土壌が堆積した適潤な斜面に分布）、イロハモミジ-ケヤキ群集（関東以西から四国の溪谷に分布）など4群集がある。

### ◆中区分：ムクノキーエノキ群落

ヤブツバキクラス域における低地の河畔や自然堤防などにみられる落葉広葉樹の自然林。エノキ、ムクノキが優占する。低木層にはシロダモ、ヤブニッケイなどの常緑広葉樹が多い。第2回第3回では、山口県、愛知県で記載された群落が該当する。細区分にはムクノキーエノキ群集（関東以西、四国、九州に分布）がある。

### ◆中区分：ミズキ群落

ヤブツバキクラス域における不安定な溪畔に成立する落葉広葉樹の自然林。ミズキ、イタヤカエデ、ウリハダカエデなどが優占する。九州の多良山系に多くみられる。第2回第3回では、ウリノキーミズキ群落として佐賀県、長崎県で記載されている。他地域でも確認される可能性があるが、ミズキは二次林に多いので自然植生に限定する。

## ●大区分31:沼沢林

ヤブツバキクラス域における沼沢地に成立する落葉広葉樹の自然林。丘陵地や台地の谷地や湧水辺、河川の後背湿地、池沼の周辺などの過湿地ではハンノキ群落、湿性立地ではクヌギ群落がみられる。時にエノキ、シロダモなどが混じる。低地は古くから開発が進んでいるため、残存する群落はきわめて少ない。

### ◆中区分：ハンノキ群落

ヤブツバキクラス域における河川下流域の後背湿地、氾濫原、海岸平野など地下水位の高い湿性立地に成立する落葉広葉樹の自然林。ハンノキが優占し、エノキ、シロダモ、コブシなどが混生する。第2回第3回では、茨城県、新潟県から宮崎県まで18県で記載されている。

### ◆中区分：クヌギ群落

ヤブツバキクラス域におけるやや湿性の平地や河川敷にみられる落葉広葉樹の自然林。クヌギが優占し、低木層にはタチヤナギ、ゴマギなどが生育する。クヌギは本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、茨城県でのみ記載されている。なお、二次林のクヌギ群落（大区分41）は別に記載されている。



## ●大区分32:河辺林

ヤブツバキクラス域における河辺に成立する落葉広葉樹の自然林。低木群落を主とし、河辺ではアカメヤナギ、ジャヤナギなどのヤナギ高木群落や、ネコヤナギ、タチヤナギなどのヤナギ低木群落、溪谷ではカワラハンノキ群落、フサザクラ群落がみられる。第2回第3回で記載された河辺落葉高木群落(宮崎県)は、ハルニレの南限の群落であることからこの大区分に含められる。

なお、第2回第3回の「自然低木群落」の一部で河辺に立地するものは「河辺林」とする。

### ◆中区分:ヤナギ高木群落

ヤブツバキクラス域の河辺に成立する落葉広葉樹の自然林。アカメヤナギ、ジャヤナギ、ヨシノヤナギ、オオタチヤナギなどが高木林を形成する。第2回第3回では、ヤナギ低木群落(後述)に一括していたが、近年河川管理の転換に伴い増加しているため、新規に区分する。福岡県のジャヤナギの群落を本群落に変えたが、他県のヤナギ低木群落のなかにも該当する部分が含まれると思われる。

### ◆中区分:ヤナギ低木群落

ヤブツバキクラス域の河辺に成立する落葉広葉樹の自然林。ネコヤナギ、タチヤナギ、イヌコリヤナギや、オノエヤナギ、クワヤナギなどの低木状のヤナギ群落を含む。第2回第3回では、岩手県から鹿児島県まで28県で記載されたものが該当する。細区分はネコヤナギ群落(主として河川上・中流域に分布)、タチヤナギ群落(主として河川中・下流域に分布)の2つに変更した。

### ◆中区分:カワラハンノキ群落

ヤブツバキクラス域における河川上・中流域の溪流辺に成立する落葉広葉樹の自然林。不安定で適湿な礫質地にみられ、カワラハンノキが樹幹を下方にはわせて生育する。カワラハンノキは本州(東海以西)、四国、九州地方の太平洋側に分布する。第2回第3回では、島根県、山口県で記載されている。

### ◆中区分:フサザクラ群落

ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域下部において、沢筋の崩壊性の強い立地に成立する落葉広葉樹の自然林。フサザクラが優占し小高木林、または低木林となる。低木層にはタマアジサイが多い。フサザクラは本州、四国、九州に分布する。第2回第3回では、栃木県から宮崎県まで5県で記載されている。なお、フサザクラ群団の名称も用いられていたが、フサザクラ群落と同義なので後者に変えた。細区分にはタマアジサイーフサザクラ群集(本州の関東地方以西に分布)がある。

### ◆中区分:アキニレ群落

ヤブツバキクラス域における河辺の自然堤防に成立する落葉広葉樹の自然林。アキニレが優占する小高木林で、低木層にはイボタノキ、オニグルミなどが生育する。アキニレは中部以西、四国、九州に分布する。第2回第3回では、長崎県対馬で記載されている。

## ●大区分33:自然低木群落

ヤブツバキクラス域における岩角地、火山地など常緑広葉樹林の成立しない立地に生育する落葉広葉樹の低木群落。ヤマヤナギーツクシヤブウツギ群団、オオバヤシャブシ群落、クサギーアカメガシワ群団などがある。

### ◆中区分:ヤマヤナギーツクシヤブウツギ群団

ヤブツバキクラス域上部からブナクラス域にかけて、火山の溶岩上や風衝地などに成立する落葉広葉樹の低木群落。ツクシヤブウツギ、ヤマヤナギ、カナクキノキ、ミヤマキリシマなどが混生する各種の群落がある。群団標徴種のツクシヤブウツギは中国、四国、九州に分布する。第2回第3回では、ノリウツギーヤシャブシ群落、カナクキノキーツクシヤブウツギ群落(以上宮崎県)が一括され記載されている。他に群団が確認されている鹿児島県、大分県などで区分される可能性がある。

### ◆中区分:オオバヤシャブシ群落

ヤブツバキクラス域における火山の砂礫地、溶岩上、断崖崩壊地などに成立する落葉広葉樹の低木群落。オオバヤシャブシが優占し、他にハチジョウグワ、アカメガシワ、ニオイウツギ、ガクアジサイなどが生育する。オオバヤシャブシは関東以西、紀伊に分布する。第2回第3回では、ニオイウツギーオオバヤシャブシ群集などとして、東京都の伊豆諸島で記載されている。類似の群落に、畑放棄地などに成立する「落葉広葉樹二次林」(大区分41)のオオバヤシャブシ群落があるが、立地によって区別する。

### ◆中区分:クサギーアカメガシワ群団

ヤブツバキクラス域における火山の噴気孔付近や、火山砂礫が堆積した河辺に成立する落葉広葉樹の低木群落。第2回第3回では、低木層にガクアジサイ、ラセイタタマアジサイが多いガクアジサイーラセイタタマアジサイ群集(東京都伊豆諸島)などが、本群団として記載されている。類似の群落に「落葉広葉樹二次林」(大区分41)のアカメガシワーカラスザンショウ群落があるが、通常林縁や伐採跡地に形成されるので、立地により区別する。

### ◆中区分:ハマボウ群落

ヤブツバキクラス域における河口部汽水辺に成立する落葉広葉樹の低木群落。ハマボウが優占し、林床にヨシ、シオググなどが生育する。第2回第3回では、愛知県、和歌山県、宮崎県、鹿児島県で記載されているが、ハマボウは伊豆半島以西、四国、九州地方に分布するので、分布面積によっては他地域にも確認される可能性がある。

## ●大区分34: 海岸風衝低木群落

ヤブツバキクラス域における海岸風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。高さ3～7mほどの低木群落を主とし、トベラ、マサキの優占するトベラ群落が広範囲に分布する。他に伊豆半島以南ではウバメガシ群落、九州ではハマビワ群落、マルバニッケイ群落、モクタチバナ群落などがみられる。

### ◆中区分：トベラ群落

ヤブツバキクラス域における海岸風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。トベラ、マサキ、マルバグミ、マルバノシャリンバイ、ヤブツバキなどが、風衝作用により刈り込まれたようになって低木林を形成する。第2回第3回では、マサキトベラ群集として神奈川県、新潟県から鹿児島県までの19県で記載されているが、群集の分布が確認されている関東以南、四国では他地域にも確認される可能性がある。

### ◆中区分：ウバメガシ群落

ヤブツバキクラス域における海岸風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。ウバメガシが優占し、他にハマヒサカキ、トベラ、マルバグミ、ヤブツバキなどが低木林を形成する。ウバメガシは関東以西から琉球まで分布するが、群落は伊豆半島以南で確認されている。第2回第3回では、静岡県以南、四国、九州、沖縄までの6県で記載されている。細区分にはトベラウバメガシ群集（伊豆半島以西の太平洋沿岸に分布）がある。

### ◆中区分：ハマビワ群落

ヤブツバキクラス域における海岸風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。ハマビワ、シャリンバイ、ハマヒサカキ、トベラ、マサキ、アカテツ、ヒメユズリハなどが低木林または小高木林を形成する。第2回第3回では、オニヤブソテツハマビワ群集（九州南部と奄美に分布）とアカテツハマビワ群集（奄美以南に分布）として記載されている。

### ◆中区分：マルバニッケイ群落

ヤブツバキクラス域の、特に九州の海岸風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。マルバニッケイ、トベラ、ハマビワ、ハマヒサカキなどが低木林を形成する。第2回第3回では、長崎県の男女群島で記載されているが、他にもマルバニッケイの群落が確認されている鹿児島県の屋久島、種子島、口永良部島などで確認される可能性がある。

### ◆中区分：モクタチバナ群落

ヤブツバキクラス域の特に九州の海岸風衝地に成立する常緑広葉樹の自然林。萌芽林を含む。モクタチバナ、マサキ、タブノキ、ヤブツバキなどが低木林を形成する。第2回第3回では、長崎県の男女群島や五島列島で記載されている。なお、モクタチバナ群落は他に小笠原の母島の雲霧帯で記載されており、「亜熱帯常緑広葉樹林」（大区分35）に区分されている。

## ●大区分35:亜熱帯常緑広葉樹林

ヤブツバキクラス域のうち、奄美、沖縄、小笠原の亜熱帯域の非石灰岩地に成立する常緑広葉樹等の自然林。奄美、沖縄の山地から低地にはスタジイやオキナワウラジロガシの優占する群落が発達し、ポチョウジースタジイ群団として一括されている。沖縄、小笠原の海岸には汎熱帯性のハスノハギリ群落、モモタマナ群落が分布する。小笠原ではムニンヒメツバキ群落、モクタチバナ群落などの他、木性シダ類のマルハチ群落など固有種を含む群落がみられる。四国以南の海岸に点在するピロウ群落も本区分に含める。

### ◆中区分：ポチョウジースタジイ群団

奄美以南のヤブツバキクラス域に分布する常緑広葉樹の自然林。スタジイが優占する。山地ではイスノキ、ヒメユズリハ、イジュ、オキナワウラジロガシ、ヤマモモなどが混生し、低地ではホルトノキ、タブノキ、ツルアダン、フクギ、オガタノキなどが混じる。砂岩、頁岩、花崗岩などを母岩とする非石灰岩性の立地にみられる。第2回第3回では、リュウキュウアオキースタジイ群集として鹿児島県、沖縄県で記載されたが、最近の研究ではポチョウジースタジイ群団に統合されている。

細区分には、アマミテンナンショウスタジイ群集、ケハダルリミノキースタジイ群集（以上奄美に分布）、アオバナハイノキースタジイ群集（沖永良部島に分布）、オキナワウラジロガシ群集、オキナワシキミースタジイ群集（以上沖縄本島、徳之島に分布）、ケナガエサカキースタジイ群集（西表島、石垣島に分布）などがある。なお、ポチョウジースタジイ群団はこれらの細区分として細分される可能性がある。

### ◆中区分：ピロウ群落

四国以南のヤブツバキクラス域における沿海崖地などに成立する常緑ヤシ型自然林。ピロウ群落の他、沖縄以南ではヤエヤマヤシ、ニッパヤシなどの群落がある。林床はタブノキ、モクタチバナ、ホソバタブ、ヤブニッケイ、リュウキュウガキなどが生育する。沿海地の岩崖地、急傾斜地、隆起石灰岩上などにみられる。第2回第3回では、高知県から沖縄県まで6県で記載されている。細区分にはピロウ群落・ヤエヤマヤシ群落（沖縄県）がある。

### ◆中区分：ハスノハギリ群落

ヤブツバキクラス域亜熱帯域の海岸後砂丘に成立する常緑・落葉広葉樹の自然林。沖縄では熱帯に広く分布するハスノハギリが優占するが、小笠原ではテリハボクまたはモモタマナが優占する林分もみられる。防風林として機能する。第2回第3回では、沖縄県、東京都（小笠原）で記載されている。

### ◆中区分：モモタマナ群落

熱帯に広く分布するモモタマナとテリハボクが優占する常緑・落葉広葉樹の自然林。海岸に近い低地や地すべり地の凹状地などの砂礫地にみられる。小笠原の父島、弟島に多い。第2回第3回では、テリハボクモモタマナ群落として小笠原を含む東京都で記載されている。

### ◆中区分：オオバシロテツテリハコブガシ群団

東京都小笠原に分布する常緑広葉樹林。小笠原固有種を主とし、父島、母島、硫黄島など島ごとに異なる植物群落がみられるが、これらはオオバシロテツテリハコブガシ群団（オーダー）に一括されている。小笠原でもっとも発達した森林であるウドノキシマホルトノキ群集（母島の桑ノ木山と石門など土壌の発達した緩斜面に分布）、セキモンノキモクタチバナ群集（母島の石門山、船木山に分布）、父島でもっとも発達した森林であるコブガシムニンヒメツバキ群集（父島、母島の山地に分布）、オオバシロテツチギ群集（硫黄島に分布）などがある。第2回第3回では、東京都（小笠原）で記載されている。

小笠原の常緑広葉樹林は、南西諸島の常緑広葉樹林と属レベルでは共通するが共通種はほとんどなく、現在のところヤブツバキクラスには含まれていない。大洋島の群落体系との比較研究によりクラスは決定されるが、今回は便宜上ヤブツバキクラスとして扱っている。

### ◆中区分：マルハチ群落

小笠原諸島固有の木性シダであるマルハチが優占する群落。ヒサカキ、トキワイヌビワなどが混生する。南硫黄島の斜面中上部を占める。なお、父島、母島のマルハチ群落（大区分44）は森林攪乱地に断片的に出現するので植生区分を代償植生としている。第2回第3回では、マルハチ群集として東京都小笠原で記載されている。

## ●大区分36: 亜熱帯常緑広葉樹林(隆起石灰岩上)

ヤブツバキクラス域のうち、奄美南部、沖縄南部、小笠原の亜熱帯域において隆起珊瑚礁起源の石灰岩上に成立する常緑広葉樹の自然林。奄美南部、沖縄南部では台地にクスノハカエデ、ナガミボチョウジなど多種の常緑樹によって構成されるナガミボチョウジーリュウキュウガキ群団が分布し、海岸風衝地にクロヨナ群落、低地にアカギ群落が見られる。小笠原ではもともと発達した森林であるシマホルトノキ群落石灰岩性の立地に成立している。

### ◆中区分: ナガミボチョウジーリュウキュウガキ群団

ヤブツバキクラス域のうち、沖縄の隆起珊瑚礁上の台地、山腹に成立する常緑広葉樹の自然林。沖縄本島と周辺諸島ではヤブニッケイ、オオバギ、アカギ、クロヨナ、クスノハカエデ、クワノハエノキ、ガジュマル、キイルンカンコノキなどが混生するが、奄美大島、与那国島、西表島では構成種が少なくなる。林床にはナガミボチョウジ、リュウキュウガキ、シマヤマヒハツなどが生育する。

細区分にはナガミボチョウジクスノハカエデ群落、ナガミボチョウジーリュウキュウガキ群落がある。

### ◆中区分: クロヨナ群落

沖縄に分布する常緑広葉樹の自然林。クロヨナ、ガジュマルが優占し、アカテツ、オオバギ、オオハマボウなどが混生する。低地の隆起珊瑚礁上、石灰岩上で、海岸断崖など風衝の強い場所にみられる。第2回第3回では、ガジュマルクロヨナ群集として鹿児島県(奄美)、沖縄県で記載されている。

### ◆中区分: アカギ群落

沖縄に分布する常緑広葉樹の自然林。熱帯生植物のアカギ、オオバギを主に、タブノキ、アコウなどが混生する。一般に、低地部や谷部の湿潤な立地に河辺林として出現するが、隆起石灰岩上にも群落を形成する。第2回第3回では、沖縄県で記載されている。なお、小笠原のように明らかに植林であるものはその他植林(大区分54)として別に区分する。

### ◆中区分: アマミアラカン群落

鹿児島県奄美大島、徳之島の沖積地などに成立する常緑広葉樹の自然林。アマミアラカシが優占し、ホルトノキ、フカノキ、タブノキなどが混生する。隆起石灰岩上または隆起珊瑚礁上に多く発達し、河川沿いの急崖地や崖錐にもみられる。第2回第3回では、鹿児島県で記載されている。

### ◆中区分: オガサワラボチョウジ群落

東京都小笠原に分布する常緑広葉樹林。シマホルトノキ、ウドノキ、アカテツ、ハツバキ、ムニンエノキなどが混生し、林床にはセキモンウライソウが特徴的に生育する。母島針ノ木山の石灰岩の露出地に成立する。第2回第3回では、セキモンウライソウオガサワラボチョウジ群集として小笠原を含む東京都で記載されている。

## ●大区分37: 亜熱帯湿生林(マングローブ林)

ヤブツバキクラス域のうち、奄美、沖縄の亜熱帯域の海岸に成立する常緑広葉樹の湿生林。世界の熱帯から亜熱帯に広く分布する汎熱帯植生である。海岸前線にはマングローブ群落と総称されるオヒルギ、メヒルギなどの優占する群落配分し、後背の湿地にはサガリバナサキシマスオウノキ群落が斑紋状に生育している。九州では低木のハマジンチョウが優占する群落が見られる。

### ◆中区分: ハマジンチョウ群落

ハマジンチョウは、穏やかな入り江や河口付近などの礫泥地に生育し、優占する群落となる。第2回第3回の調査では長崎県と熊本県の2県でのみ記載されているが、ハマジンチョウは九州の西海岸や種子島の他、三重県などにも分布が見られるため、分布面積によっては、他地域でも区分される可能性がある。

### ◆中区分: マングローブ群落

ヤブツバキクラス域亜熱帯域の海岸泥湿地に成立する常緑広葉樹の湿生林。九州南部以南にメヒルギ群落、奄美大島以南にオヒルギ群落、沖縄本島以南にヤエヤマヒルギ群落が広く分布し、沖縄諸島より南では他にヒルギモドキ、ヒルギダマシ、マヤブシキが混生する群落が見られる。河口の感潮域や内湾の最奥部などに形成される。低木のメヒルギ、ヒルギダマシ、ヒルギモドキは、高木のオヒルギ群落、ヤエヤマヒルギ群落の前縁や河道沿いに生育する。第2回第3回では、鹿児島県(南部)、沖縄県で記載されている。

### ◆中区分: サガリバナサキシマスオウノキ群落

ヤブツバキクラス域亜熱帯域の河川下流域にみられる後背湿地や氾濫原に成立する常緑広葉樹の湿生林。砂泥質土壌の堆積した場所にみられ、汽水域でマングローブ群落に接する。サガリバナ群落と、陸化の進んだ立地にみられるサキシマスオウノキ群落がモザイク状に交錯する。第2回第3回では、鹿児島県(奄美)、沖縄県(西表島など)で記載されている。

## ●大区分38: 亜熱帯常緑針葉樹林

ヤブツバキクラス域のうち、奄美、沖縄の亜熱帯域の海岸断崖地に成立する常緑針葉樹の高木林。リュウキュウマツが優占する。中区分のリュウキュウマツ群落に一致する。

### ◆中区分：リュウキュウマツ群落

奄美以南のヤブツバキクラス域に成立する常緑針葉樹の自然林。リュウキュウマツが優占する。林内は常緑広葉樹が多数生育するがリュウキュウマツに結びつく特定の種はみられない。リュウキュウマツ群落は自然林としては海岸断崖地の土壌の少ない場所に成立する。現存する群落のほとんどは自然林の立地に生じたものではなく、常緑広葉樹林の潜在立地に先駆的に形成された二次林である。

リュウキュウマツ群落の植生区分は自然植生に一括されていたが、群落の動態や全国的なマツ林との整合を考慮し、自然植生と代償植生(大区分4 2)に区分することにした。便宜上、沖縄県では自然植生、鹿児島県では代償植生として扱っている。両県のリュウキュウマツ群落は、立地により植生区分を分けて記載することが必要である。なお、明らかに植林であるものはリュウキュウマツ植林(大区分5 4)として別に区分する。

## ●大区分39: 亜熱帯低木群落

ヤブツバキクラス域のうち、奄美、沖縄、小笠原の亜熱帯域に成立する常緑広葉樹の低木群落。海岸の塩沼地にはオオハマボウ群落、砂丘にはモンパノキークサトベラ群落が成立している。小笠原の母島、北硫黄島、南硫黄島の上部は常時霧がかかる雲霧帯となるため、湿性の風衝低木群落が形成されている。その代表的なものに小笠原固有のキク科植物ワダンノキの優占する群落がある。また、小笠原の父島母島の岩石地や、硫黄島の海岸断崖地などの乾燥の激しい立地では、コバノアカテツ、タコノキなどの優占する海岸風衝低木群落がみられる。

### ◆中区分：ソテツ群落

九州南部以南の海岸の岩崖や急峻な岩場に成立する低木群落。ソテツが優占し、ススキ、ハチジョウススキ、ハマビワ、マサキなど風衝地に多い種が生育する。第2回第3回では、宮崎県、鹿児島県、沖縄県で記載されている。

### ◆中区分：オオハマボウ群落

ヤブツバキクラス域亜熱帯域の河口部汽水辺、海岸砂丘や隆起珊瑚礁の後背地などに成立する常緑広葉樹の低木群落。オオハマボウが優占し、アダン、シイノキカズラ、イボタクサギなどが混生する。第2回第3回では、オオハマボウ群落(東京都)、アダン-オオハマボウ群落(鹿児島県、沖縄県)として記載されている。

### ◆中区分：モンパノキークサトベラ群落

ヤブツバキクラス域亜熱帯域の海岸砂丘や隆起珊瑚礁の後背地に成立する常緑広葉樹の低木群落。熱帯に広く分布するモンパノキまたはクサトベラが優占する。第2回第3回では、東京都(小笠原)、鹿児島県(屋久島、奄美)で記載されている。沖縄県にも確認される可能性がある。

### ◆中区分：雲霧帯風衝低木群落(小笠原)

小笠原諸島の断崖地を吹き上げる風により形成される雲霧帯に成立する湿性の風衝低木群落。母島(海拔300~462m)、北硫黄島、南硫黄島(500~916m)の東斜面を中心に分布し、島ごとに異なる植物群落がみられる。後述する中区分の海岸風衝低木群落(小笠原)に対し高海拔地に成立している。細区分にキク科木本植物のワダンノキが優占するワダンノキ群集(母島の塚ヶ岳や乳房山の山頂部や稜線部に分布)、上層のヒサカキ、下層のガクアジサイ、オガサワラモクマオによって構成されるヒサカキ-ガクアジサイ群落(北硫黄島山頂の三万坪に分布)、トキワイヌビワ、フヨウなどが優占する群落がまとめられたトキワイヌビワ群落(南硫黄島に分布)がある。第2回第3回では、東京都(小笠原)で記載されている。

### ◆中区分：海岸風衝低木群落(小笠原)

小笠原諸島の海岸断崖地に成立する風衝低木群落を主とし、風衝が弱まる斜面上部の岩石地に分布する常緑硬葉樹低木群落を含む。細区分として、小笠原固有のタコノキが優占するタコノキ-オガサワラビロウ群集(父島、母島の海岸台地に広く分布)、シマイスノキ-コバノアカテツ群集、ムニンアオガンビー-コバノアカテツ群集(父島、母島列島の強い風衝を受ける乾性立地に広く分布)、アカテツ群落及びセンダン群落(南硫黄島の海岸断崖地に分布)、トゲミウドノキ群落(南島島の東海岸から中央部に分布)がある。第2回第3回では、東京都(小笠原)で記載されている。

## ●大区分40:常緑広葉樹二次林

本州から沖縄までヤブツバキクラス域全域に分布する常緑広葉樹の二次林。常緑広葉樹林の伐採後に萌芽して回復の進んだ群落である。低山地にはアラカシ、シラカシ、コジイ、スダジイなど、低地にはタブノキ、ヤブニッケイ、マテバシイなどが優占する高木林がみられる。他に沿岸ではトベラ、マサキ、ウバメガシなどの低木群落がみられる。

### ◆中区分：シイ・カシ二次林

本州から沖縄までヤブツバキクラス域全域の低地から低山地に分布する常緑広葉樹の二次林。海岸部ではスダジイ、内陸部ではコジイ、アラカシ、アカガシ、シラカシ、ウラジログシなどが萌芽林となって優占する。近年ではアカマツ植林やコナラ群落が長期間放置され、シイ・カシ二次林に移行するものが増加し、次第に自然林の構成種が復元する。第2回第3回では、千葉県から沖縄県まで22県で記載されている。細区分にはスダジイ二次林、アカガシ二次林、ケヤキ-シラカシ群落がある。

### ◆中区分：タブノキ-ヤブニッケイ二次林

ヤブツバキクラス域における沿海地に分布する常緑広葉樹の二次林。タブノキ、ヤブニッケイ、シロダモなどが混生し、スダジイは少ない。第2回第3回では、東京都から沖縄県まで8県で記載されている。細区分にヤマヤブソテツ-ヤブニッケイ群落がある。

### ◆中区分：ヒサカキ二次林

神棚に供するヒサカキを採取するためにスダジイ二次林からヒサカキが選択的に残された二次林。第2回第3回では、東京都（八丈島や三原山の山麓）で記載されている。

### ◆中区分：マテバシイ二次林

九州のヤブツバキクラス域における低地から低山地に分布する常緑広葉樹の二次林。萌芽性の高いマテバシイが密な樹冠を作り、林内照度が低いために構成種はきわめて少ない。九州地方では古くから薪炭林として利用され、自然植生として成立する海岸部を越えて、山地まで広い範囲にみられる。第2回第3回では、ハクサンボク-マテバシイ群落として福岡県、長崎県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県で記載されている。

### ◆中区分：マサキ-トベラ二次林

ヤブツバキクラス域における海岸風衝地に再生する二次的な常緑広葉樹低木群落。マサキ-トベラ群落（大区分34）が伐採された後に再生する。トベラ、マサキ、ヒメユズリハ、タブなどが混生し、組成はマサキ-トベラ群落とほとんど変わらない。第2回第3回では、東京都（伊豆諸島）で記載されている。なお、小規模な群落は自然植生のマサキ-トベラ群落に含める。

### ◆中区分：ウバメガシ二次林

ヤブツバキクラス域における海岸風衝地、南向きの急傾斜地、崖地などに再生する二次性の常緑広葉樹低木群落。海岸ではウバメガシが優占し、トベラ、シャシャンボ、タイミンタチバナなどを伴い、組成はトベラ-ウバメガシ群落（大区分34）とほとんど変わらない。内陸の崖地ではアセビ、モチツツジ、ウンゼンツツジなどを伴う。備長炭に利用する薪炭林として定期的な伐採により維持されてきた。第2回第3回では、大阪府、和歌山県で記載されている。

## ●大区分41:落葉広葉樹二次林

ヤブツバキクラス域において落葉広葉樹が優占する回復途上の二次林。コナラ、クヌギ、アベマキなどのナラ類や、アカシデ、イヌシデなどのシデ類を主とする群落が多く分布し、他に伊豆諸島ではオオシマザクラ群落、オオバヤシャブシ群落などがみられる。落葉広葉樹二次林は薪炭林として伐採や下刈りなどの定期的管理を受けて維持されてきた。ヤブツバキクラス域内にあってブナクラス域の植物の遺存的生育域となっており、動物の生息域としても重要である。近年では放置され、林内にネザサ類が繁茂したり常緑植物が再生するなど荒廃が目立つものが増加している。

### ◆中区分：コナラ群落

ヤブツバキクラス域下部の丘陵から低山地に成立する落葉広葉樹の二次林。コナラ、クリ、クヌギなどが優占し、他に沿海地ではカラスザンショウ、アカメガシワ、内陸にかけてはエゴノキ、ウワミズザクラ、ミズキ、イヌシデ、近畿以西ではアベマキなどが混生する。薪炭林として定期的な伐採により持続する。近年では放置されるところが多く、林内にネザサ類や常緑植物が繁茂し荒廃した群落が目立つ。第2回第3回では、岩手県から鹿児島県まで32府県で記載されている。

なお、主としてブナクラス域に分布するコナラ群落（大区分22）は植生区分をブナクラス域として別に扱っているため、県によっては境界域の検討が必要である。

細区分にはクリーコナラ群落、クヌギコナラ群集（東北、関東地方に分布）、オニシバリーコナラ群集（関東以西に分布）、ノグルミーコナラ群集（九州の対馬に分布）などがある。

### ◆中区分：クヌギ群落

ヤブツバキクラス域下部の丘陵に成立する落葉広葉樹の二次林。普通クヌギはコナラ群落に混生しているが、丘陵地の尾根や土壌の浅い立地ではクヌギが優占し群落を形成する。林床にはネズミモチ、ヤブニッケイなど常緑植物が多い。しいたけ栽培などを目的に植林され、定期的な伐採によって維持される。第2回第3回では、佐賀県、長崎県、宮崎県で記載されている。

### ◆中区分：アベマキ群落

近畿、中国地方のヤブツバキクラス域下部の丘陵に成立する落葉広葉樹の二次林。アベマキ、クヌギが優占し、クリ、リュウブ、カスミザクラ、エゴノキ、ノグルミなどが混生する。一般に乾性の立地に成立し、定期的な伐採によって持続している。アベマキは本州の中部から西部、四国、九州に分布する。第2回第3回では、香川県で記載されている。

### ◆中区分：アカシデーイヌシデ群落

ヤブツバキクラス域における低山地や丘陵の谷沿いの斜面に多い落葉広葉樹の二次林。イヌシデ、アカシデが優占し、ミズキ、コナラ、ケヤキなどが混生する。陽の差さない北～西向きで土壌の浅い急斜面に多い。アカシデまたはイヌシデのいずれか一方の群落となる場合もあるが、分布域が局地的で明瞭に区分できないため一括している。第2回第3回では、埼玉県、東京都、奈良県で記載されている。

### ◆中区分：オオシマザクラ群落

植林に由来するオオシマザクラを主とする落葉広葉樹の二次林。オオシマザクラ、オオバエゴノキ、オオバヤシャブシが混生する。オオシマザクラは本州の房総、伊豆、伊豆七島に分布し、薪炭林や桜餅用の葉の採取に利用される。第2回第3回では、オオバエゴノキオオシマザクラ群集として伊豆諸島を含む東京都で記載されている。

### ◆中区分：オオバヤシャブシ群落

ヤブツバキクラス域における伐採跡地や畑放棄地にオオバヤシャブシが優占する落葉広葉樹の二次林が形成されている。ニオイウツギ、ハチジョウイボタなど落葉広葉樹と、タブノキ、ヒサカキなど常緑広葉樹が混生する。第2回第3回では、千葉県、東京都（伊豆諸島）で記載されている。

## ●大区分42:常緑針葉樹二次林

ヤブツバキクラス域に成立する常緑針葉樹の二次林。低山地から丘陵地ではアカマツ群落、沿岸ではクロマツ群落が広い範囲で成立している。アカマツの自然林の立地は土壌の浅い岩角地、クロマツのそれは海岸の断崖や砂丘であるが、これらの二次林は森林破壊後の陽地に先駆的に形成され、はるかに広い面積を占める。植林起源でよく発達した林分も含む。

### ◆中区分：アカマツ群落

ヤブツバキクラス域における丘陵地、低山地の斜面上部に広く分布し、アカマツが優占する二次林。群落内にはツツジ科の植物が多い。伐採跡地や山火事跡地に先駆的に形成されるが、アカマツ植林から二次的に広がったものも多い。尾根部の土壌の浅い乾性の立地でよく発達し持続群落となるが、斜面下部では落葉広葉樹二次林や常緑広葉樹二次林に移行する。花崗岩地などでよく発達した二次林では自然林（大区分29）との区別が困難になるが、立地により区分する。第2回第3回では、福島県から鹿児島県まで21府県で記載されている。なお、主としてブナクラス域に分布するアカマツ群落（大区分23）は植生区分をブナクラス域として別に扱っているため、県によっては境界域の検討が必要である。

林床に生育するツツジ類によってヤマツツジ-アカマツ群集（本州に分布）、モチツツジ-アカマツ群集（近畿、中国に分布）、コバノミツバツツジ-アカマツ群集（中国、四国の花崗岩乾性立地に分布）、サイゴクミツバツツジ-アカマツ群集（本州日本海側に分布）、オンツツジ-アカマツ群集（近畿南部、四国、九州に分布）などの細区分に分けられている。

### ◆中区分：クロマツ群落

ヤブツバキクラス域における沿海地に分布し、クロマツが優占する二次林。海岸砂丘や海岸風衝地の周辺、沿海の丘陵地の斜面上部などに先駆的に形成される。クロマツ植林から二次的に広がったものも多い。潮風の影響が強い乾性の立地でよく発達し持続群落となるが、影響が弱まる場所では落葉広葉樹や常緑広葉樹の混入が多い。よく発達した二次林では自然林（大区分29）との区別が難しいが、立地によって分ける。第2回第3回では、茨城県から鹿児島県まで20府県で記載されている。なお、海岸砂丘に古く植林されたと思われるクロマツ群落はクロマツ植林（大区分54）として別に区分する。

### ◆中区分：リュウキュウマツ群落

ヤブツバキクラス域において奄美以南の森林伐採地に成立し、リュウキュウマツが優占する二次林。林床には常緑広葉樹林の構成種が多数生育する。リュウキュウマツ群落は自然林としては海岸断崖地の土壌の少ない場所に成立する（大区分38）が、現在見られる森林のほとんどは二次林である。第2回第3回では、鹿児島県（奄美）、沖縄県で自然植生として記載されているが、鹿児島県の群落は植生区分を代償植生に変えた。しかし沖縄県のリュウキュウマツ群落のなかにも代償植生に該当する部分がかかり含まれると考えられる。なお、明らかに植林であるものは、リュウキュウマツ植林（大区分54）として別に区分する。

### ◆中区分：モミ群落

植林起源と考えられるモミが優占する二次林。モミ自然林と組成を異にし、比較的土壌の厚い尾根に立地する点からも、二次林と判断される。第2回第3回では、石川県で記載されている。

## ●大区分43:タケ・ササ群落

ヤブツバキクラス域において集落付近、河岸、海岸断崖地などに二次的に成立する、高くならないタケやササの群落。ヤダケ、メダケ、リュウキュウチクが優占する群落が一括されている。かつて用材や防風用、護岸用に植栽されたこともあるが、大部分は二次的に形成されたものである。

第2回第3回では、群馬県から鹿児島県まで8府県で記載されたものが該当するが、分布面積や分布状況によっては後述する中区分として確認される可能性がある。なお、本群落に含まれていたホテイチク林、ホウライチク林は、中国原産で植栽されたものが多いため、植生区分Ⅹの「竹林」（大区分55）として区分する。

### ◆中区分：ヤダケ群落

ヤブツバキクラス域における低山地の集落周辺に成立するヤダケが優占するタケ群落。ヤダケは植栽され二次的に広がったものが多く、内陸の伐採跡地に多い。ヤダケ群落だけがみられる東北の福島県以北に限定する。第2回第3回では、秋田県、山形県で記載された群落が該当する。

### ◆中区分：メダケ群落

ヤブツバキクラス域における陽地、河川堤防上、海岸断崖地などに成立するタケ群落。ヤダケとメダケが分布するが、主としてメダケが優占する。東北の福島県以南、四国、九州に分布する。メダケは沿海地に多く、増水の影響を受ける河岸で半自然的に持続群落を形成する。第2回第3回では、茨城県から宮崎県まで18県で記載された群落が該当する。

### ◆中区分：リュウキュウチク群落

九州、琉球のヤブツバキクラス域における陽地、海岸断崖地、河川堤防上などに成立するタケ群落。リュウキュウチクが優占する。沿海地や離島に多い。第2回第3回では、鹿児島県、沖縄県で記載されている。



## ●大区分44:低木群落

ヤブツバキクラス域に先駆的に成立する低木群落やつる植物群落。本州から九州では、カラスザンショウ、アカメガシワ、クサギ、ヤマグワなどの小高木の群落や、クズなどのつる植物群落が形成される（アカメガシワ-カラスザンショウ群落、クズ群落など）。小笠原、硫黄島ではツルダコ群落、マルハチ群集、シロガネムクノキ群集、クサトケイソウ群落などがみられる。

第2回第3回では、林縁性つる-低木群落（神奈川県、静岡県）、落葉低木群落（宮崎県）として3県で記載された群落が、下記の中区分以外の低木群落として一括されている。

### ◆中区分：アカメガシワ-カラスザンショウ群落

ヤブツバキクラス域における沿海地から内陸部までに成立する先駆性の落葉広葉樹の二次林。カラスザンショウ、アカメガシワ、クサギ、ヤマグワなどの高木または低木が優占する。林床には常緑広葉樹が多い。森林の伐採跡地や沢沿いの湿潤な立地で発達する。第2回第3回では、宮崎県で記載されている。

### ◆中区分：クズ群落

ヤブツバキクラス域からブナクラス域下部にかけて陽地に成立するつる植物群落。クズが繁茂するため、他の植物は少ない。畑放棄地、造成跡地、伐採跡地、崩壊地などに形成される。第2回第3回では、秋田県から鹿児島県まで13県で記載されている。

### ◆中区分：ツルダコ群落

東京都小笠原に分布するタコノキ型の低木群落。小笠原固有の変種であるツルダコの単純群落で、母島の雲霧帯の稜線に多い。自然林の攪乱地に成立する。第2回第3回では、東京都（小笠原）で記載されている。

### ◆中区分：マルハチ群落

東京都小笠原に分布する木性シダの低木群落。小笠原固有種である木性シダのマルハチが優占し、しばしばアコウザンショウが混生する。谷頭などのやや湿性な立地の二次林として成立する。母島に小面積で見られる。第2回第3回では、東京都（小笠原）でマルハチ群集として記載されている。なお、南硫黄島に発達するマルハチ群集は自然植生（大区分35）に区分されている。

### ◆中区分：シロガネムクノキ群集

東京都小笠原に分布する落葉広葉樹の低木群落。シロガネムクノキが優占し、シマグワ、アコウザンショウなどが混生する。父島、母島の伐採跡地に二次林として成立する。第2回第3回では、東京都（小笠原）で記載されている。

### ◆中区分：オガサワラモクマオ群集

小笠原に分布するオガサワラモクマオが優占する落葉広葉樹の低木群落。父島、母島の湿潤な岩上や崖壁などに二次林として成立する。第2回第3回では、東京都（小笠原）で記載されている。

### ◆中区分：シチヘンゲ群落

明治期に移入された南アメリカ原産のシチヘンゲ（ランタナ）が野生化した低木群落。第2回第3回では、硫黄島を含む東京都で記載されている。

### ◆中区分：ホナガソウ群落

東京都小笠原に分布する常緑半低木の群落。草本状のホナガソウの純群落となる。内陸の路傍や基岩露出地にみられる。父島に多い。第2回第3回では、小笠原を含む東京都で記載されている。

### ◆中区分：クサトケイソウ群落

戦前に移入された熱帯アメリカ原産のクサトケイソウが繁茂するつる植物群落。低木群落の林縁部にみられる。東京都硫黄島で広い面積を占める。第2回第3回では、硫黄島を含む東京都で記載されている。

## ●大区分45:二次草原

定期的な管理において安定した組成をもつ多年生草本の二次草原。ススキ、シバ、ネザサの草原が代表的である。暖地ではコシダ、ダンチク、ハイキビなどの群落が見られる。小笠原のオニチカラシバ、ホクチガヤなどの優占する群落を含む。

### ◆中区分：ススキ群団

ヤブツバキクラス域の放牧地、伐採跡地、畑放棄地、河川敷などに成立する多年生の高茎草原。ススキが優占し、トダシバ、チガヤ、ハチジョウススキなどが混生する。日本の代表的な二次草原で、数年ごとの刈り取りや火入れによって維持され、放置期間が長期にわたると低木群落に遷移する。平野では河川敷、長く放置された畑放棄地、造成地などに出現し、海岸の風衝地や基岩露出地などにもみられる。近年では畑放棄地や放牧跡地から遷移した群落が増加している。第2回第3回では、山形県から沖縄県まで32都府県で記載されたものが該当し、熊本県、沖縄県では広い面積を占める。細区分にはアズマネザサススキ群集、ネザサススキ群集などがある。

### ◆中区分：シバ群団

ヤブツバキクラス域における放牧地、刈り取りの頻繁な牧草地などに成立する多年生の低茎草原。シバが優占する。海岸断崖肩部の風衝地では半自然草原として持続する。第2回第3回では、栃木県から鹿児島県まで14府県で記載されている。なお、ゴルフ場、公園のオープンスペースなど植栽された芝地は植生区分IX（大区分56）として扱う。

### ◆中区分：ウラジローコシダ群落

ヤブツバキクラス域におけるシダ植物の群落。コシダが優占することが多く、ウラジロを伴う。森林の伐採跡地や法面など乾燥しやすく貧養な立地に一時的に形成される。第2回第3回では、和歌山県、宮崎県で記載されたものが該当するが、コシダが分布する近畿、中国、四国、九州では分布面積によっては他地域にも確認される可能性がある。

### ◆中区分：ダンチク群落

おもに九州、沖縄に分布する高さ5mに達するイネ科の高茎草原。ダンチクが優占する。河川下流域の海岸に接する流水辺や河道など、排水のよい場所にみられる。第2回第3回では、愛知県から沖縄県まで11県で記載されているが、ダンチクの分布する関東以西では他地域にも確認される可能性がある。

### ◆中区分：ハチジョウアザミ群落

東京都三宅島の火山噴出物（スコリア）堆積地に形成された多年草の群落。ハチジョウアザミが斑紋状に生育する。ハチジョウアザミは、大島、八丈島を含む伊豆諸島に分布する。第2回第3回では、東京都三宅島で1983年噴火の数年後に成立していたことが記載されている。

### ◆中区分：ハイキビ群落

奄美以南の路傍、水湿地、水田放棄地、海岸砂丘背後の低湿地などに成立する多年生の低茎群落。ハイキビが優占し、立地によってヨモギ、チゴザサ、グンバイヒルガオなどさまざまな種を伴う。第2回第3回では、鹿児島県、沖縄県で記載されている。

### ◆中区分：ハリケンススキ群落

戦後帰化したイネ科雑草のハリケンススキの群落。海岸砂丘の後背地に単純群落が見られる。第2回第3回では、東京都硫黄島で記載されている。

### ◆中区分：ホクチガヤ群落

戦後帰化したイネ科雑草のホクチガヤの群落。海岸砂丘の後背地に単純群落が見られる。第2回第3回では、東京都硫黄島で記載されている。

### ◆中区分：キバナヒメフウチョウソウハタガヤ群落

東京都硫黄島に戦後帰化した汎熱帯性の草本群落。ハタガヤ、キバナヒメフウチョウソウ、ヒメマツバボタンが混生する。硫黄島周辺などにみられる。

### ◆中区分：スズメノコビエ群落

東京都小笠原に分布する野生ヤギの放牧圧を受けて形成された草原。放牧圧に強いスズメノコビエ、シマスズメノヒエが混生する。嫁島、聳島列島で広い面積を占める。第2回第3回では、シマスズメノヒエスズメノコビエ群落などとして小笠原を含む東京都で記載されている。

## ●大区分46:伐採跡地群落

森林の伐採跡地に形成された草本群落で、樹高1m前後の落葉広葉低木群落も含む。一般に、伐採直後にはオオアレチノギク、ベニバナボロギク、ダンドボロギクなどのキク科一年生植物群落形成される。伐採後数年を経るとモミジイチゴ、ニガイイチゴ、クサイイチゴなどの有刺植物の群落に交替し、アカメガシワなど陽性低木類も混生する。第2回第3回では、福島県から沖縄県まで38都府県で記載された群落が一括されている。

伐採跡地群落は経年変化を統計的に検討するために、従来と同様、各クラス域に細分している。中区分、細区分は行わない。なお、遷移の進行に伴い樹高2m以上に達した落葉低木群落は「落葉広葉樹二次林」（大区分41）として区分する。

## ●大区分47:湿原・河川・池沼植生

雨水によって潤されている高層湿原、地下水によって潤されている低層湿原、それらの中間の中間湿原、洪水などでしばしば冠水する河川敷の植物群落、小川や池、沼などに成立する浮葉、浮水、沈水植物群落などの水湿地生の植物群落が含まれる。これらはクラス域を越えて日本各地に分布が見られる。中区分は、ツルコケモモミズゴケクラス、ヌマガヤオーダー、貧養地小型植物群落、ヨシクラス、河川敷砂礫地植生、ヒルムシロクラスなど、群落体系上異なる段階でまとめられている。

### ◆中区分：ツルコケモモミズゴケクラス

湿原植生のうち、山地から高山帯の貧栄養で強酸性を示す高層湿原に成立する植物群落。凸状地（ブルト）と凹状地（シュレンケ）に大別され、ブルトの植生はツルコケモモミズゴケクラスに、シュレンケの植生はホロムイソウクラスにまとめられている。これらをここでは、ツルコケモモミズゴケクラスに一括している。本州中部では一般に海拔1000m以上に分布するが、北へいくにしたがって低下し、北海道では低地にも分布している。第2回第3回では、北海道から、本州日本海側は富山県、太平洋側は福島県と、栃木県、群馬県、長野県、岐阜県の12道県で記載されている。

### ◆中区分：ヌマガヤオーダー

高層湿原と低層湿原の中間に位置する中間湿原は、ヌマガヤオーダーに区分されている。本州ではやや標高の高い地域にみられるが、北海道では低地にも発達している。高層湿原や低層湿原に隣接して発達するものと、それらと隣接せず立地条件のみにより成立するものがみられる。第2回第3回では、北海道から、本州は東北・北関東を中心に中国・四国・九州までの24道府県で記載されている。

### ◆中区分：貧養地小型植物群落

湿性立地に成立する植生のうち、降水時には湛水し、乾燥時には水を失うような低湿地や、泥炭質で排水の悪い湿地、栄養分の堆積しにくい砂礫質の、湿潤で貧栄養な立地には、ホシクサ属やイヌノハナヒゲ属などの低茎の草本が生育する植物群落がみられる。第2回第3回では、東京都、石川県、宮崎県で記載されたものが該当するが、いずれも小面積である。現在ヨシクラスに区分されている植生のうち、この区分に含まれるものがあるとみられる。

### ◆中区分：ヨシクラス

湿性立地に発達する植生のうち、湖沼の岸部や河川のよどみ、河川河口部や中州、河川沿いの湿地や河川の後背湿地など、水位の変動や流動水が少なく、底質が泥や粘土質で一般に富栄養な水に潤される立地に成立する低層湿原はヨシ、マコモ、各種のスゲ類などが生育し、ヨシクラスに区分されている。第2回第3回では、全ての都道府県で記載されている。

### ◆中区分：河川敷砂礫地植生

河川流域に成立し、河床部の砂礫地から高水敷に発達し、しばしば冠水をうけるような植生を、河川敷砂礫地植生として区分している。第2回第3回では、山形県、和歌山県で記載されている。細区分には、ツルヨシ群集、オギ群集、ホッスガヤ群落、カワラヨモギ群落などがある。

### ◆中区分：ヒルムシロクラス

池や沼、浅い湖、旧河道などの湛水域に成立する水生植物群落には、浮葉・沈水植物群落のヒルムシロクラスと、浮水植物群落のコウキクサクラスがある。ヒルムシロクラスにはヒシヤヒツジグサ、スギナモなどの群落が、コウキクサクラスにはサンショウモ、オオアカウキクサなどの群落が確認されている。底質は泥土や細砂が多く、腐植質が堆積している場合もある。第2回第3回では、15道県で記載されているが、他地域の池沼や湖などでも確認される可能性がある。

なお、第2回第3回では、ウキクサクラス・ヒルムシロクラスの名称が使用されたが、ウキクサクラス（コウキクサクラス）はわが国では用水路など富栄養化した水面を中心に分布する代償植生の場合が多いため、池沼や湖に分布するヒルムシロクラスに変更している。

## ●大区分48:塩沼地植生

遠浅の内湾や河口付近など海水の干満の影響をうけるような、浅い泥質地から砂質地にみられる草本植生。ヒトモトススキ、シオクグ、ハマツナ、ハマサジ、アッケシソウなどの草本や、アマモなどが底質、水深、塩分濃度の差異に応じて単純な群落を形成している。第2回第3回では、この区分で、植生図に示されている地域が多い(16道県/うちこの区分でのみ塩沼地植生を表記しているのは11道県)。北海道では塩沼地植生が広い面積を占める地域があり、サロマ湖、能取湖、風漣湖、厚岸湖などには、アッケシソウやチシマドジョウツナギ、ヒメウシオスゲなどの群落が成立している。これらの植物群落は今後中区分として追加される可能性がある。

### ◆中区分:ヒトモトススキ群落

ヒトモトススキは汽水域から淡水域まで分布する大型の植物で、海岸近くの湧水地などに群生がみられる。第2回第3回の調査では和歌山県でのみ記載されている。

### ◆中区分:シオクグ群落

シオクグは河口や塩分の流入する潟湖などで、泥土が堆積し、流水により有機物が供給されるような立地に生育し、地下茎を長くひいて密生し、群落を形成する。第2回第3回の調査では鹿児島県でのみ記載されているが、シオクグは北海道から沖縄県(西表島)まで分布がみられる。

### ◆中区分:ハマツナ-ハマサジ群落

ハマサジは砂礫、とくに円礫を多く含み、礫間に砂質土壌がみられ表層を粘土が覆うような立地に生育し、ハマツナ、フクドなどとともに生育し、群落を形成する。第2回第3回では、ハマツナ-ハマサジ群落として、四国・九州の5県で記載されているが、本州にも本群落の存在が確認されている。

### ◆中区分:アマモクラス

アマモは海生の種子植物であり、湾奥の潮間帯下部から低潮線下数mの範囲の海水中にみられ、底質は泥土や細砂が厚く堆積するような立地に群落を形成する。第2回第3回の調査では宮崎県と鹿児島県の2県でのみ記載されているが、アマモ類は他にいくつかの種類があり日本各地に分布が見られるため、分布面積によっては、他地域でも区分される可能性がある。

## ●大区分49:砂丘植生

海岸砂丘は移動のはげしい砂土と強烈な日射による強い乾燥などきわめて厳しい環境下にあるため、これらの条件に耐えられるような形態や種特性を持つ種が生育し、群落を形成する。これらの植物群落は、通常汀線から内陸へ向かって、立地条件の変化にともない帯状に配列していく。汀線付近では地域によって草本植物のハマベンケイソウ、コウボウムギ、ハマニンニク、グンバイヒルガオ、ツキイゲなどを主とする群落が見られ、潮風の影響の弱まる後背地ではハマナス、ハマゴウ、ハイビャクシンなどの低木の群落が形成される。第2回第3回では、31都道府県で「砂丘植生」として一括して記載されている。これらは地域によっては、後述する中区分として区分される可能性がある。

### ◆中区分：ハマナス群落

海岸砂丘の頂部から内陸側の後背地にみられる自然低木群落で、ヤマブドウ、ハイネズ、エゾノコリンゴなどとともに生育する。ハマナスの自然分布域である北海道、東北に分布している。第2回第3回では、北海道、青森県、秋田県、石川県の1道3県で記載されている。

### ◆中区分：ハマゴウ群落

海岸砂丘地の内陸側にみられる自然低木群落で、チガヤ、ハマグルマ、ハイネズなどと混じる。ハマゴウの分布する本州、四国、九州、南西諸島、小笠原諸島の各地に分布している。第2回第3回では、東京都で記載されている。細区分にハマグルマ-ハマゴウ群集がある。

### ◆中区分：ハイビャクシン群落

海岸砂丘地の内陸側にみられる矮性低木のハイビャクシンの優占する群落で、ハマゴウ、テリハノイバラなどと混生する。第2回第3回では、長崎県（対馬、壱岐）でのみ記載されている。

### ◆中区分：ハマベンケイソウ群落

礫質の海岸の最前線で、不安定な立地に成立する草本群落。ハマベンケイソウやハマハコベなど、匍匐型で多肉質の茎葉をもつ耐塩性、耐乾性の高い種が生育している。ハマベンケイソウは北海道から北陸と、隠岐に分布している。第2回第3回では、北海道でオカヒジキ-ハマベンケイソウ群落として記載されている。

### ◆中区分：コウボウムギ群落

砂丘最前線の不安定地に成立する草本群落で、コウボウムギが優占し、地域によってハマニンニク、ハマグルマなどと混じる。コウボウムギは北海道から九州の各地に普通にみられる。第2回第3回では、ハマニンニク-コウボウムギ群集（北海道、本州中部以北に分布）と、ハマグルマ-コウボウムギ群集（本州中部以南、四国、九州に分布）として記載されている。

### ◆中区分：グンバイヒルガオ群落

海岸砂丘の最前線に成立する草本群落。グンバイヒルガオは熱帯に広く分布する砂丘植物で、南西諸島、小笠原諸島、硫黄島などに分布しており、クロイワザサなどと混生することもある。第2回第3回では、小笠原諸島、硫黄島が含まれる東京都で記載されている。細区分にクンバイヒルガオ-クロイワザサ群集（南西諸島に分布）がある。

### ◆中区分：ツキイゲ群落

ツキイゲは低木状になるイネ科草本植物で南西諸島に生育し、海岸砂丘の前線に群落が発達する。クロイワザサやシマネナシカズラなどと混じる。第2回第3回では、南西諸島に含まれる鹿児島県で記載されている。

## ●大区分50: 海岸断崖地植生

海岸断崖地の肩部、海食台などでは、土壌が浅く乾燥するうえ、常に塩分を含む強風による風衝作用を受ける厳しい立地条件下にあるため、森林が成立せず、多年生の草原が成立している。ススキ、ハチジョウススキ、オガサワラススキ、コハマギク、ハマギク、ノジギクなどが代表的な構成種である。第2回第3回では、3道県で「海岸断崖地植生」として一括して記載されている。

### ◆中区分：コハマギク群落

海岸断崖地や不安定な急傾斜地に成立する植物群落。ハマオトコヨモギ、カワラナデシコなどと混じる。コハマギクは北海道から茨城県以北に分布する。第2回第3回では、青森県、岩手県、宮城県で記載されている。

### ◆中区分：ハチジョウススキ群落

海岸断崖地の急傾斜の露岩地や崩壊地などの乾燥立地で、常に海からの風衝作用を受ける場所に成立する植物群落であり、ハチジョウススキが優占する。群落内にはイソギク、オキナワギクなどが混生する。ハチジョウススキは関東南部以西の本州、四国、九州、南西諸島に分布している。第2回第3回では、千葉県以西の6都県で記載されている。

### ◆中区分：ノジギク群落

海岸断崖の岩礫地で、海からの影響の強い立地に群落を形成する。ポタンボウフウ、ハマナデシコなどと混じる。ノジギクの分布する本州（中国地方）、四国、九州にみられる。第2回第3回では、兵庫県と鹿児島県で確認されている。

### ◆中区分：オガサワラススキ群落

小笠原諸島だけに分布し、海岸に接した風衝の激しい断崖地や急傾斜地に発達する植物群落。マルバシマザクラ、ツルワダンなどを伴う。第2回第3回では、小笠原諸島の含まれる東京都で記載されている。

### ◆中区分：海鳥営巣地植物群落

断崖地上や岩山で土壌が未熟な立地に見られる植物群落。この群落はカツオドリやアジサシの営巣地となっており、富栄養化している。第2回第3回では、オヒシバースベリヒユ群落（東京都の南硫黄島や西の島）、フタタメヒシバ群落（沖縄県尖閣諸島西部の北小島、南小島など）が記載されている。

## ●大区分51:岩角地・石灰岩地・蛇紋岩地植生

岩角地や特殊な成分をもつ石灰岩地・蛇紋岩地に形成される草本群落または樹高の低い低木群落。石灰岩地では低木のコメツツジ、イワシモツケ、草本植物のクモノシダなど、岩壁ではミヤマキンポウゲなど多様な植物が優占する。なお、同様の立地に成立する樹高2m以上の低木群落は各クラス域における自然低木群落に、高木林は各クラス域における落葉広葉樹林として区分する。

### ◆中区分：石灰岩地植生

石灰岩の露出した乾性立地に成立する植物群落。高山帯や亜高山帯に多く見られ、露岩地かつ風衝地に岩隙草本群落や風衝草原として成立しているものが多い。第2回第3回では、岩隙草本群落としてイワキンバイ、キリンソウ、クモノシダなどを標徴種とするイワキンバイオーダーの種の常在度が高くなっている地域（宮城県）や、高山風衝草原としてチャボカラマツ、イブキジャコウソウ、ツルデンダなどを標徴種とするチャボカラマツ－イブキジャコウソウ群落などがみられる地域（岩手県）、石灰岩地の森林植生としてこの中区分を用いている地域（埼玉県）が、それぞれ一括して、「石灰岩地植生」として記載されている。また、風衝草原としてルリトラノオ、コバノミミナグサ、コイブキアザミなどを含む広葉草原がみられる地域（滋賀県）も、本植生に該当する。このうち、森林植生（高木林・低木林）については、各クラス域の森林群落へ再区分される。

### ◆中区分：コメツツジ群落

風衝の強い山頂近くの岩角地や主稜線周辺の風衝地などに成立する矮性の低木群落。地域によって、タカネオトギリヤツガザクラ、コガネギクなどを伴う。コメツツジは北海道から九州まで広く分布する。第2回第3回では、青森県、秋田県、山形県、徳島県、高知県で記載されている。

### ◆中区分：岩壁植生

露出岩や岩壁の間隙に成立する植物群落で、分布地域の他、岩壁の傾斜角や岩質、水分条件などにより種組成は大きく変化する。全国的に広く見られるが、図示できるような広面積のものは少ない。第2回第3回では、ミツデウラボシーイワタバコ群集、オオハンゲカタバヒ群落、カエデダイモンジソウ－イワタバコ群集、ケイビラン群落（以上宮崎県）、イワヒバ、マルバキンレイカ、イワキンバイなどイワキンバイオーダーに区分される群落（以上秋田県）が、それぞれ一括して、「岩壁植生」として記載されている。

### ◆中区分：蛇紋岩地植生

蛇紋岩やかんらん岩などの超塩基性岩石が露出した立地に成立する群落。低山地のアカマツ群落分布域から高山帯にかけて広く分布する。貧弱な植物群落しか成立せず、高山帯ではまばらな荒原となる。第2回第3回では、本区分に該当する植生単位は設定されていないが、ナンブイヌナズナなどが優占する高山岩礫荒原（岩手県早池峰山、群馬県至仏山東北面）のように、高山ハイデ及び風衝草原に含め記載されたものがみられる。低山地ではタンゴグミ（京都府大江山）、シュンジュギク、シマジタムラソウ（三重県朝熊山）、キイシモツケ（和歌山県竜門山）などが生育する（レッドデータブック近畿研究会編 1995）が、蛇紋岩地の草原や低木群落として記載されたものはなく、植生図では常緑広葉樹二次林、常緑針葉樹二次林、植林、ススキ群落などに含まれている。今回は、これらの蛇紋岩地植生のうち、草原または矮性低木群落が図示可能な面積がある場合を「蛇紋岩地植生」として区分する。

なお、第2回第3回で採用された凡例のうち本植生に該当するのは小面積であるため、凡例一覧表には示していない。

## ●大区分52:火山荒原植生・硫気孔原植生

新期の火山や硫気孔周辺など、植物の生育にとって厳しい立地に形成される草本群落、または樹高の低い低木群落。火山では、低木のミヤマキリシマや草本植物のコメススキ、イタドリ、ハチジョウイタドリ、タマシダなどが散生し、植被率の低い荒原を作り、崩壊地では、フジアザミ、ヤマホタルブクロなどの草原が形成される。硫気孔原ではイソツツジ、チシマザサなどの特定の植物が優占する。第2回3回では秋田県、岩手県でこの大区分として一括されている。なお、同様の立地に成立する樹高2m以上の低木群落は各クラス域の自然低木群落に、高木林は各クラス域の落葉広葉樹林として区分する。

### ◆中区分：火山荒原植生

火山山頂部や山地尾根部、火山噴出物や溶岩流、火山砂礫地、火口丘などに成立する植物群落。不安定な立地のため、構成種が少なく、植被率もあまり高くない。第2回第3回では5県で記載されたが、東京都（南硫黄島）で記載されたススキの優占する群落も、小面積のために本中区分に含めている。このような立地に成立する植物群落のうち、樹高2m以上の低木群落は各クラス域における自然低木群落として別に区分する。

### ◆中区分：硫気孔原植生

硫気孔周辺で、噴気や風衝にさらされる立地に生育する植物群落。常に硫気を受ける立地であるため、構成種が少なく、植被率もあまり高くない。第2回第3回では8県で記載されたが、この他に東京都（青ヶ島、硫黄島）で記載されたクグテンツキやイガガヤツリの優占する草本群落も、小面積のためにこの中区分に含めている。このうち樹高2m以上に達した低木群落は各クラス域における自然低木群落に区分する。

### ◆中区分：ミヤマキリシマ群落

海拔1000m以上の火山山頂部風衝地及び新しい火山噴出物堆積上に発達する先駆的低木群落。ミヤマキリシマ、ヤシャブシ、ノリウツギなどがみられ、ススキ、ヒメノガリヤスなどと混じる。風衝を強く受ける地域では植被率が低下し、群落構成種も単純になる。ミヤマキリシマは九州地方にのみ分布している。第2回第3回では、長崎県で記載されている。

### ◆中区分：ヤマホタルブクロ群落

火山地、溪谷沿いの急傾斜の崩壊地などに発達する草本群落。植被率は低く疎開しており、ヤマホタルブクロ、フジアザミなどがみられる。第2回第3回では、フジアザミヤマホタルブクロ群集として、本州中部を中心に6県で記載されている。

### ◆中区分：コメススキ群落

火山放出物からなる崩壊性の強い立地に成立する草本群落。植被率は低く、コメススキ、イタドリなどがみられる。コメススキは北海道から本州（北～中部と奈良、鳥取）、四国、九州に分布している。第2回第3回では、宮城県、福島県、栃木県、群馬県、富山県、長野県、大分県で記載されている。

### ◆中区分：ハチジョウイタドリ群落

溶岩流や火山砕屑物上に先駆的に成立する草本群落。ハチジョウイタドリ、シマトヌキラン、ハチジョウススキなどがみられる。ハチジョウイタドリは伊豆七島に分布している。第2回第3回では、伊豆七島が含まれる東京都で記載されている。

### ◆中区分：タマシダ群落

火山砂礫や噴気にさらされ、土地的に乾燥し風衝をうける立地に成立する草本群落。タマシダが純群落を形成することもあり、イタドリなどとの混生もみられる。第2回第3回では、北硫黄島（東京都）と口之永良部島（鹿児島県）で記載されている。



## ●大区分53:隆起珊瑚礁植生

隆起珊瑚礁上に形成される草本群落または小低木の群落。干潮時に現れる石灰岩平坦地を主とするが、さらに隆起が進み海岸台地や乾燥の激しい海岸断崖になったところも含む。植物の生育にとって特殊な立地であるため、構成種が少なく単純で、植被率もあまり高くない。海岸ではソナレシバ、ハイシバ、モクビャッコウ、コウライシバなどが優占する。小笠原の断崖ではつる性低木のコハマジンチョウが優占する。第2回第3回では、「隆起珊瑚礁植生」として一括して鹿児島県と沖縄県で記載されている。

なお、さらに隆起が進んだ立地に成立する樹高2m以上の低木群落はヤブツバキクラス域の「自然低木群落」（大区分33）とし、高木林はヤブツバキクラス域の「亜熱帯常緑広葉樹林（隆起石灰岩上）」（大区分36）として区分する。

### ◆中区分：ソナレシバ群落

隆起珊瑚礁上で、塩湿地、砂浜、海岸断崖など多様な立地に成立が見られる草本群落。ソナレシバが純群落を形成する。第2回第3回では、小笠原諸島（東京都）で記載されている。

### ◆中区分：ハイシバ群落

熱帯の海岸に広く分布する草本群落。南鳥島の隆起珊瑚礁上にみられ、ハイシバが純群落を形成する。第2回第3回では、南鳥島（東京都）で記載されている。

### ◆中区分：モクビャッコウ群落

凝灰岩質の海食崖やその下部の崖錐上や袖礁などに成立する草本群落。植被率は低く、モクビャッコウの他、地域によってイソマツ、クロコウセンガヤなどを伴う。第2回第3回では、東京都（硫黄島）で記載されている。

### ◆中区分：コウライシバ群落

隆起珊瑚礁上で、海浜の平坦部や岬の突端部などに発達する草本群落。コウライシバが優占し、イソテンツキ、ソナレムグラなどがみられる。コウライシバは九州の一部と沖縄に分布している。第2回第3回では、長崎県（五島列島、壱岐）、鹿児島県、沖縄県と、東京都（小笠原諸島）で記載されている。特に第2回の東京都の調査では、小笠原諸島の媒島や西島といった、非石灰岩性の島嶼に分布することも確認されている。

### ◆中区分：コハマジンチョウ群落

隆起珊瑚礁上で、海岸に近い断崖地、急傾斜地に成立する草本群落。コハマジンチョウが優占し、ハマゴウなどがわずかに混生する。コハマジンチョウは小笠原諸島にのみ分布する。第2回第3回の調査では、東京都（小笠原諸島の父島、南島）で記載されている。

### ◆中区分：シラゲテンノウメ群落

隆起珊瑚礁上で、基岩が露出したり土壌が浅くなっている乾性な立地に成立する草本群落。シラゲテンノウメの他、テンツキ、コハナヤスリなどがみられる。シラゲテンノウメは小笠原諸島にのみ分布する。第2回第3回の調査では、東京都（小笠原諸島の父島、兄島）で記載されている。

## ●大区分54:植林地

各種の植林地がまとめられる。常緑針葉樹としてはスギ・ヒノキ、アカマツ、クロマツが本州で広範囲に植林され、エゾマツ、トドマツが北海道で植栽されている。さらに高海拔地のカラマツ、沖縄のリュウキュウマツ、外国産樹種を区分し、その他の樹種の植林は一括して扱う。

### ◆中区分：スギ・ヒノキ・サワラ植林

### ◆中区分：アカマツ植林

### ◆中区分：クロマツ植林

### ◆中区分：エゾマツ植林

### ◆中区分：トドマツ植林

### ◆中区分：アカエゾマツ植林

### ◆中区分：カラマツ植林

### ◆中区分：リュウキュウマツ植林

### ◆中区分：外国産樹種植林

### ◆中区分：その他植林

## ●大区分55:竹林

主としてヤブツバキクラス域に植栽される竹林。人家付近の土壌の発達した台地脚部や河岸などにまとまって分布する。モウソウチク、マダケ、ハチクの他、九州南部ではハウライチク、ホテイチクがある。用材、工芸材料の利用、筍採取や護岸を目的に植栽されているが、近年では放置され荒廃したものが増加し、植林地や二次林内に二次的に生育域を広げている。

- ◆中区分：モウソウチク林
- ◆中区分：マダケ・ハチク林
- ◆中区分：ハウライチク・ホテイチク林

## ●大区分56:牧草地・ゴルフ場・芝地

牧草地（人工草地）・ゴルフ場・芝地として管理される草地。飛行場内の草地もこれに含まれる。

牧草地はカモガヤ、オオアワガエリ、ホソムギなど外来牧草が播種され数年毎に耕起される。ゴルフ場・芝地はシバ、コウシュンシバなどが植栽され頻繁な刈り取りによって維持される。牧草地（人工草地）とゴルフ場・芝地とは管理形態・組成とも異なるので、できるだけ中区分レベルで区分する。また半自然状態にある放牧地のシバ草原（大区分25・45）とも区分する。

- ◆中区分：ゴルフ場・芝地
- ◆中区分：牧草地

## ●大区分57:耕作地雑草群落

耕作地及び耕作放棄地等の雑草群落。果樹園、畑地、水田など耕作地の雑草群落の他、ヨモギ、セイタカアワダチソウなど多年生草本の路傍・空地雑草群落、耕作放棄雑草群落が含まれる。

- ◆中区分：路傍・空地雑草群落
- ◆中区分：果樹園
- ◆中区分：畑地雑草群落
- ◆中区分：水田雑草群落
- ◆中区分：水田放棄雑草群落

## ●大区分58:市街地等

植生の少ない地域であり、市街地、工場地帯、造成地、干拓地の他、開放水域、自然裸地がある。公園、墓地など人為的に植栽された緑地はここで扱うが、樹林地としてまとまった面積をもつ場合、他の代償植生の凡例にくみいれることも可能である。

- ◆中区分：市街地
- ◆中区分：植栽あるいは残存樹群をもった公園、墓地等
- ◆中区分：工場地帯
- ◆中区分：造成地  
造成地（造成裸地・人工裸地）には、採石場（採石地）、焼け跡、ボク山、廃塩田等が含まれる。
- ◆中区分：干拓地
- ◆中区分：開放水域  
開放水域には、河川や池沼などで、抽水植物や沈水植物などによる植生が成立していない水域・水面があてはまる。
- ◆中区分：自然裸地  
自然裸地は、自然条件により植生が成立しない地域であり、山岳の岩角地、海岸などが含まれる。

資料－2

統一凡例（案）一覽

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群落名								
I	1	高山低木群落				高山低木群落	10100A	北海道 高山低木群落	165	I	9										
								青森県 高山低木群落	8	I	9										
								岩手県 高山低木群落	29	I	9										
								秋田県 高山低木群落	1	I	9										
								山形県 高山低木群落	10	I	9										
								福島県 高山低木群落	5	I	9										
								新潟県 高山低木群落	17	I	9										
								富山県 高山低木群落	9	I	9										
								岐阜県 高山低木群落	29	I	9										
								10100A	宮城県 高山低木群落	1	I	9		○							
								群馬県 高山低木群落	12	I	9		○								
								長野県 高山低木群落	58	I	9		○								
								静岡県 高山低木群落	24	I	9		○								
								10101B	北海道 コケモモ-ハイマツ群落	372	I	9									
								富山県 コケモモ-ハイマツ群落	45	I	9										
								石川県 コケモモ-ハイマツ群落	2	I	9										
								山梨県 コケモモ-ハイマツ群落	8	I	9										
								10101C	栃木県 ハイマツ-コケモモ群落	3	I	9		○							
								10200A	北海道 高山ハイデ及び風衝草原	65	I	01									
								青森県 高山ハイデ及び風衝草原	3	I	01										
								岩手県 高山ハイデ及び風衝草原	5	I	01										
								山形県 高山ハイデ及び風衝草原	4	I	01										
								福島県 高山ハイデ及び風衝草原	4	I	01										
								群馬県 高山ハイデ及び風衝草原	1	I	01										
								新潟県 高山ハイデ及び風衝草原	25	I	01										
								富山県 高山ハイデ及び風衝草原	5	I	01										
								長野県 高山ハイデ及び風衝草原	18	I	01										
								岐阜県 高山ハイデ及び風衝草原	34	I	01										
								10201B	北海道 コメバツガザクラ-ミネズオウ群落	11	I	01									
								秋田県 コメバツガザクラ-ミネズオウ群落	1	I	01										
								富山県 コメバツガザクラ-ミネズオウ群落	5	I	01										
								石川県 コメバツガザクラ-ミネズオウ群落	1	I	01										
								山梨県 コメバツガザクラ-ミネズオウ群落	1	I	01										
								静岡県 コメバツガザクラ-ミネズオウ群落	2	I	01										
								10200D	北海道 エゾマメヤナギ-エゾオヤマノエンドウ群落	1	I	01									
								10202E	富山県 オヤマノエンドウ-ヒゲハリスグ群落	1	I	01									
								山梨県 オヤマノエンドウ-ヒゲハリスグ群落	1	I	01										
								静岡県 オヤマノエンドウ-ヒゲハリスグ群落	1	I	01										
								10205F	静岡県 イワオウギ-タイツリオウギ群落	1	I	01									
								10203H	石川県 イワツメクサ群落	1	I	01									
								10203C	北海道 コマクサー-イワツメクササクラス	21	I	01									
								秋田県 コマクサー-イワツメクササクラス	1	I	01										
								富山県 コマクサー-イワツメクササクラス	8	I	01										
								山梨県 コマクサー-イワツメクササクラス	1	I	01										
								静岡県 コマクサー-イワツメクササクラス	2	I	01										
								10300A	北海道 ミヤマクロスゲ-チシマクモマダサ群落	1	I	01									
								10204I	石川県 フジハタザオ-オンタデ群落	1	I	01									
								山梨県 フジハタザオ-オンタデ群落	7	I	01										
								10300	北海道 菅田草原	64	I	01									
								青森県 菅田草原	1	I	01										
								岩手県 菅田草原	3	I	01										
								宮城県 菅田草原	1	I	01										
								秋田県 菅田草原	1	I	01										
								山形県 菅田草原	23	I	01										
								福島県 菅田草原	1	I	01										
								群馬県 菅田草原	2	I	01										
								新潟県 菅田草原	7	I	01										
								福井県 菅田草原	1	I	01										
								長野県 菅田草原	3	I	01										
								岐阜県 菅田草原	6	I	01										
								10300M	秋田県 菅田樹生	1	I	01		○							
								10300B	北海道 エゾツガザクラ-チングルマ群落	1	I	01									
								10301L	石川県 アオノツガザクラ群団	1	I	01									
								10302C	北海道 ミヤマイ-ハクサンボウフウ群落	1	I	01		○							
								10300E	北海道 エゾツガザクラ群落	14	I	01		○							
								10300F	北海道 アオノツガザクラ群落	1	I	01		○							
								10300	静岡県 菅田草原	1	I	01		○							
								10301I	富山県 タカネヤハズハハコ-アオノツガザクラ群落	7	I	01									
								山梨県 タカネヤハズハハコ-アオノツガザクラ群落	1	I	01										
								10304K	富山県 ショウジョウスグ-イワイチョウ群落	2	I	01		○							
								石川県 ショウジョウスグ-イワイチョウ群落	1	I	01										
								II	4	亜寒帯針葉樹林	エゾマツ群団			エゾマツ-トドマツ群落	20100	北海道 エゾマツ-トドマツ群落	3364	II	9		
								北海道 アカエゾマツ群落								275	II	9			
								岩手県 アカエゾマツ群落								1	II	9			
								10300								北海道 イチイ-トドマツ群落	1	II	9		
								20300								北海道 イチイ-トドマツ群落	1	II	9		
								20400								北海道 エゾマツ-ダケカンバ群落	3450	II	9		○

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名		
II	5	亜高山帯針葉樹林	オオシラビン群団	オオシラビン群集	オオシラビン群集	20500	長野県	シラビソトウヒ群団	64	II	9		○		
						21400	岐阜県	シラビソトウヒ群団	163	II	9		○		
						20501A	石川県	オオシラビンノダケカンバ林	7	II	9		○		
							青森県	オオシラビン群集	57	II	9				
							岩手県	オオシラビン群集	110	II	9				
							宮城県	オオシラビン群集	13	II	9				
							秋田県	オオシラビン群集	53	II	9				
							福島県	オオシラビン群集	126	II	9				
							栃木県	オオシラビン群集	59	II	9				
							群馬県	オオシラビン群集	109	II	9				
							新潟県	オオシラビン群集	79	II	9				
							富山県	オオシラビン群集	95	II	9				
							石川県	オオシラビン群集	10	II	9				
							福井県	オオシラビン群集		II	9				
							長野県	オオシラビン群集	5	II	9				
							岐阜県	オオシラビン群集	9	II	9				
							20501B	山形県	アオモリドマツ群落	23	II	9			○
							20501C	石川県	オオシラビンノブナ群落		II	9			○
							20500	静岡県	シラビソトウヒ群団	180	II	9			○
							20502A	栃木県	シラビソオオシラビン群集	1	II	9			
								群馬県	シラビソオオシラビン群集	100	II	9			
								埼玉県	シラビソオオシラビン群集	8	II	9			
								東京都	シラビソオオシラビン群集		II	9			
								山梨県	シラビソオオシラビン群集	165	II	9			
								長野県	シラビソオオシラビン群集	600	II	9			
								岐阜県	シラビソオオシラビン群集	7	II	9			
								奈良県	シラビソオオシラビン群集		II	9			
							20502B	徳島県	シコクシラベ群集		II	9			
								愛媛県	シコクシラベ群集		II	9			
								高知県	シコクシラベ群集		II	9			
							20503A	青森県	コメツガ群落		II	9			
								岩手県	コメツガ群落	12	II	9			
								秋田県	コメツガ群落		II	9			
								山形県	コメツガ群落	1	II	9			
								栃木県	コメツガ群落	109	II	9			
								群馬県	コメツガ群落	21	II	9			
								埼玉県	コメツガ群落	23	II	9			
								新潟県	コメツガ群落	1	II	9			
								富山県	コメツガ群落		II	9			
								長野県	コメツガ群落	446	II	9			
								岐阜県	コメツガ群落	55	II	9			
								静岡県	コメツガ群落	1	II	9			
								三重県	コメツガ群落		II	9			
								奈良県	コメツガ群落	7	II	9			
								徳島県	コメツガ群落		II	9			
							20700	福島県	カラマツ群落		II	9			
								栃木県	カラマツ群落		II	9			
		群馬県	カラマツ群落	5	II	9									
		埼玉県	カラマツ群落		II	9									
		富山県	カラマツ群落		II	9									
		山梨県	カラマツ群落	4	II	9									
		長野県	カラマツ群落	7	II	9									
6	6	亜高山帯広葉樹林	ミドリユキザサノダケカンバ群団	ミドリユキザサノダケカンバ群集	ミドリユキザサノダケカンバ群団	20800A	福島県	ミドリユキザサノダケカンバ群団		II	9				
							富山県	ミドリユキザサノダケカンバ群団	254	II	9				
							山梨県	ミドリユキザサノダケカンバ群団	62	II	9				
							長野県	ミドリユキザサノダケカンバ群団	185	II	9				
							岐阜県	ミドリユキザサノダケカンバ群団	5	II	9				
							静岡県	ミドリユキザサノダケカンバ群団	27	II	9				
						20800B	北海道	ダケカンバノハイマツ群落	12	II	9			○	
						20800C	北海道	ダケカンバノイノガリヤス群落	4	II	9				
						20800D	山形県	ミヤマハンノキノダケカンバ群落	9	II	9				
							新潟県	ミヤマハンノキノダケカンバ群落	3	II	9				
						20800F	北海道	ミヤマハンノキノダケカンバ群集	294	II	9				
							栃木県	ミヤマハンノキノダケカンバ群集	3	II	9				
							新潟県	ミヤマハンノキノダケカンバ群集	73	II	9				
10102E	石川県	ミヤマハンノキ群落		I	9			○							
20800E	秋田県	ミヤマハンノキ群落	3	II	9										
	石川県	ミヤマハンノキ群落	2	II	9										
20800A	北海道	ササノダケカンバ群落	3575	II	9										
	青森県	ササノダケカンバ群落	12	II	9										
	秋田県	ササノダケカンバ群落	9	II	9										
	福島県	ササノダケカンバ群落	9	II	9										
	群馬県	ササノダケカンバ群落	69	II	9										
	新潟県	ササノダケカンバ群落	30	II	9										
	石川県	ササノダケカンバ群落	33	II	9										
	福井県	ササノダケカンバ群落		II	9										

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名					
II	6	亜高山帯広葉樹林	ササ-ダケカンバ群落		ササ-ダケカンバ群落	20600A	長野県	ササ-ダケカンバ群落	39	II	9							
						20600B	岐阜県	ササ-ダケカンバ群落	40	II	9							
							山形県	ダケカンバ-ササ群落	2	II	9		○					
							栃木県	ダケカンバ-ササ群落	27	II	9		○					
							埼玉県	ダケカンバ-ササ群落	6	II	9		○					
							秋田県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	3	II	9							
	7	高茎草原及び風衝草原	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団		シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	21001A	福島県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団		II	9							
							群馬県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団		II	9							
							新潟県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	1	II	9							
							富山県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	34	II	9							
							石川県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	5	II	9							
							福井県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団		II	9							
							山梨県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	9	II	9							
							長野県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	17	II	9							
							静岡県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団	2	II	9							
							山形県	シナノキンバイ-ミヤマキンボウグ群団		II	9		○					
							トカチフウロ-タカネトウチソウ群落	トカチフウロ-タカネトウチソウ群落	10300D	北海道	トカチフウロ亜群落		I	01		○	○	
							ミヤマキンボウグ群落	ミヤマキンボウグ群落	10300G	北海道	ミヤマキンボウグ群落		I	01		○	○	
							ハイケイソウ-ミヤマイ群落	ハイケイソウ-ミヤマイ群落	10300H	北海道	ハイケイソウ-ミヤマイ群落		I	01		○	○	
							ミヤマイ群落	ミヤマイ群落	10300J	富山県	ミヤマイ群落		I	01		○	○	
	ササ群落	ササ群落	ササ群落	ササ群落	ササ群落	21100A	北海道	ササ自然草原	561	II	01			○				
							群馬県	ササ自然草原	54	II	01		○					
							新潟県	ササ自然草原	60	II	01		○					
							福井県	ササ自然草原	9	II	01		○					
							高知県	ササ群落		II	01							
						チシマザサ群落	チシマザサ群落	チシマザサ群落	チシマザサ群落	チシマザサ群落	21100A	青森県	ササ自然草原	25	II	01		
											岩手県	ササ自然草原	14	II	01		○	
											宮城県	ササ自然草原		II	01		○	
											福島県	ササ自然草原	43	II	01		○	
											石川県	ササ自然草原	11	II	01		○	
											長野県	ササ自然草原	61	II	01		○	
											岐阜県	ササ自然草原	36	II	01		○	
											秋田県	チシマザサ群落	19	II	01			
						山形県	チシマザサ群落	42	II	01								
						オクノカンスゲ-チシマザサ群落	オクノカンスゲ-チシマザサ群落	21100B	北海道	チシマザサ-オクノカンスゲ群落		II	01		○	○		
III						8	亜高山帯二次林	ダケカンバ群落		ダケカンバ群落	30300C	北海道	伐採跡地に成立した二次林	28	III	7		○
	30400	北海道	ダケカンバ群落	309	III						8							
			岩手県	ダケカンバ群落	49						III	8						
			山形県	ダケカンバ群落	8						III	8						
			福島県	ダケカンバ群落	4						III	8						
			群馬県	ダケカンバ群落	4						III	8						
			東京都	ダケカンバ群落	1						III	8						
			山梨県	ダケカンバ群落	23						III	8						
			長野県	ダケカンバ群落	30						III	8						
			岐阜県	ダケカンバ群落	49						III	8						
			静岡県	ダケカンバ群落	10						III	8						
			徳島県	ダケカンバ群落	1						III	8						
			愛媛県	ダケカンバ群落							III	8						
			高知県	ダケカンバ群落							III	8						
	9	二次草原	ササ群落	ササ群落	ササ群落	ササ群落	30100A	北海道	ササ群落	188	III	5						
								岩手県	ササ群落	15	III	5						
								福島県	ササ群落		III	5						
								群馬県	ササ群落	10	III	5						
								長野県	ササ群落	18	III	5						
								岐阜県	ササ群落	1	III	5						
								静岡県	ササ群落	4	III	5						
								奈良県	ササ群落		III	5						
								徳島県	ササ群落	9	III	5						
								愛媛県	ササ群落	7	III	5						
								高知県	ササ群落		III	5						
								青森県	ササ群落	3	III	5		○				
	山形県	チシマザサ二次群落		III	5		○											
	山形県	チシマザサ群落	3	III	5													
	栃木県	チシマザサ群落	2	III	5													
	福井県	チシマザサ群落		III	5													
	クマイザサ群落	クマイザサ群落	30102D	栃木県	クマイザサ群落		2	III	5									
	ヒゲノガリヤス群落	ヒゲノガリヤス群落	30200	長野県	ヒゲノガリヤス群落			III	5									
10	伐採跡地群落			伐採跡地群落	伐採跡地群落	30300A	北海道	伐跡群落	311	III	4		○					
							栃木県	伐跡群落	4	III	4		○					
							埼玉県	伐跡群落		III	4		○					
							山梨県	伐跡群落	8	III	4		○					
							長野県	伐跡群落	34	III	4		○					
							岐阜県	伐跡群落	113	III	4		○					
							静岡県	伐跡群落	15	III	4		○					
							奈良県	伐跡群落	3	III	4		○					
							福井県	伐跡群落		III	4		○					

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック(植生区分)	変更チェック(群落名)
IV	11	落葉広葉樹林(日本海型)	チシマザサ-ブナ群団		チシマザサ-ブナ群団	40100A	北海道	チシマザサ-ブナ群団	2163	IV	9		
						青森県	チシマザサ-ブナ群団	919	IV	9			
						岩手県	チシマザサ-ブナ群団	895	IV	9			
						宮城県	チシマザサ-ブナ群団	552	IV	9			
						秋田県	チシマザサ-ブナ群団	1485	IV	9			
						福島県	チシマザサ-ブナ群団	1029	IV	9			
						群馬県	チシマザサ-ブナ群団	461	IV	9			
						新潟県	チシマザサ-ブナ群団	1093	IV	9			
						石川県	チシマザサ-ブナ群団	332	IV	9			
						福井県	チシマザサ-ブナ群団	127	IV	9			
						長野県	チシマザサ-ブナ群団	148	IV	9			
						岐阜県	チシマザサ-ブナ群団	710	IV	9			
						滋賀県	チシマザサ-ブナ群団	1	IV	9			
						兵庫県	チシマザサ-ブナ群団	26	IV	9			
						40100B	山形県	ブナ-チシマザサ群団	1496	IV	9		
						40100C	栃木県	ブナ-チシマザサ群団	157	IV	9		
						40100D	秋田県	オオシラビソ-ブナ群団		IV	9		
						40101	北海道	ヒメアオキ-ブナ群団	5	IV	9		
						新潟県	ヒメアオキ-ブナ群団	1	IV	9			
						富山県	ヒメアオキ-ブナ群団	83	IV	9			
						長野県	ヒメアオキ-ブナ群団	51	IV	9			
						岐阜県	ヒメアオキ-ブナ群団	77	IV	9			
						滋賀県	ヒメアオキ-ブナ群団	25	IV	9			
						京都府	ヒメアオキ-ブナ群団		IV	9			
						40103	青森県	マルバマンサク-ブナ群団	7	IV	9		
						富山県	マルバマンサク-ブナ群団	452	IV	9			
						長野県	マルバマンサク-ブナ群団	102	IV	9			
						40104	青森県	スギ-ブナ群団	17	IV	9		
						岩手県	スギ-ブナ群団	3	IV	9			
						宮城県	スギ-ブナ群団	1	IV	9			
						秋田県	スギ-ブナ群団	158	IV	9			
						山形県	スギ-ブナ群団		IV	9			
						新潟県	スギ-ブナ群団	12	IV	9			
						富山県	スギ-ブナ群団	3	IV	9			
						福井県	スギ-ブナ群団	14	IV	9			
						岐阜県	スギ-ブナ群団	1	IV	9			
						滋賀県	スギ-ブナ群団	13	IV	9			
						京都府	スギ-ブナ群団	46	IV	9			
						鳥取県	スギ-ブナ群団		IV	9			
						島根県	スギ-ブナ群団	1	IV	9			
						岡山県	スギ-ブナ群団	7	IV	9			
						山口県	スギ-ブナ群団		IV	9			
						40102	福井県	クロモジ-ブナ群団	2	IV	9		
						滋賀県	クロモジ-ブナ群団	7	IV	9			
						鳥取県	クロモジ-ブナ群団	98	IV	9			
島根県	クロモジ-ブナ群団	14	IV	9									
岡山県	クロモジ-ブナ群団	9	IV	9									
広島県	クロモジ-ブナ群団	27	IV	9									
山口県	クロモジ-ブナ群団	5	IV	9									
40300B	北海道	ミズナラ群団	53	IV	9								
40300A	北海道	エゾイタヤ-シナノキ群団	15535	IV	9								
50400A	北海道	アカシデ-イヌシデ群団	2	V	7								
40300A	青森県	エゾイタヤ-シナノキ群団	64	IV	9								
秋田県	エゾイタヤ-シナノキ群団	10	IV	9									
山形県	エゾイタヤ-シナノキ群団	1	IV	9									
新潟県	エゾイタヤ-シナノキ群団	8	IV	9									
石川県	エゾイタヤ-シナノキ群団		IV	9									
40300C	北海道	エゾイタヤ群団	19	IV	9								
41700A	青森県	自然低木群団	17	IV	9								
41702	北海道	カシワ群団	82	IV	9								
青森県	カシワ群団	13	IV	9									
秋田県	カシワ群団	6	IV	9									
新潟県	カシワ群団	10	IV	9									
42600	北海道	下部針広混交林	7779	IV	9								
40200A	岩手県	スズタケ-ブナ群団	5	IV	9								
宮城県	スズタケ-ブナ群団	5	IV	9									
福島県	スズタケ-ブナ群団	62	IV	9									
群馬県	スズタケ-ブナ群団	18	IV	9									
長野県	スズタケ-ブナ群団	5	IV	9									
岐阜県	スズタケ-ブナ群団	18	IV	9									
静岡県	スズタケ-ブナ群団	1	IV	9									
三重県	スズタケ-ブナ群団	1	IV	9									
滋賀県	スズタケ-ブナ群団		IV	9									
兵庫県	スズタケ-ブナ群団		IV	9									
奈良県	スズタケ-ブナ群団	155	IV	9									
和歌山県	スズタケ-ブナ群団	6	IV	9									
12	下部針広混交林												
13	落葉広葉樹林(太平洋型)	スズタケ-ブナ群団			下部針広混交林 スズタケ-ブナ群団	42600 40200A	北海道 岩手県	下部針広混交林 スズタケ-ブナ群団	7779 5	IV IV	9 9		

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック	変更チェック
												植生区分	群落名
IV	13	落葉広葉樹林(太平洋型)	スズタケ-ブナ群団		スズタケ-ブナ群団	40200A	徳島県	スズタケ-ブナ群団	78	IV	9		
							愛媛県	スズタケ-ブナ群団	39	IV	9		
							熊本県	スズタケ-ブナ群団	56	IV	9		
						40200B	徳島県	ブナ-スズタケ群団	2	IV	9		○
							徳島県	ブナ-スズタケ群団	1	IV	9		○
							高知県	ブナ-スズタケ群団	81	IV	9		○
						40201A	神奈川県	ヤマボウシ-ブナ群団	50	IV	9		
							山梨県	ヤマボウシ-ブナ群団	88	IV	9		
							長野県	ヤマボウシ-ブナ群団	28	IV	9		
							静岡県	ヤマボウシ-ブナ群団	47	IV	9		
							愛知県	ヤマボウシ-ブナ群団	3	IV	9		
							香川県	ヤマボウシ-ブナ群団		IV	9		
						40201D	東京都	ブナ-ヤマボウシ群団	32	IV	9		○
						40201B	茨城県	ブナ-ツクシバネウツギ群団		IV	9		○
						40201C	茨城県	ブナ-ミヤコザサ群団	1	IV	9		○
							栃木県	ブナ-ミヤコザサ群団	102	IV	9		○
						40204	神奈川県	オオモミジガサ-ブナ群団		IV	9		
							山梨県	オオモミジガサ-ブナ群団	4	IV	9		
						40204B	東京都	ブナ-オオモミジガサ群団		IV	9		○
						40210C	茨城県	ブナ-スズタケ群団	5	IV	9		○
							栃木県	ブナ-スズタケ群団	2	IV	9		○
							埼玉県	ブナ-スズタケ群団	43	IV	9		○
							三重県	ブナ-スズタケ群団	46	IV	9		○
							大分県	ブナ-スズタケ群団	37	IV	9		○
						40202C	富山県	オオマルバノテンニンソウ-ブナ群団	1	IV	9		○
						40214A	大阪府	シラキ-ブナ群団		IV	9		
							福岡県	シラキ-ブナ群団	4	IV	9		
							佐賀県	シラキ-ブナ群団	1	IV	9		
							長崎県	シラキ-ブナ群団		IV	9		
							熊本県	シラキ-ブナ群団	17	IV	9		
							宮崎県	シラキ-ブナ群団	117	IV	9		
							鹿児島県	シラキ-ブナ群団	2	IV	9		
						40202A	熊本県	ツクシバネウツギ-ブナ群団	1	IV	9		
						40202B	大分県	ブナ-ツクシバネウツギ群団	2	IV	9		○
						40203A	岩手県	イヌブナ群団	1	IV	9		○
							宮城県	イヌブナ群団	1	IV	9		○
							茨城県	イヌブナ群団		IV	9		○
							群馬県	イヌブナ群団		IV	9		○
							埼玉県	イヌブナ群団	38	IV	9		○
							山梨県	イヌブナ群団	151	IV	9		○
							長野県	イヌブナ群団		IV	9		○
							静岡県	イヌブナ群団	53	IV	9		○
							滋賀県	イヌブナ群団		IV	9		○
						40203C	福井県	イヌブナ群団		IV	9		
						40203B	兵庫県	イヌブナ-チャボガヤ群団	7	IV	9		○
						40203D	宮崎県	コハクウンボク-イヌブナ群団	4	IV	9		
						40300B	群馬県	ミズナラ群団	4	IV	9		
						41701B	栃木県	ミズナラ-リョウブ群団	1	IV	9		○
							群馬県	ミズナラ-リョウブ群団	24	IV	9		○
							神奈川県	ミズナラ-リョウブ群団	4	IV	9		○
							岐阜県	ミズナラ-リョウブ群団	2	IV	9		○
							京都府	ミズナラ-リョウブ群団		IV	9		○
							和歌山県	ミズナラ-リョウブ群団		IV	9		○
							福岡県	ミズナラ-リョウブ群団		IV	9		○
							長崎県	ミズナラ-リョウブ群団		IV	9		○
							熊本県	ミズナラ-リョウブ群団	13	IV	9		○
							大分県	ミズナラ-リョウブ群団	33	IV	9		○
							宮崎県	ミズナラ-リョウブ群団	9	IV	9		○
							鹿児島県	ミズナラ-リョウブ群団	4	IV	9		○
						43000A	群馬県	ミズナラ-リョウブ群団	2	IV	9		○
							京都府	ミズナラ-リョウブ群団	5	IV	9		○
							宮崎県	ミズナラ-リョウブ群団		IV	9		○
						43000D	宮崎県	リョウブ-ミズナラ群団	25	IV	9		○
						50300J	宮崎県	リョウブ-ミズナラ群団	14	V	7		○
						41900A	岩手県	イヌシデ-アカシデ自然林	4	IV	9		
							宮城県	イヌシデ-アカシデ自然林	3	IV	9		
							福島県	イヌシデ-アカシデ自然林	2	IV	9		
							茨城県	イヌシデ-アカシデ自然林	1	IV	9		
							埼玉県	イヌシデ-アカシデ自然林		IV	9		
							福井県	イヌシデ-アカシデ自然林		IV	9		○
						41900B	新潟県	イヌシデ-アカシデ群団		IV	9		
							富山県	イヌシデ-アカシデ群団		IV	9		
							石川県	イヌシデ-アカシデ群団		IV	9		
							島根県	イヌシデ-アカシデ群団	2	IV	9		
							香川県	イヌシデ-アカシデ群団	1	IV	9		
						50400F	香川県	アカシデ群団		V	7		○



植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック(植生区分)	変更チェック(群落名)							
IV	13	落葉広葉樹林(太平洋型)	イヌシデアアカシデ群落	アカシデ群落	アカシデ群落	50400F	秋田県	アカシデ群落	5	V	7	○								
				コハウチワカエデ群落	ケクロモジ-コハウチワカエデ群落	40214B	佐賀県	コハウチワカエデ-ケクロモジ群落		IV	9		○							
	14	冷温帯針葉樹林	ウラジロモミ群落	ウラジロモミ群落	ウラジロモミ群落	40400	栃木県	ウラジロモミ群落	1	IV	9									
							群馬県	ウラジロモミ群落	1	IV	9									
							埼玉県	ウラジロモミ群落	1	IV	9									
							長野県	ウラジロモミ群落	41	IV	9									
							岐阜県	ウラジロモミ群落		IV	9									
							静岡県	ウラジロモミ群落	9	IV	9									
							愛知県	ウラジロモミ群落		IV	9									
							奈良県	ウラジロモミ群落	4	IV	9									
							徳島県	ウラジロモミ群落		IV	9									
							愛媛県	ウラジロモミ群落		IV	9									
							東京都	ウラジロモミ-コムツガ群落	2	IV	9									
							山梨県	ウラジロモミ-コムツガ群落, ハリモミ群落	77	IV	9		○							
							北海道	ヒノキアスナロ群落	114	IV	9									
							青森県	ヒノキアスナロ群落	441	IV	9									
							岩手県	ヒノキアスナロ群落	33	IV	9									
							群馬県	ヒノキアスナロ群落	10	IV	9									
							石川県	ヒノキアスナロ群落		IV	9									
							青森県	クロベ-ヒメコマツ群落		IV	9		○							
							岩手県	クロベ-ヒメコマツ群落	4	IV	9		○							
							宮城県	クロベ-ヒメコマツ群落	5	IV	9		○							
							福島県	クロベ-ヒメコマツ群落	28	IV	9		○							
							新潟県	クロベ-ヒメコマツ群落	15	IV	9		○							
							石川県	クロベ-ヒメコマツ群落	4	IV	9		○							
							長野県	クロベ-ヒメコマツ群落	90	IV	9		○							
							40700D	山形県	キタゴヨウ-クロベ群落	23	IV	9		○						
							40700G	青森県	クロベ-キタゴヨウ群落	1	IV	9								
							42900	秋田県	ヒノキアスナロ群落及びクロベ-キタゴヨウ群落	32	IV	9		○						
							40700C	富山県	アカミノイヌツゲ-クロベ群集	28	IV	9								
							40700A	群馬県	クロベ-ヒメコマツ群落	7	IV	9								
								埼玉県	クロベ-ヒメコマツ群落		IV	9								
								岐阜県	クロベ-ヒメコマツ群落	15	IV	9								
								静岡県	クロベ-ヒメコマツ群落		IV	9								
								島根県	クロベ-ヒメコマツ群落		IV	9								
								愛媛県	クロベ-ヒメコマツ群落	3	IV	9								
							40700E	栃木県	ヒメコマツ-クロベ群落		IV	9		○						
							40700F	高知県	クロベ群落		IV	9		○						
							40702B	鳥取県	ヒメコマツ群落		IV	9		○						
							40501B	福島県	アスナロ群落	1	IV	9								
								栃木県	アスナロ群落	8	IV	9								
								兵庫県	アスナロ群落		IV	9								
								徳島県	アスナロ群落	2	IV	9								
							ツガ群落	ツガ群落	ツガ群落	ツガ群落	ツガ群落	40208	富山県	ツガ-コカスグ群集		IV	9		○	
													40208B	宮城県	アケボノツツジ-ツガ群集	26	IV	9		○
													60202F	兵庫県	ツガ群落		VI	9		○
													40208	栃木県	ツガ-コカスグ群集		IV	9		○
														群馬県	ツガ-コカスグ群集	6	IV	9		○
														埼玉県	ツガ-コカスグ群集	10	IV	9		○
														東京都	ツガ-コカスグ群集	5	IV	9		○
														山梨県	ツガ-コカスグ群集	27	IV	9		○
														長野県	ツガ-コカスグ群集	12	IV	9		○
														静岡県	ツガ-コカスグ群集	213	IV	9		○
														和歌山県	ツガ-コカスグ群集	6	IV	9		○
														高知県	ツガ-コカスグ群集	43	IV	9		○
													60202A	愛媛県	ツガ-ハイノキ群集		VI	9		○
													60202D	島根県	ツガ-コカスグ群集	3	VI	9		○
													60202E	愛媛県	コカスグ-ツガ群集	8	VI	9		○
													60202A	愛知県	ツガ-ハイノキ群集	2	VI	9		○
														三重県	ツガ-ハイノキ群集	18	VI	9		○
														奈良県	ツガ-ハイノキ群集	17	VI	9		○
														島根県	ツガ-ハイノキ群集		VI	9		○
														山口県	ツガ-ハイノキ群集		VI	9		○
														徳島県	ツガ-ハイノキ群集	3	VI	9		○
														熊本県	ツガ-ハイノキ群集	26	VI	9		○
														大分県	ツガ-ハイノキ群集	19	VI	9		○
														鹿児島県	ツガ-ハイノキ群集	5	VI	9		○
													60202G	広島県	ハイノキ-ツガ群集		VI	9		○
													60202C	高知県	ツガ-トガサワラ群落		VI	9		○
													40600A	福島県	ヒノキ群落		IV	9		
														群馬県	ヒノキ群落	4	IV	9		
														長野県	ヒノキ群落	299	IV	9		
														岐阜県	ヒノキ群落	146	IV	9		
														静岡県	ヒノキ群落		IV	9		
														愛媛県	ヒノキ群落	1	IV	9		

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然区コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名				
IV	14	冷温帯針葉樹林	ヒノキ群落		ヒノキ群落	40600A	高知県	ヒノキ群落	3	IV	9						
							福岡県	ヒノキ群落		IV	9						
							大分県	ヒノキ群落		IV	9						
							宮崎県	ヒノキ群落		IV	9						
							山梨県	ヒノキ-シノブカグマ群集	シノブカグマ-ヒノキ群集	40601C	岐阜県	ヒノキ-シノブカグマ群集	28	IV	9		○
							岐阜県	ヒノキ-シノブカグマ群集			1	IV	9		○		
							埼玉県	ヒノキ-シヤクナグ群集	シヤクナグ-ヒノキ群集	40602B	埼玉県	ヒノキ-シヤクナグ群集		IV	9		○
							岐阜県	ヒノキ-シヤクナグ群集			4	IV	9		○		
							愛知県	ヒノキ-シヤクナグ群集				IV	9		○		
							兵庫県	ヒノキ-シヤクナグ群集				IV	9		○		
							和歌山県	ヒノキ-シヤクナグ群集			7	IV	9		○		
							徳島県	ヒノキ-シヤクナグ群集				IV	9		○		
							大分県	ヒノキ-シヤクナグ群集				IV	9		○		
							和歌山県	コウヤマキ群落	コウヤマキ群落	51600	和歌山県	コウヤマキ群落	1	V	7		○
							島根県	コウヤマキ群落		63300	島根県	コウヤマキ群落	1	VI	9		○
		愛媛県	コウヤマキ群落				VI	9		○							
		スギ群落	スギ群落	スギ群落	42700	徳島県	スギ群落	3	IV	9		○					
					60100C	高知県	スギ群落	28	VI	9		○					
					60100E	鹿児島県	スギ天然林	139	VI	9		○					
	15	岩角地針葉樹林	アカマツ群落	アカマツ群落	アカマツ群落	40800	青森県	アカマツ群落		IV	9						
							岩手県	アカマツ群落	7	IV	9						
							山形県	アカマツ群落	14	IV	9						
							福島県	アカマツ群落	30	IV	9						
							茨城県	アカマツ群落		IV	9						
							群馬県	アカマツ群落	19	IV	9						
							山梨県	アカマツ群落	20	IV	9						
							長野県	アカマツ群落	56	IV	9						
						岐阜県	アカマツ群落	43	IV	9							
						島根県	アカマツ群落		IV	9							
						山口県	アカマツ群落	1	IV	9							
						福岡県	アカマツ群落		IV	9							
						熊本県	アカマツ群落		IV	9							
						宮崎県	アカマツ群落	4	IV	9							
						鹿児島県	アカマツ群落		IV	9							
						大分県	アカマツ-ヒメコマツ群落		IV	9							
						千葉県	ヒメコマツ群落	ヒメコマツ群落	60100F	千葉県	ヒメコマツ群落		VI	9		○	
						福島県	深畔林	深畔林	40300A	福島県	エノキタケ-シナノキ群集	2	IV	9		○	
									40300D	福島県	エノキタケ-シナノキ群集	1	IV	9		○	
16						深畔林	サワグルミ群落	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	40900A	青森県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	110	IV	9		
											岩手県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	5	IV	9		
											秋田県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	16	IV	9		
											福島県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	3	IV	9		
											群馬県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV	9		
											新潟県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	1	IV	9		
											富山県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	3	IV	9		
											石川県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV	9		
		福井県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV					9							
		長野県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	1	IV					9							
		岐阜県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	27	IV					9							
		兵庫県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV					9							
		鳥取県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV					9							
		島根県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV					9							
		岡山県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV					9							
		広島県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	1	IV					9							
		山口県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV					9							
		栃木県	サワグルミ-ジュウモンジシダ群集		IV					9							
		北海道	ジュウモンジシダ-サワグルミ群落		IV					9							
		山形県	サワグルミ-カツラ群落	サワグルミ-カツラ群落	40900E					山形県	サワグルミ-カツラ群落		IV	9		○	
		和歌山県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集	40900A					和歌山県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群集		IV	9		○	
		三重県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群落		40900C					三重県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群落		IV	9		○	
		和歌山県	ジュウモンジシダ-サワグルミ群落								IV	9		○			
		宮崎県	サワグルミ群集		40900F					宮崎県	サワグルミ群集	4	IV	9		○	
		兵庫県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集	シオジ群落	41000A					兵庫県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集		IV	9		○	
		群馬県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集	ミヤマクマワラビ-シオジ群集	41000A					群馬県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集	7	IV	9		○	
		神奈川県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集								2	IV	9				
	山梨県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集				1	IV	9									
	長野県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集				1	IV	9									
	静岡県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集				4	IV	9									
	徳島県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集				IV	9										
	福岡県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集				IV	9										
	熊本県	ミヤマクマワラビ-シオジ群集				IV	9										
	栃木県	シオジ-ミヤマクマワラビ群集		41000B	栃木県	シオジ-ミヤマクマワラビ群集		IV	9		○						
	埼玉県	シオジ-ミヤマクマワラビ群集				IV	9										
	東京都	シオジ-ミヤマクマワラビ群集				1	IV	9		○							
	高知県	シオジ-ミヤマクマワラビ群集				1	IV	9		○							
	大分県	シオジ-ミヤマクマワラビ群集				3	IV	9		○							

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名									
IV	16	深畔林	ハルニレ群落	ハルニレ群落	ハルニレ群落	41100A	北海道	ハルニレ群落	323	IV	9		○									
						41100B	秋田県	ハルニレ群落		IV	9											
						41100A	岩手県	ハルニレ群落		IV	9											
							宮城県	ハルニレ群落		IV	9											
							福島県	ハルニレ群落		IV	9											
							栃木県	ハルニレ群落	4	IV	9											
							群馬県	ハルニレ群落		IV	9											
							富山県	ハルニレ群落		IV	9											
							長野県	ハルニレ群落	4	IV	9											
							青森県	クヤキ群落	3	IV	9											
							岩手県	クヤキ群落	14	IV	9											
							宮城県	クヤキ群落	1	IV	9											
							秋田県	クヤキ群落	22	IV	9											
							山形県	クヤキ群落	3	IV	9											
							福島県	クヤキ群落	3	IV	9											
							茨城県	クヤキ群落		IV	9											
							新潟県	クヤキ群落	1	IV	9											
							富山県	クヤキ群落	13	IV	9											
							石川県	クヤキ群落		IV	9											
							山梨県	クヤキ群落	5	IV	9											
				長野県	クヤキ群落	11	IV	9														
				香川県	クヤキ群落		IV	9														
				福岡県	クヤキ群落		IV	9														
				大分県	クヤキ群落	1	IV	9														
				宮崎県	ヒメウバミソウ-クヤキ群落		IV	9														
				60500C	滋賀県	クヤキ-チャボガヤ群落	2	VI	9	○												
				60500H	熊本県	ヒメウバミソウ-クヤキ群落		VI	9	○												
				42502C	福岡県	アサガラ-コクサギ群落		IV	9	○												
			17	沼沢林	アサガラ群落 ヤチダモ群落	アサガラ群落 ヤチダモ群落	アサガラ群落 ヤチダモ群落	アサガラ群落 ヤチダモ群落	41400C	秋田県	ヤチダモ群落		IV	9								
									41400A	北海道	ハンノキ-ヤチダモ群落	198	IV	9								
										青森県	ハンノキ-ヤチダモ群落	7	IV	9								
										福島県	ハンノキ-ヤチダモ群落	1	IV	9								
										栃木県	ハンノキ-ヤチダモ群落		IV	9								
										富山県	ハンノキ-ヤチダモ群落		IV	9								
										41400B	北海道	ヤチダモ-ハンノキ群落	1	IV	9	○						
										41400D	北海道	ヤチダモ-ハンノキ群落		IV	9	○						
										41500	北海道	ハンノキ群落	528	IV	9							
											岩手県	ハンノキ群落	4	IV	9							
											秋田県	ハンノキ群落	2	IV	9							
											福島県	ハンノキ群落		IV	9							
											新潟県	ハンノキ群落		IV	9							
											長野県	ハンノキ群落	1	IV	9							
									18	河辺林	ヤナギ高木群落	ヤナギ高木群落	ヤナギ高木群落	ヤナギ高木群落	41200A	北海道	ヤナギ高木群落	9	IV	9		
																岩手県	ヤナギ高木群落		IV	9		
																宮城県	ヤナギ高木群落	9	IV	9		
	福島県	ヤナギ高木群落													1	IV	9					
	栃木県	ヤナギ高木群落														IV	9					
	群馬県	ヤナギ高木群落														IV	9					
	新潟県	ヤナギ高木群落	1	IV	9																	
	石川県	ヤナギ高木群落		IV	9																	
	41200B	山形県	ヤナギ高木林	8	IV	9	○															
		静岡県	ヤナギ高木林		IV	9	○															
	41200B	長野県	ヤナギ高木林	7	IV	9	○															
	41201A	北海道	ドロノキ-オオバヤナギ群落	42	IV	9	○															
		栃木県	ドロノキ-オオバヤナギ群落		IV	9	○															
		富山県	ドロノキ-オオバヤナギ群落	1	IV	9	○															
	41201B	秋田県	オオバヤナギ-ドロノキ群落	1	IV	9	○															
	41201C	山梨県	ドロノキ-オオバヤナギ群落		IV	9	○															
	41202	北海道	クショウヤナギ群落		IV	9																
	41203B	秋田県	シロヤナギ群落	7	IV	9																
	41300A	北海道	ヤナギ低木群落	471	IV	9																
		青森県	ヤナギ低木群落	18	IV	9																
		秋田県	ヤナギ低木群落	1	IV	9																
		福島県	ヤナギ低木群落	1	IV	9																
		新潟県	ヤナギ低木群落	5	IV	9																
		石川県	ヤナギ低木群落		IV	9																
		長野県	ヤナギ低木群落	13	IV	9																
		岐阜県	ヤナギ低木群落	10	IV	9																
	41300B	秋田県	ヤナギ低木林	10	IV	9	○															
		山形県	ヤナギ低木林	3	IV	9	○															
		福井県	ヤナギ低木林		IV	9	○															
	40900D	北海道	オニグルミ群落	2	IV	9																
	41600	北海道	ヤマハンノキ群落	147	IV	9																
		青森県	ヤマハンノキ群落	1	IV	9																
		秋田県	ヤマハンノキ群落	1	IV	9																

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群号コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック	変更チェック	
												植生区分	群名	
IV	18	向辺林	ヤマハン/キ群落		ヤマハン/キ群落	41600	山形県	ヤマハン/キ群落	1	IV	9			
							新潟県	ヤマハン/キ群落		IV	9			
							富山県	ヤマハン/キ群落	1	IV	9			
							石川県	ヤマハン/キ群落		IV	9			
							岐阜県	ヤマハン/キ群落		IV	9			
							富山県	ヤマハン/キ群落		IV	9			
							栃木県	ヤマハン/キ群落		IV	9			
							静岡県	ヤマハン/キ群落	1	IV	9			
							三重県	ヤマハン/キ群落		IV	9			
							滋賀県	ヤマハン/キ群落	5	IV	9			
	愛媛県	ヤマハン/キ群落		IV	9									
	熊本県	ヤマハン/キ群落	30	IV	9									
	宮崎県	ヤマハン/キ群落		IV	9									
	鹿児島県	ヤマハン/キ群落	4	IV	9									
	宮崎県	山地低木林		IV	9									
	19	岩角地・風衝地低木群落		向辺ヤシヤブシ群落	向辺ヤシヤブシ群落	41709	栃木県	向辺ヤシヤブシ群落		IV	9			
							静岡県	向辺ヤシヤブシ群落	1	IV	9			
							三重県	向辺ヤシヤブシ群落		IV	9			
							滋賀県	向辺ヤシヤブシ群落	5	IV	9			
							愛媛県	向辺ヤシヤブシ群落		IV	9			
							熊本県	向辺ヤシヤブシ群落	30	IV	9			
							宮崎県	向辺ヤシヤブシ群落		IV	9			
							鹿児島県	向辺ヤシヤブシ群落	4	IV	9			
							宮崎県	山地低木林		IV	9			
							青森県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	3	II	9			
	岩手県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	34	II	9									
	宮城県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	27	II	9									
	秋田県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	40	II	9									
	福島県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	3	II	9									
	群馬県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	80	II	9									
	新潟県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	24	II	9									
	富山県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団	6	II	9									
	長野県	ウラジロウラク-ミヤマナラ群団		II	9									
	山形県	ミヤマナラ群落	89	II	9									
	山形県	ナナカマド-ミネカエデ群落	32	II	9									
	山形県	ナナカマド-ミネカエデ群落		II	9									
	栃木県	ミネヤナギ群落	1	I	9									
	20900	福島県	キャラボク群落		II	9								
		富山県	キャラボク群落	1	II	9								
		兵庫県	キャラボク群落		II	9								
		鳥取県	キャラボク群落		II	9								
	81700C	鹿児島県	ヤシヤブシ群落	12	VIII	01								
	81700K	鹿児島県	火山性ヤシヤブシ群落	1	VIII	01								
	81700L	鹿児島県	クロマツ-ヤシヤブシ群落		VIII	01								
	41709	宮崎県	ヤシヤブシ群落	4	IV	9								
		鹿児島県	ヤシヤブシ群落		IV	9								
	42800B	滋賀県	オオイトヤメイグツ群落	3	IV	9								
	42002B	福岡県	オオイトヤメイグツ-サイゴクイボク群落		IV	9								
	42000	徳島県	イワシデ群落		IV	9								
		香川県	イワシデ群落	2	IV	9								
		高知県	イワシデ群落	1	IV	9								
	65400A	長崎県	イワシデ群落		VI	9								
		熊本県	イワシデ群落		VI	9								
		大分県	イワシデ群落	3	VI	9								
	65400B	福岡県	イワシデ-イワツクバネウツギ群落	1	VI	9								
	41701C	長崎県	ヤマボウシ群落	1	IV	9								
	40214C	大分県	コミネカエデ-ナナカマド群落	7	IV	9								
	41700A	北海道	自然低木群落	1	IV	9								
		福島県	自然低木群落	311	IV	9								
		栃木県	自然低木群落	3	IV	9								
		新潟県	自然低木群落	928	IV	9								
		石川県	自然低木群落	1	IV	9								
		長野県	自然低木群落	5	IV	9								
		岐阜県	自然低木群落	23	IV	9								
	41700B	福井県	自然低木林	23	IV	9								
		鳥取県	自然低木林	2	IV	9								
		島根県	自然低木林	2	IV	9								
	41703A	北海道	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	79	IV	9								
		岩手県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	5	IV	9								
		宮城県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	4	IV	9								
		秋田県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	51	IV	9								
		山形県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	273	IV	9								
		福島県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	2	IV	9								
		富山県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	132	IV	9								
		福井県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落		IV	9								
		滋賀県	ヒメヤシヤブシ-タニウツギ群落	6	IV	9								
	41703B	島根県	ダイセンヤナギ-タニウツギ群落		IV	9								
	41800A	北海道	自然草原	109	IV	01								
		福島県	自然草原	9	IV	01								
		新潟県	自然草原	10	IV	01								
		福井県	自然草原	1	IV	01								
		岐阜県	自然草原	2	IV	01								
		鳥取県	自然草原	1	IV	01								
		島根県	自然草原		IV	01								
		宮崎県	自然草原		IV	01								
		鹿児島県	自然草原	1	IV	01								
	21	自然草原				自然草原	41800A	北海道	自然草原	109	IV	01		
								福島県	自然草原	9	IV	01		
								新潟県	自然草原	10	IV	01		
								福井県	自然草原	1	IV	01		
								岐阜県	自然草原	2	IV	01		
								鳥取県	自然草原	1	IV	01		
								島根県	自然草原		IV	01		
								宮崎県	自然草原		IV	01		
								鹿児島県	自然草原	1	IV	01		
									鹿児島県	自然草原		IV	01	

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名
IV	21	自然草原			自然草原	41800B	北海道	風衝草原	6	IV	01		○
						41800C	北海道	高基草原	50	IV	01		○
						41800D	東京都	ミクラザサ群落	1	IV	01		
						41801	富山県	フジアカショウマ-シモツケソウ群集	1	IV	01		○
						41801	神奈川県	フジアカショウマ-シモツケソウ群集	1	IV	01		
						41801	山梨県	フジアカショウマ-シモツケソウ群集	5	IV	01		
						41801	静岡県	フジアカショウマ-シモツケソウ群集	1	IV	01		
						41803	東京都	シマノガリヤス-シマキンレイカ群集	1	IV	01		○
						41800A	秋田県	自然草原	1	IV	01		○
						41800A	長野県	自然草原	2	IV	01		○
						41806	青森県	オオヨモギ-オオイタドリ群団	1	IV	01		
						41806	富山県	オオヨモギ-オオイタドリ群団	17	IV	01		
						41806	山梨県	オオヨモギ-オオイタドリ群団	2	IV	01		
						41806B	石川県	山地帯高基草原	13	IV	01		○
V	22	落葉広葉樹二次林			落葉広葉樹二次林	51400C	北海道	伐採跡地に成立した二次林	1229	V	7		○
						50300E	山形県	ミズナラ群落	840	V	7		
						52000	秋田県	スギ-落葉広葉樹林群落	24	V	7		○
						50100A	北海道	ブナ-ミズナラ群落	895	V	8		
						50100A	青森県	ブナ-ミズナラ群落	1109	V	8		
						50100A	岩手県	ブナ-ミズナラ群落	360	V	8		
						50100A	秋田県	ブナ-ミズナラ群落	287	V	8		
						50100A	山形県	ブナ-ミズナラ群落	714	V	8		
						50100A	福島県	ブナ-ミズナラ群落	761	V	8		
						50100A	茨城県	ブナ-ミズナラ群落	15	V	8		
						50100A	栃木県	ブナ-ミズナラ群落	160	V	8		
						50100A	新潟県	ブナ-ミズナラ群落	1799	V	8		
						50100A	富山県	ブナ-ミズナラ群落	508	V	8		
						50100A	石川県	ブナ-ミズナラ群落	148	V	8		
50100A	福井県	ブナ-ミズナラ群落	495	V	8								
50100A	長野県	ブナ-ミズナラ群落	528	V	8								
50100A	岐阜県	ブナ-ミズナラ群落	790	V	8								
50100A	愛知県	ブナ-ミズナラ群落	48	V	8								
50100A	滋賀県	ブナ-ミズナラ群落	89	V	8								
50100A	京都府	ブナ-ミズナラ群落	1	V	8								
50100A	奈良県	ブナ-ミズナラ群落	45	V	8								
50100A	和歌山県	ブナ-ミズナラ群落	1	V	8								
50100A	鳥取県	ブナ-ミズナラ群落	62	V	8								
50100A	島根県	ブナ-ミズナラ群落	52	V	8								
50100A	岡山県	ブナ-ミズナラ群落	14	V	8								
50100A	広島県	ブナ-ミズナラ群落	57	V	8								
50100A	愛媛県	ブナ-ミズナラ群落	21	V	8								
50100A	高知県	ブナ-ミズナラ群落	1	V	8								
50100A	福岡県	ブナ-ミズナラ群落	1	V	8								
50300	愛知県	クリ-ミズナラ群落	1	V	7								
50300A	北海道	クリ-ミズナラ群落	140	V	7								
50300A	岩手県	クリ-ミズナラ群落	867	V	7								
50300A	宮城県	クリ-ミズナラ群落	88	V	7								
50300A	秋田県	クリ-ミズナラ群落	651	V	7								
50300A	福島県	クリ-ミズナラ群落	1	V	7								
50300A	茨城県	クリ-ミズナラ群落	1	V	7								
50300A	栃木県	クリ-ミズナラ群落	465	V	7								
50300A	群馬県	クリ-ミズナラ群落	928	V	7								
50300A	神奈川県	クリ-ミズナラ群落	127	V	7								
50300A	石川県	クリ-ミズナラ群落	206	V	7								
50300A	福井県	クリ-ミズナラ群落	388	V	7								
50300A	山梨県	クリ-ミズナラ群落	773	V	7								
50300A	長野県	クリ-ミズナラ群落	970	V	7								
50300A	岐阜県	クリ-ミズナラ群落	565	V	7								
50300A	静岡県	クリ-ミズナラ群落	171	V	7								
50300A	滋賀県	クリ-ミズナラ群落	274	V	7								
50300A	京都府	クリ-ミズナラ群落	57	V	7								
50300A	兵庫県	クリ-ミズナラ群落	214	V	7								
50300A	鳥取県	クリ-ミズナラ群落	154	V	7								
50300A	島根県	クリ-ミズナラ群落	108	V	7								
50300A	岡山県	クリ-ミズナラ群落	106	V	7								
50300A	広島県	クリ-ミズナラ群落	345	V	7								
50300A	山口県	クリ-ミズナラ群落	15	V	7								
50300A	徳島県	クリ-ミズナラ群落	77	V	7								
50300A	愛媛県	クリ-ミズナラ群落	37	V	7								
50300A	高知県	クリ-ミズナラ群落	4	V	7								
50300A	佐賀県	クリ-ミズナラ群落	1	V	7								
50300B	埼玉県	ミズナラ-クリ群落	147	V	7		○						
50300B	東京都	ミズナラ-クリ群落	48	V	7		○						
50300B	兵庫県	ミズナラ-クリ群落	11	V	7		○						
50300B	高知県	ミズナラ-クリ群落	7	V	7		○						
50300D	滋賀県	シロモジ群集	115	V	7								
				シロモジ群集	シロモジ群集	50300D							

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群集コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群集名		
V	22	落葉広葉樹二次林	カシワ-ミズナラ群落		カシワ-ミズナラ群落	41702	島根県	カシワ群落		IV	9	○	○		
							岡山県	カシワ群落		1	IV	9	○	○	
						50200A	青森県	カシワ-ミズナラ群落		319	V	8			
							岩手県	カシワ-ミズナラ群落		20	V	8			
							福島県	カシワ-ミズナラ群落		13	V	8			
							群馬県	カシワ-ミズナラ群落		1	V	8			
							福井県	カシワ-ミズナラ群落			V	8			
							兵庫県	カシワ-ミズナラ群落			V	8			
							鳥取県	カシワ-ミズナラ群落			7	V	8		
							熊本県	カシワ-ミズナラ群落			15	V	8		
							大分県	カシワ-ミズナラ群落			2	V	8		
							鹿児島県	カシワ-ミズナラ群落				V	8		
							50200B	北海道	ミズナラ-カシワ-コナラ群落		890	V	8		○
							50200C	岡山県	カシワ群落			V	8		○
							50100B	秋田県	ウダイカンバ群落	ウダイカンバ群落		6	V	8	
							50300C	栃木県	リョウブ群落	リョウブ群落		12	V	7	
							50300F	山形県	コナラ群落	コナラ群落		1244	V	7	
							50300I	秋田県	クリ-ミズナラ群落及びカスミザクラ-コナラ群落	カスミザクラ-コナラ群落		1615	V	7	
							50302C	青森県	カスミザクラ-コナラ群落		446	V	7		
								福島県	カスミザクラ-コナラ群落		2089	V	7		
								新潟県	カスミザクラ-コナラ群落		2363	V	7		
								長野県	カスミザクラ-コナラ群落		1559	V	7		
							50400A	福島県	アカシデ-イヌシデ群落	アカシデ-イヌシデ群落		1	V	7	
								茨城県	アカシデ-イヌシデ群落		8	V	7		
								神奈川県	アカシデ-イヌシデ群落		10	V	7		
								福井県	アカシデ-イヌシデ群落		1	V	7		
								長野県	アカシデ-イヌシデ群落		9	V	7		
								岐阜県	アカシデ-イヌシデ群落		29	V	7		
								静岡県	アカシデ-イヌシデ群落		197	V	7		
								愛知県	アカシデ-イヌシデ群落		7	V	7		
								三重県	アカシデ-イヌシデ群落		114	V	7		
								滋賀県	アカシデ-イヌシデ群落		4	V	7		
								京都府	アカシデ-イヌシデ群落		32	V	7		
								奈良県	アカシデ-イヌシデ群落		40	V	7		
								和歌山県	アカシデ-イヌシデ群落		30	V	7		
								鳥取県	アカシデ-イヌシデ群落			V	7		
								島根県	アカシデ-イヌシデ群落		61	V	7		
								徳島県	アカシデ-イヌシデ群落		13	V	7		
								愛媛県	アカシデ-イヌシデ群落		83	V	7		
								福岡県	アカシデ-イヌシデ群落		22	V	7		
								佐賀県	アカシデ-イヌシデ群落		2	V	7		
							50400B	兵庫県	イヌシデ-アカシデ群落			V	7		○
								高知県	イヌシデ-アカシデ群落		6	V	7		○
							50400C	宮崎県	スズクエ-アカシデ群落		243	V	7		○
							72600C	宮崎県	シキミ-イヌシデ群落		2	V	7		○
							50403D	富山県	クマシデ群落	クマシデ群落		V	7		
								熊本県	クマシデ群落		1	V	7		
	50400E	大分県	クマシデ-コガクツギ群落	コガクツギ-クマシデ群落		57	V	7							
	50500A	北海道	シラカンバ群落	シラカンバ群落		3	V	7							
		岩手県	シラカンバ群落		40	V	7								
		秋田県	シラカンバ群落		2	V	7								
		福島県	シラカンバ群落		2	V	7								
		新潟県	シラカンバ群落			V	7								
		富山県	シラカンバ群落			V	7								
		福井県	シラカンバ群落			V	7								
		長野県	シラカンバ群落		46	V	7								
		岐阜県	シラカンバ群落		60	V	7								
	50501B	北海道	シラカンバ-ササ群落	ササ-シラカンバ群落		1377	V	7							
		青森県	シラカンバ-ササ群落		4	V	7		○						
		群馬県	シラカンバ-ササ群落		9	V	7		○						
	50502C	群馬県	シラカンバ-レンゲツツジ群落	レンゲツツジ-シラカンバ群落		5	V	7							
	50502D	山梨県	レンゲツツジ-シラカンバ群落		1	V	7		○						
	51700	熊本県	ハシドイ群落	ハシドイ群落		V	7								
	50600A	青森県	アカマツ群落	アカマツ群落		96	V	7							
		秋田県	アカマツ群落		55	V	7								
		福島県	アカマツ群落		370	V	7								
		群馬県	アカマツ群落		3	V	7								
		長野県	アカマツ群落		973	V	7								
		岐阜県	アカマツ群落		77	V	7								
		愛知県	アカマツ群落		2	V	7								
		滋賀県	アカマツ群落		58	V	7								
		兵庫県	アカマツ群落		1	V	7								
		和歌山県	アカマツ群落		1	V	7								
		鳥取県	アカマツ群落			V	7								
		岡山県	アカマツ群落		8	V	7								
		広島県	アカマツ群落		142	V	7								
	23	常緑針葉樹二次林	アカマツ群落		アカマツ群落										

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群落名	
V	23	常緑針葉樹二次林	アカマツ群落		アカマツ群落	50600A	山口県	アカマツ群落	7	V	7			
							福岡県	アカマツ群落		V	7			
							鹿児島県	アカマツ群落	1	V	7			
						50600B	山形県	アカマツ二次群落	142	V	7		○	
							宮崎県	シロモジ-リウツギ群落	3	IV	9	○	○	
	24	落葉広葉低木群落	リウツギ群落	ニシキウツギ-リウツギ群落	ニシキウツギ-リウツギ群落	50700A	福島県	ニシキウツギ-リウツギ群落	12	V	7			
							茨城県	ニシキウツギ-リウツギ群落		V	7			
							栃木県	ニシキウツギ-リウツギ群落	2	V	7			
							神奈川県	ニシキウツギ-リウツギ群落	1	V	7			
							山梨県	ニシキウツギ-リウツギ群落	17	V	7			
						静岡県	ニシキウツギ-リウツギ群落	77	V	7				
						鳥取県	ニシキウツギ-リウツギ群落		V	7				
						徳島県	ニシキウツギ-リウツギ群落	5	V	7				
50700A						岡山県	ニシキウツギ-リウツギ群落		V	7		○		
50700B						秋田県	タニウツギ-リウツギ群落	5	V	7				
50700C	兵庫県	リウツギ-タニウツギ群落	1	V	7		○							
50800B	大分県	リウツギ-ヤマカモジグサ群落	19	V	5		○							
50800A	鹿児島県	ツクシウツギ-リウツギ群落		V	5									
51009J	愛媛県	ススキ-ダイセンミツバツツジ群落		V	5									
25	二次草原	ササ群落	ダイセンミツバツツジ群落 ササ群落	ススキ-ダイセンミツバツツジ群落 ササ群落	ササ群落	50900A	北海道	ササ草原	653	V	5		○	
							青森県	ササ草原		V	5		○	
							福島県	ササ草原	28	V	5		○	
							群馬県	ササ草原		V	5		○	
							新潟県	ササ草原	10	V	5		○	
							富山県	ササ草原		V	5		○	
							石川県	ササ草原	2	V	5		○	
							福井県	ササ草原	4	V	5		○	
							長野県	ササ草原	15	V	5		○	
							岐阜県	ササ草原	18	V	5		○	
							静岡県	ササ草原	24	V	5		○	
							愛知県	ササ草原		V	5		○	
							三重県	ササ草原	4	V	5		○	
							滋賀県	ササ草原	4	V	5		○	
							京都府	ササ草原	3	V	5		○	
							奈良県	ササ草原	2	V	5		○	
							鳥取県	ササ草原	3	V	5		○	
							島根県	ササ草原	1	V	5		○	
							岡山県	ササ草原	4	V	5		○	
							広島県	ササ草原	2	V	5		○	
							山口県	ササ草原	1	V	5		○	
							愛媛県	ササ草原	1	V	5		○	
							高知県	ササ草原	18	V	5		○	
							大分県	ササ草原	5	V	5		○	
							50902C	北海道	チシマザサ-クマイザサ群落	1077	V	5		
								秋田県	チシマザサ-クマイザサ群落	27	V	5		
								山形県	チシマザサ-クマイザサ群落	2	V	5		
								栃木県	チシマザサ-クマイザサ群落	3	V	5		
								兵庫県	チシマザサ-クマイザサ群落	3	V	5		
								福岡県	チシマザサ-クマイザサ群落		V	5		
							50905F	青森県	チマキザサ群落	6	V	5		
								兵庫県	チマキザサ群落	4	V	5		
							50900E	北海道	スズタケ群落	1	V	5		
								東京都	スズタケ群落	1	V	5		
							50901B	北海道	ミヤコザサ群落	83	V	5		
								栃木県	ミヤコザサ群落	10	V	5		
								埼玉県	ミヤコザサ群落	17	V	5		
								岐阜県	ミヤコザサ群落	2	V	5		
								奈良県	ミヤコザサ群落		V	5		
								福岡県	ミヤコザサ群落		V	5		
								佐賀県	ミヤコザサ群落	2	V	5		
							50903D	神奈川県	ハコネダケ群落	3	V	5		
							51000A	青森県	ススキ群団	114	V	5		
								岩手県	ススキ群団	197	V	5		
								宮城県	ススキ群団	53	V	5		
								福島県	ススキ群団	159	V	5		
								茨城県	ススキ群団		V	5		
								栃木県	ススキ群団		V	5		
								群馬県	ススキ群団	5	V	5		
								新潟県	ススキ群団	25	V	5		
		石川県	ススキ群団	5	V	5								
		福井県	ススキ群団	6	V	5								
		長野県	ススキ群団	111	V	5								
		岐阜県	ススキ群団	12	V	5								
		静岡県	ススキ群団	61	V	5								
		三重県	ススキ群団	1	V	5								
		滋賀県	ススキ群団	4	V	5								

種生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次クシゅ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック(植生区分)	変更チェック(群落名)	
V	25	二次草原	ススキ群団		ススキ群団	51000A	京都府	ススキ群団		V	5			
							島根県	ススキ群団		V	5			
							岡山県	ススキ群団	21	V	5			
							広島県	ススキ群団	23	V	5			
							徳島県	ススキ群団	4	V	5			
							愛媛県	ススキ群団	1	V	5			
							福岡県	ススキ群団	2	V	5			
							熊本県	ススキ群団	2	V	5			
						51000B	北海道	ススキ草原	139	V	5			
							鳥取県	ススキ草原	7	V	5		○	
						51000C	山形県	ススキ群団	34	V	5		○	
						51000I	奈良県	ススキ群団, ススキー-ホクチアザミ群団	2	V	5		○	
						51800	秋田県	ススキ群団及びシバ群団	173	V	4		○	
						51001D	北海道	ススキー-エゾヤマハギ群団	1	V	5		○	
						51008	青森県	ノハナショウブ-ススキ群集	1	V	5			
						51002E	神奈川県	カワラマツバ-ススキ群団	9	V	5			
							山梨県	カワラマツバ-ススキ群団	141	V	5			
						51004K	東京都	ススキー-ヤマトラノオ群団	1	V	5		○	
						51003F	兵庫県	ススキー-ホクチアザミ群団	10	V	5		○	
							奈良県	ススキー-ホクチアザミ群団	1	V	5		○	
						51000H	長崎県	ススキー-キオン群団	2	V	5		○	
						51005C	大分県	ススキー-ミヤマキリシマ群団	5	V	5		○	
							鹿児島県	ススキー-ミヤマキリシマ群団	5	V	5		○	
						51100A	青森県	シバ群団	5	V	4			
							岩手県	シバ群団	87	V	4			
							新潟県	シバ群団	6	V	4			
							福井県	シバ群団	1	V	4			
							山梨県	シバ群団	2	V	4			
							長野県	シバ群団	17	V	4			
							熊本県	シバ群団	1	V	4			
						51100B	北海道	シバ草原	1	V	4		○	
							岡山県	シバ草原	1	V	4		○	
						50300H	栃木県	ヘビノネゴザ群団	1	V	7			
						51400A	北海道	伐跡群団	938	V	4		○	
							青森県	伐跡群団	11	V	4		○	
							岩手県	伐跡群団	68	V	4		○	
							宮城県	伐跡群団	2	V	4		○	
							秋田県	伐跡群団	217	V	4		○	
							山形県	伐跡群団	260	V	4		○	
							福島県	伐跡群団	789	V	4		○	
							栃木県	伐跡群団	57	V	4		○	
							群馬県	伐跡群団	13	V	4		○	
							埼玉県	伐跡群団	42	V	4		○	
							東京都	伐跡群団	1	V	4		○	
							神奈川県	伐跡群団	6	V	4		○	
							新潟県	伐跡群団	13	V	4		○	
							石川県	伐跡群団	4	V	4		○	
							山梨県	伐跡群団	48	V	4		○	
							長野県	伐跡群団	222	V	4		○	
							岐阜県	伐跡群団	226	V	4		○	
		静岡県	伐跡群団	41	V	4		○						
		滋賀県	伐跡群団	78	V	4		○						
		兵庫県	伐跡群団	2	V	4		○						
		奈良県	伐跡群団	54	V	4		○						
		鳥取県	伐跡群団	31	V	4		○						
		島根県	伐跡群団	1	V	4		○						
		徳島県	伐跡群団	4	V	4		○						
		熊本県	伐跡群団	15	V	4		○						
		大分県	伐跡群団	12	V	4		○						
		宮崎県	伐跡群団	1	V	4		○						
	51400D	富山県	伐跡群団	27	V	4		○						
		石川県	伐跡群団	1	V	4		○						
		福井県	伐跡群団	17	V	4		○						
	51400F	福岡県	伐跡群集	1	V	4		○						
	51400G	宮崎県	ナガハモミジイチゴ-クマイチゴ群団	28	V	4		○						
	51402B	北海道	タラノキ-クマイチゴ群団	1	V	4		○						
		青森県	タラノキ-クマイチゴ群団	57	V	4		○						
		岩手県	タラノキ-クマイチゴ群団	1	V	4		○						
		鳥取県	タラノキ-クマイチゴ群団	1	V	4		○						
		岡山県	タラノキ-クマイチゴ群団	270	V	4		○						
		広島県	タラノキ-クマイチゴ群団	297	V	4		○						
		徳島県	タラノキ-クマイチゴ群団	15	V	4		○						
	60900A	福島県	シラカシ群集	1	V	9								
		茨城県	シラカシ群集	1	V	9								
		埼玉県	シラカシ群集	2	V	9								
		東京都	シラカシ群集	2	V	9								
	VI	27	常緑広葉樹林	シラカシ群落	シラカシ群集	シラカシ群集	60900A	福島県	シラカシ群集	1	V	9		
		茨城県	シラカシ群集	1	V	9								
		埼玉県	シラカシ群集	2	V	9								
		東京都	シラカシ群集	2	V	9								



植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名									
VI	27	常緑広葉樹林	シラカシ群落	シラカシ群落	シラカシ群落	60900A	神奈川県	シラカシ群落		VI												
							福井県	シラカシ群落		VI												
							山梨県	シラカシ群落		VI												
							愛知県	シラカシ群落		VI												
							滋賀県	シラカシ群落		VI												
							京都府	シラカシ群落		VI												
							大阪府	シラカシ群落		VI												
							鳥取県	シラカシ群落		VI												
							島根県	シラカシ群落		VI												
							岡山県	シラカシ群落	3	VI												
							広島県	シラカシ群落	4	VI												
							山口県	シラカシ群落		VI												
							徳島県	シラカシ群落		VI												
							福岡県	シラカシ群落		VI												
							群馬県	シラカシ群落		VI												
							東京都	シラカシ・ケヤキ屋敷林	1	VI												
							65700	東京都	シラカシ・ケヤキ屋敷林	1	VI											
							60900C	宮崎県	ツクバネガシ-シラカシ群落	2	VI											
			アラカシ群落	アラカシ群落	アラカシ群落	アラカシ群落	アラカシ群落	60600A	群馬県	アラカシ群落		VI										
									埼玉県	アラカシ群落		VI										
									長野県	アラカシ群落	1	VI										
									岐阜県	アラカシ群落	2	VI										
									静岡県	アラカシ群落		VI										
									滋賀県	アラカシ群落	1	VI										
									京都府	アラカシ群落	3	VI										
									大阪府	アラカシ群落	5	VI										
									兵庫県	アラカシ群落	2	VI										
									奈良県	アラカシ群落		VI										
									岡山県	アラカシ群落	3	VI										
									広島県	アラカシ群落	4	VI										
									山口県	アラカシ群落	2	VI										
									香川県	アラカシ群落		VI										
									福岡県	アラカシ群落		VI										
									宮崎県	アラカシ群落	7	VI										
									鹿児島県	アラカシ群落	18	VI										
									60600A	愛知県	アラカシ群落	1	VI									
			ジャパヒゲ-アラカシ群落	ジャパヒゲ-アラカシ群落	ジャパヒゲ-アラカシ群落	ジャパヒゲ-アラカシ群落	ジャパヒゲ-アラカシ群落	60600A	愛知県	アラカシ群落	1	VI										
									60600B	大分県	アラカシ-ジャパヒゲ群落	37	VI									
									山口県	アラカシ-ナンテン群落	VI											
			ナンテン-アラカシ群落	ナンテン-アラカシ群落	ナンテン-アラカシ群落	ナンテン-アラカシ群落	ナンテン-アラカシ群落	60601	高知県	アラカシ-ナンテン群落	VI											
									熊本県	アラカシ-ナンテン群落	3	VI										
									大分県	アラカシ-ナンテン群落	VI											
			アカガシ群落	アカガシ群落	アカガシ群落	アカガシ群落	アカガシ群落	60401B	埼玉県	アカガシ群落		VI										
									石川県	アカガシ群落		VI										
									三重県	アカガシ群落	19	VI										
									香川県	アカガシ群落		VI										
									鹿児島県	アカガシ群落	1	VI										
									ミヤマシキミ-アカガシ群落	ミヤマシキミ-アカガシ群落	ミヤマシキミ-アカガシ群落	ミヤマシキミ-アカガシ群落	ミヤマシキミ-アカガシ群落	60404C	福岡県	アカガシ-ミヤマシキミ群落	11	VI				
															佐賀県	アカガシ-ミヤマシキミ群落	11	VI				
															長崎県	アカガシ-ミヤマシキミ群落	2	VI				
															熊本県	アカガシ-ミヤマシキミ群落	VI					
															大分県	アカガシ-ミヤマシキミ群落	3	VI				
			鹿児島県	アカガシ-ミヤマシキミ群落	1	VI																
			60404E	宮崎県	ミヤマシキミ-アカガシ群落	VI																
			ツクバネガシ群落	ツクバネガシ群落	ツクバネガシ群落	ツクバネガシ群落	ツクバネガシ群落	63600	滋賀県	ツクバネガシ群落		VI										
									ウラジロガシ群落	ウラジロガシ群落	ウラジロガシ群落	ウラジロガシ群落	60400A	宮城県	サカキ-ウラジロガシ群落		VI					
														埼玉県	サカキ-ウラジロガシ群落		VI					
神奈川県	サカキ-ウラジロガシ群落	1												VI								
山梨県	サカキ-ウラジロガシ群落	2												VI								
岐阜県	サカキ-ウラジロガシ群落	VI																				
静岡県	サカキ-ウラジロガシ群落	4												VI								
愛知県	サカキ-ウラジロガシ群落	VI																				
兵庫県	サカキ-ウラジロガシ群落	2												VI								
奈良県	サカキ-ウラジロガシ群落	4												VI								
和歌山県	サカキ-ウラジロガシ群落	48												VI								
鳥根県	サカキ-ウラジロガシ群落	3												VI								
岡山県	サカキ-ウラジロガシ群落	VI																				
広島県	サカキ-ウラジロガシ群落	2	VI																			
山口県	サカキ-ウラジロガシ群落	3	VI																			
徳島県	サカキ-ウラジロガシ群落	1	VI																			
愛媛県	サカキ-ウラジロガシ群落	9	VI																			
樹木県	ウラジロガシ-サカキ群落	ウラジロガシ-サカキ群落	ウラジロガシ-サカキ群落	ウラジロガシ-サカキ群落	60400B	熊本県	ウラジロガシ-サカキ群落		VI													
						兵庫県	ウラジロガシ-サカキ群落		VI													
						高知県	ウラジロガシ-サカキ群落	27	VI													
大分県	ウラジロガシ-サカキ群落	7	VI																			
60400C	福岡県	サカキ-ウラジロガシ群落	VI																			
ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	60300	新潟県	ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	1	VI													
						富山県	ヒメアオキ-ウラジロガシ群落	3	VI													

植生区分	大区 分 コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群 落 コ ード	都道府県 名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回 3次メ ッシュ 数	旧植 生区 分	自然 度 コード	変更 チェック 植生 区分	変更 チェック 群 落 名
VI	27	常緑広葉樹林	ウラボシ群	ヒメアオキ	ヒメアオキ	60300	石川県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60300	福井県	ヒメアオキ	8	VI	9		
					ヒメアオキ	60300	滋賀県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60300	京都府	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60300	兵庫県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	60300	鳥取県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60300	島根県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60300B	兵庫県	ウラボシ		VI	9		○
					ヒメアオキ	60401A	大阪府	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60401A	山口県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	60401A	福岡県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60401A	佐賀県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60401A	長崎県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60401A	熊本県	ヒメアオキ	17	VI	9		
					ヒメアオキ	60401A	宮崎県	ヒメアオキ	157	VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	鹿児島県	ヒメアオキ	86	VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	静岡県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	三重県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	奈良県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	福岡県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	鹿児島県	ヒメアオキ	4	VI	9		
					ヒメアオキ	60800A	宮崎県	ヒメアオキ	9	VI	9		○
					ヒメアオキ	60800B	三重県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60800B	島根県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60800B	長崎県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	60800B	熊本県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60800B	大分県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	60800B	宮崎県	ヒメアオキ	10	VI	9		
					ヒメアオキ	60800B	鹿児島県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	60800C	宮崎県	ヒメアオキ	73	VI	9		
					ヒメアオキ	60800D	宮崎県	ヒメアオキ	4	VI	9		○
					ヒメアオキ	66100	宮崎県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	61100B	大阪府	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61100	広島県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	63500	鹿児島県	ヒメアオキ	2	VI	9		○
					ヒメアオキ	43100B	長崎県	ヒメアオキ		IV	9		○
					ヒメアオキ	61312	東京都	ヒメアオキ	10	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000I	宮崎県	ヒメアオキ	162	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000A	静岡県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	愛知県	ヒメアオキ	3	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	京都府	ヒメアオキ	17	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	奈良県	ヒメアオキ	6	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	和歌山県	ヒメアオキ	22	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	岡山県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	広島県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	山口県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	徳島県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	愛媛県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	大分県	ヒメアオキ	28	VI	9		
					ヒメアオキ	61000A	鹿児島県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61000E	三重県	ヒメアオキ	30	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000F	岐阜県	ヒメアオキ		VI	9		○
					ヒメアオキ	61000F	徳島県	ヒメアオキ		VI	9		○
					ヒメアオキ	61300B	高知県	ヒメアオキ	1	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000B	滋賀県	ヒメアオキ	1	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000B	大阪府	ヒメアオキ		VI	9		○
					ヒメアオキ	61000B	兵庫県	ヒメアオキ	3	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000C	兵庫県	ヒメアオキ	2	VI	9		○
					ヒメアオキ	61000H	大分県	ヒメアオキ	12	VI	9		○
					ヒメアオキ	61300A	鳥取県	ヒメアオキ	4	VI	9		
					ヒメアオキ	61300A	徳島県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61300A	高知県	ヒメアオキ	3	VI	9		
					ヒメアオキ	61300A	鹿児島県	ヒメアオキ	348	VI	9		
					ヒメアオキ	61300A	熊本県	ヒメアオキ	1	VI	9		○
					ヒメアオキ	61300A	新西県	ヒメアオキ		VI	9		○
					ヒメアオキ	61300A	岐阜県	ヒメアオキ	1	VI	9		○
					ヒメアオキ	61301A	茨城県	ヒメアオキ	4	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	神奈川県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	富山県	ヒメアオキ		VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	石川県	ヒメアオキ	1	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	福井県	ヒメアオキ	20	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	静岡県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	愛知県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	島根県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	山口県	ヒメアオキ	2	VI	9		
					ヒメアオキ	61301A	福岡県	ヒメアオキ	2	VI	9		

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック	変更チェック
VI	27	常緑広葉樹林	スタジイ群落	ヤブコウジースタジイ群落	ヤブコウジースタジイ群落	61301A	佐賀県	ヤブコウジースタジイ群落	2	VI	9		
							宮崎県	ヤブコウジースタジイ群落	2	VI	9		
						61301B	茨城県	スタジイ-ヤブコウジ群落		VI	9		○
							埼玉県	スタジイ-ヤブコウジ群落		VI	9		○
							千葉県	スタジイ-ヤブコウジ群落	1	VI	9		○
							東京都	スタジイ-ヤブコウジ群落		VI	9		○
							長崎県	スタジイ-ヤブコウジ群落	4	VI	9		○
							大分県	スタジイ-ヤブコウジ群落	15	VI	9		○
						61301C	岐阜県	ヤブコウジースタジイ群落		VI	9		○
						61000D	兵庫県	シートキワイカリソウ群落	5	VI	9		○
						61316	兵庫県	スタジイ-シートキワイカリソウ群落		VI	9		○
						61304A	神奈川県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
							福井県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
							静岡県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
							和歌山県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
							島根県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
							山口県	ホソバカナワラビースタジイ群落	7	VI	9		
							福岡県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
							佐賀県	ホソバカナワラビースタジイ群落		VI	9		
						61304B	千葉県	スタジイ-ホソバカナワラビ群落	7	VI	9		○
							長崎県	スタジイ-ホソバカナワラビ群落	5	VI	9		○
						61303A	東京都	スタジイ-オオシマカンスゲ群落	13	VI	9		○
						61303B	東京都	噴火の被害が軽微なスタジイ-オオシマカンスゲ群落		VI	9		○
						61303C	東京都	噴火の被害が激甚なスタジイ林		VI	9		○
						61302A	静岡県	ミズバイースタジイ群落		VI	9		
							愛知県	ミズバイースタジイ群落	1	VI	9		
							大阪府	ミズバイースタジイ群落		VI	9		
							和歌山県	ミズバイースタジイ群落	4	VI	9		
							山口県	ミズバイースタジイ群落	2	VI	9		
							福岡県	ミズバイースタジイ群落	5	VI	9		
							佐賀県	ミズバイースタジイ群落	1	VI	9		
							熊本県	ミズバイースタジイ群落	7	VI	9		
							宮崎県	ミズバイースタジイ群落	55	VI	9		
							鹿児島県	ミズバイースタジイ群落	322	VI	9		
						61302B	三重県	スタジイ-ミズバイ群落	28	VI	9		○
							長崎県	スタジイ-ミズバイ群落		VI	9		○
						61302C	大分県	スタジイ-タイムンタチバナ群落	12	VI	9		○
						61310	鹿児島県	ヤクシマアジサイースタジイ群落	5	VI	9		
						60700	山口県	マテバシイ群落	1	VI	9		
							鹿児島県	マテバシイ群落	7	VI	9		
							神奈川県	マテバシイ群落		VI	9		
						61600	愛媛県	ホソバタブ群落		VI	9		
							熊本県	ホソバタブ群落		VI	9		
							宮崎県	ホソバタブ群落	3	VI	9		
							鹿児島県	ホソバタブ群落		VI	9		
							神奈川県	ホソバタブ群落	2	VI	9		
						63400	青森県	ヤブツバキ群落		VI	9		
							秋田県	ヤブツバキ群落		VI	9		
						63400B	青森県	ヤブツバキ林		VI	9		○
						61400A	岩手県	タブ群落		VI	9		○
							宮城県	タブ群落	1	VI	9		○
							山形県	タブ群落	1	VI	9		○
							東京都	タブ群落		VI	9		○
							福井県	タブ群落		VI	9		○
							愛知県	タブ群落	1	VI	9		○
							三重県	タブ群落		VI	9		○
							和歌山県	タブ群落	1	VI	9		○
							山口県	タブ群落	9	VI	9		○
							愛媛県	タブ群落	2	VI	9		○
							福岡県	タブ群落		VI	9		○
							鹿児島県	タブ群落	118	VI	9		○
							神奈川県	タブ群落	18	VI	9		○
						61400B	高知県	タブノキ群落	2	VI	9		○
						61400E	東京都	噴火の被害が激甚なタブ林		VI	9		○
						61400D	東京都	タブ-ハードノキ群落	1	VI	9		○
						61401A	秋田県	イノデ-タブ群落	1	VI	9		○
							神奈川県	イノデ-タブ群落	2	VI	9		○
							新潟県	イノデ-タブ群落		VI	9		○
							富山県	イノデ-タブ群落	1	VI	9		○
							石川県	イノデ-タブ群落		VI	9		○
							福井県	イノデ-タブ群落		VI	9		○
							山梨県	イノデ-タブ群落		VI	9		○
							静岡県	イノデ-タブ群落	2	VI	9		○
							滋賀県	イノデ-タブ群落		VI	9		○
							島根県	イノデ-タブ群落		VI	9		○
						61401B	茨城県	タブ-イノデ群落		VI	9		○

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群集コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック	植生区分	変更チェック	群集名					
VI	27	常緑広葉樹林	タブノキ群落	イノデ-タブノキ群集	イノデ-タブノキ群集	61401B	千葉県	タブ-イノデ群集		VI	9				○	イノデ-タブノキ群集				
							東京都	タブ-イノデ群集		VI	9			○	イノデ-タブノキ群集					
							熊本県	タブ-イノデ群集		VI	9			○	イノデ-タブノキ群集					
							大分県	タブ-イノデ群集		VI	9			○	イノデ-タブノキ群集					
							61400C	東京都	タブ-ヤブニッケイ群落	1	VI	9			○	ヤブニッケイ-タブノキ群落				
								茨城県	ムサシアブミ-タブ群落		VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								島根県	ムサシアブミ-タブ群落		VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								山口県	ムサシアブミ-タブ群落	1	VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								福岡県	ムサシアブミ-タブ群落	2	VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								佐賀県	ムサシアブミ-タブ群落		VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								宮崎県	ムサシアブミ-タブ群落	3	VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								鹿児島県	ムサシアブミ-タブ群落		VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落				
								61402B	長崎県	タブ-ムサシアブミ群集	1	VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群集			
									宮崎県	ムサシアブミ-タブ群落		VI	9			○	ムサシアブミ-タブノキ群落			
			61200A	愛知県	ホルトノキ群落		VI	9				○	ホルトノキ群落							
				和歌山県	ホルトノキ群落	1	VI	9				○	ホルトノキ群落							
				山口県	ホルトノキ群落		VI	9				○	ホルトノキ群落							
				徳島県	ホルトノキ群落		VI	9				○	ホルトノキ群落							
				高知県	ホルトノキ群落	2	VI	9				○	ホルトノキ群落							
				長崎県	ホルトノキ群落		VI	9				○	ホルトノキ群落							
				神奈川	ホルトノキ群落		VI	9				○	ホルトノキ群落							
				61200B	熊本県	ムクノキ-ホルトノキ群落		VI	9				○	カゴノキ群落						
					岐阜県	カゴノキ群落	1	VI	9				○	カゴノキ群落						
				61500	福岡県	カゴノキ群落	1	VI	9				○	カゴノキ群落						
			神奈川		カゴノキ群落	2	VI	9				○	カゴノキ群落							
			28	暖温帯針葉樹林	モミ群落	クスの群落	クスの群落	クスの群落	63700	鹿児島県	クスの群落		VI	9					○	クスの群落
										宮城県	モミ-シキミ群集	7	VI	9			○	シキミ-モミ群集		
										福島県	モミ-シキミ群集	17	VI	9			○	シキミ-モミ群集		
										茨城県	モミ-シキミ群集	2	VI	9			○	シキミ-モミ群集		
栃木県	モミ-シキミ群集									VI	9			○	シキミ-モミ群集					
埼玉県	モミ-シキミ群集									VI	9			○	シキミ-モミ群集					
千葉県	モミ-シキミ群集	12								VI	9			○	シキミ-モミ群集					
東京都	モミ-シキミ群集	4								VI	9			○	シキミ-モミ群集					
神奈川県	モミ-シキミ群集	3								VI	9			○	シキミ-モミ群集					
石川県	モミ-シキミ群集									VI	9			○	シキミ-モミ群集					
山梨県	モミ-シキミ群集									VI	9			○	シキミ-モミ群集					
長野県	モミ-シキミ群集	1								VI	9			○	シキミ-モミ群集					
岐阜県	モミ-シキミ群集	7								VI	9			○	シキミ-モミ群集					
静岡県	モミ-シキミ群集	7								VI	9			○	シキミ-モミ群集					
愛知県	モミ-シキミ群集	1				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
三重県	モミ-シキミ群集	17				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
滋賀県	モミ-シキミ群集	5				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
京都府	モミ-シキミ群集	5				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
大阪府	モミ-シキミ群集	1				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
兵庫県	モミ-シキミ群集	1				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
奈良県	モミ-シキミ群集	133				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
和歌山県	モミ-シキミ群集	8				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
島根県	モミ-シキミ群集	1				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
山口県	モミ-シキミ群集	1				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
岡山県	シキミ-モミ群集	4				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
広島県	シキミ-モミ群集	3				VI	9			○	シキミ-モミ群集									
60100G	石川県	モミ林					VI	9			○	シキミ-モミ群集								
60100A	徳島県	モミ-シキミ群集				26	VI	9			○	シキミ-モミ群集								
	高知県	モミ-シキミ群集				6	VI	9			○	シキミ-モミ群集								
	福岡県	モミ-シキミ群集		VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	佐賀県	モミ-シキミ群集		VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	長崎県	モミ-シキミ群集	5	VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	熊本県	モミ-シキミ群集	16	VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	大分県	モミ-シキミ群集	1	VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	宮崎県	モミ-シキミ群集	15	VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	鹿児島県	モミ-シキミ群集	11	VI	9			○	シキミ-モミ群集											
	60100B	愛媛県	シキミ-モミ群集	5	VI	9			○	シキミ-モミ群集										
		宮崎県	シキミ-モミ群集	26	VI	9			○	シキミ-モミ群集										
	60100H	宮崎県	コガクウツギ-モミ群集	44	VI	9			○	シキミ-モミ群集										
	65800	奈良県	ナギ群落	1	VI	9				○	ナギ群落									
		兵庫県	イヌマキ-ヒトツバ群落		VI	9				○	ヒトツバ-イヌマキ群落									
61800A	岩手県	アカマツ群落	410	VI	9				○	アカマツ群落										
	宮城県	アカマツ群落	51	VI	9				○	アカマツ群落										
	福島県	アカマツ群落	3	VI	9				○	アカマツ群落										
	茨城県	アカマツ群落	3	VI	9				○	アカマツ群落										
	群馬県	アカマツ群落		VI	9				○	アカマツ群落										
	千葉県	アカマツ群落		VI	9				○	アカマツ群落										
	石川県	アカマツ群落		VI	9				○	アカマツ群落										
	愛知県	アカマツ群落		VI	9				○	アカマツ群落										
	兵庫県	アカマツ群落	8	VI	9				○	アカマツ群落										
	大阪府	アカマツ群落	2	VI	9				○	アカマツ群落										
29	岩角地・海岸断崖地針葉樹林	アカマツ群落			アカマツ群落	61800A	兵庫県	イヌマキ-ヒトツバ群落		VI	9				○	イヌマキ-ヒトツバ群落				
							岩手県	アカマツ群落	410	VI	9				○	アカマツ群落				

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次/7次/9次	旧植生区分	自然度コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群落名
VI	29	岩角地・海岸断崖地針葉樹林	アカマツ群落		アカマツ群落	61800A	島根県	アカマツ群落	1	VI	9		
							愛媛県	アカマツ群落		VI	9		
							高知県	アカマツ群落	1	VI	9		
							福岡県	アカマツ群落	2	VI	9		
							長崎県	アカマツ群落	4	VI	9		
							熊本県	アカマツ群落	2	VI	9		
							宮崎県	アカマツ群落	1	VI	9		
							鹿児島県	アカマツ群落	7	VI	9		
							滋賀県	アカマツ-イスノキ群落		VI	9		○
							青森県	クロマツ群落	1	VI	9		
							岩手県	クロマツ群落	3	VI	9		
							宮城県	クロマツ群落	17	VI	9		
							福島県	クロマツ群落	1	VI	9		
							茨城県	クロマツ群落	3	VI	9		
							千葉県	クロマツ群落		VI	9		
	石川県	クロマツ群落		VI	9								
	兵庫県	クロマツ群落	16	VI	9								
	鳥取県	クロマツ群落		VI	9								
	島根県	クロマツ群落	9	VI	9								
	岡山県	クロマツ群落	1	VI	9								
	香川県	クロマツ群落	90	VI	9								
	佐賀県	クロマツ群落	3	VI	9								
	長崎県	クロマツ群落	1	VI	9								
	鹿児島県	クロマツ群落	9	VI	9								
	福岡県	ケヤキ群落	8	VI	9								
	新潟県	ケヤキ群落	9	VI	9								
	富山県	ケヤキ群落		VI	9								
	石川県	ケヤキ群落	50	VI	9								
	福井県	ケヤキ群落	8	VI	9								
	岐阜県	ケヤキ群落		VI	9								
三重県	ケヤキ群落		VI	9									
京都府	ケヤキ群落		VI	9									
奈良県	ケヤキ群落		VI	9									
鳥取県	ケヤキ群落	1	VI	9									
島根県	ケヤキ群落		VI	9									
岡山県	ケヤキ群落		VI	9									
広島県	ケヤキ群落	3	VI	9									
山口県	ケヤキ群落	3	VI	9									
愛媛県	ケヤキ群落	1	VI	9									
福岡県	ケヤキ群落		VI	9									
佐賀県	ケヤキ群落		VI	9									
長崎県	ケヤキ群落		VI	9									
宮崎県	ケヤキ群落		VI	9									
神奈川県	コクサギ-ケヤキ群落		VI	9									
60500A	60500A	長野県	ケヤキ群落	1	VI	9	○						
60501B	60501B	埼玉県	ケヤキ-イロハモミジ群落	7	VI	9	○						
		千葉県	ケヤキ-イロハモミジ群落	1	VI	9	○						
		東京都	ケヤキ-イロハモミジ群落	1	VI	9	○						
		神奈川県	ケヤキ-イロハモミジ群落	6	VI	9	○						
		山梨県	ケヤキ-イロハモミジ群落	3	VI	9	○						
		静岡県	ケヤキ-イロハモミジ群落	19	VI	9	○						
		大阪府	ケヤキ-イロハモミジ群落		VI	9	○						
		奈良県	ケヤキ-イロハモミジ群落		VI	9	○						
		福岡県	ケヤキ-イロハモミジ群落	2	VI	9	○						
		熊本県	ケヤキ-イロハモミジ群落	4	VI	9	○						
		宮崎県	イロハモミジ-ケヤキ群落	2	VI	9	○						
		滋賀県	ケヤキ-コウヤマキ群落	2	VI	9	○						
		60500C	60500C	滋賀県	ケヤキ-ムクノキ群落		VI	9					
		60500F	60500F	山口県	エノキ-ムクノキ群落	1	VI	9	○				
		60501B	60501B	愛知県	ケヤキ-イロハモミジ群落		VI	9	○				
		60500E	60500E	宮崎県	ムクノキ-エノキ群落		VI	9					
		60500I	60500I	佐賀県	ミズキ-ウリノキ群落		VI	9	○				
				長崎県	ミズキ-ウリノキ群落		VI	9	○				
30	落葉広葉樹林	ケヤキ群落		ケヤキ群落	60500A	福岡県	ケヤキ群落	8	VI	9			
						新潟県	ケヤキ群落	9	VI	9			
						富山県	ケヤキ群落		VI	9			
						石川県	ケヤキ群落	50	VI	9			
						福井県	ケヤキ群落	8	VI	9			
						岐阜県	ケヤキ群落		VI	9			
						三重県	ケヤキ群落		VI	9			
						京都府	ケヤキ群落		VI	9			
						奈良県	ケヤキ群落		VI	9			
						鳥取県	ケヤキ群落	1	VI	9			
						島根県	ケヤキ群落		VI	9			
						岡山県	ケヤキ群落		VI	9			
						広島県	ケヤキ群落	3	VI	9			
						山口県	ケヤキ群落	3	VI	9			
						愛媛県	ケヤキ群落	1	VI	9			
福岡県	ケヤキ群落		VI	9									
佐賀県	ケヤキ群落		VI	9									
長崎県	ケヤキ群落		VI	9									
宮崎県	ケヤキ群落		VI	9									
60500J	60500J	神奈川県	コクサギ-ケヤキ群落		VI	9							
60500A	60500A	長野県	ケヤキ群落	1	VI	9	○						
60501B	60501B	埼玉県	ケヤキ-イロハモミジ群落	7	VI	9	○						
		千葉県	ケヤキ-イロハモミジ群落	1	VI	9	○						
		東京都	ケヤキ-イロハモミジ群落	1	VI	9	○						
		神奈川県	ケヤキ-イロハモミジ群落	6	VI	9	○						
		山梨県	ケヤキ-イロハモミジ群落	3	VI	9	○						
		静岡県	ケヤキ-イロハモミジ群落	19	VI	9	○						
		大阪府	ケヤキ-イロハモミジ群落		VI	9	○						
		奈良県	ケヤキ-イロハモミジ群落		VI	9	○						
		福岡県	ケヤキ-イロハモミジ群落	2	VI	9	○						
		熊本県	ケヤキ-イロハモミジ群落	4	VI	9	○						
		宮崎県	イロハモミジ-ケヤキ群落	2	VI	9	○						
		滋賀県	ケヤキ-コウヤマキ群落	2	VI	9	○						
		60500C	60500C	滋賀県	ケヤキ-ムクノキ群落		VI	9					
		60500F	60500F	山口県	エノキ-ムクノキ群落	1	VI	9	○				
		60501B	60501B	愛知県	ケヤキ-イロハモミジ群落		VI	9	○				
		60500E	60500E	宮崎県	ムクノキ-エノキ群落		VI	9					
		60500I	60500I	佐賀県	ミズキ-ウリノキ群落		VI	9	○				
				長崎県	ミズキ-ウリノキ群落		VI	9	○				
31	沼沢林	ハンノキ群落		ハンノキ群落	62100A	茨城県	ハンノキ群落		VI	9			
						群馬県	ハンノキ群落		VI	9			
						埼玉県	ハンノキ群落		VI	9			
						千葉県	ハンノキ群落	1	VI	9			
						東京都	ハンノキ群落		VI	9			
						神奈川県	ハンノキ群落		VI	9			
						新潟県	ハンノキ群落		VI	9			
						石川県	ハンノキ群落		VI	9			
						福井県	ハンノキ群落		VI	9			
						三重県	ハンノキ群落		VI	9			
						滋賀県	ハンノキ群落		VI	9			
						兵庫県	ハンノキ群落	1	VI	9			
						島根県	ハンノキ群落		VI	9			

植生区分	大区 分 コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落 コード	都道府県 名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回 3次メ ッシュ数	旧植 生区 分	自然 度 コード	変更 チェック 群生 区分	変更 チェック 群生 名														
VI	31	沼沢林	ハンノキ群落		ハンノキ群落	62100A	佐賀県	ハンノキ群落		VI	9																
							長崎県	ハンノキ群落		VI	9																
							大分県	ハンノキ群落		VI	9																
							宮崎県	ハンノキ群落		VI	9																
							宮崎県	ハンノキ林		VI	9		○														
							茨城県	クスギ群落		65500	茨城県	クスギ群落		1	VI	9											
										75500	宮崎県	河辺落葉高木群落			Ⅷ	7	○	○									
							32	河辺林	ヤナギ高木群落		河辺林	62200A	福岡県	河辺ヤナギ低木群落		VI	9										
												福岡県	河辺ヤナギ低木群落		VI	9											
												和歌山県	河辺ヤナギ群落		VI	9											
												岩手県	河辺ヤナギ低木群落		23	VI	9										
												宮崎県	河辺ヤナギ低木群落		24	VI	9										
												福島県	河辺ヤナギ低木群落		5	VI	9										
												茨城県	河辺ヤナギ低木群落		3	VI	9										
												栃木県	河辺ヤナギ低木群落		6	VI	9										
												群馬県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												埼玉県	河辺ヤナギ低木群落		2	VI	9										
												千葉県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												東京都	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												新潟県	河辺ヤナギ低木群落		2	VI	9										
												富山県	河辺ヤナギ低木群落		7	VI	9										
												石川県	河辺ヤナギ低木群落		1	VI	9										
												山梨県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												岐阜県	河辺ヤナギ低木群落		15	VI	9										
												静岡県	河辺ヤナギ低木群落		2	VI	9										
												愛知県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												三重県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												滋賀県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												徳島県	河辺ヤナギ低木群落		2	VI	9										
												佐賀県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												熊本県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												大分県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												宮崎県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												鹿児島県	河辺ヤナギ低木群落			VI	9										
												62200B	高知県	河辺低木林		1	VI	9									
													熊本県	河辺低木林			VI	9									
												62200F	島根県	河辺ヤナギ低木林			VI	9									
													宮崎県	河辺ヤナギ低木林			VI	9									
												62200G	宮崎県	河辺低木ヤナギ群落		1	VI	9									
												62200H	宮崎県	河辺低木群落			VI	9									
												62201C	神奈川県	ネコヤナギ-タチヤナギ群落			VI	9									
												62201C	山口県	ネコヤナギ群落			VI	9									
												62201C	福岡県	ネコヤナギ-タチヤナギ群落			VI	9									
												62202D	島根県	カワラハンノキ群落			VI	9									
													山口県	カワラハンノキ群落			VI	9									
												62000	愛知県	フサザクラ群団			1	VI	9								
												62000A	栃木県	フサザクラ群団				VI	9								
													埼玉県	フサザクラ群団			2	VI	9								
													滋賀県	フサザクラ群団			9	VI	9								
													宮崎県	フサザクラ群団			2	VI	9								
												75300	宮崎県	フサザクラ群落				Ⅷ	7			○					
												43400	東京都	フサザクラ-タマアジサイ群落				IV	01			○	○				
												43400B	山梨県	タマアジサイ-フサザクラ群落, ヤシヤブシ群落			2	IV	01			○	○				
												62000B	千葉県	フサザクラ-タマアジサイ群落			3	VI	9								
												62200E	長崎県	アキニレ群落				VI	9								
												52200	宮崎県	カナクノキ-ツクシヤブツギ群落			2	V	7			○	○				
												52300	宮崎県	ヤマヤナギ-ツクシヤブツギ群団			14	V	7			○	○				
												81602	東京都	オオバヤシヤブシ-ニオイツギ群落			6	Ⅷ	9								
												62000D	東京都	オオバヤシヤブシ-ラセイトアマアジサイ群落			7	VI	9								
												83300	東京都	オオバヤシヤブシ-ハチジョウスキ群落			3	Ⅷ	01			○	○				
												62000C	東京都	ラセイトアマアジサイ-ガクアジサイ群落			2	VI	9								
												83100	東京都	アカメガシワ-カニクサ群落				Ⅷ	01			○	○				
												80800A	愛知県	ハマボウ群落				Ⅷ	01			○	○				
													和歌山県	ハマボウ群落				Ⅷ	01			○	○				
													宮崎県	ハマボウ群落				Ⅷ	01			○	○				
													鹿児島県	ハマボウ群落				Ⅷ	01			○	○				
												34	海岸風衝低木群落	トベラ群落	マサキートベラ群落	マサキートベラ群落	61702A	神奈川県	マサキートベラ群落		1	VI	9				
																	新潟県	マサキートベラ群落		1	VI	9					
																	富山県	マサキートベラ群落		1	VI	9					
																	福井県	マサキートベラ群落		2	VI	9					
																	静岡県	マサキートベラ群落		3	VI	9					
																	愛知県	マサキートベラ群落		2	VI	9					
																	鳥取県	マサキートベラ群落			VI	9					
																	島根県	マサキートベラ群落		20	VI	9					
																	山口県	マサキートベラ群落		133	VI	9					
																	福岡県	マサキートベラ群落		2	VI	9					
																		佐賀県	マサキートベラ群落			VI	9				

種生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名					
VI	34	海岸風衝低木群落	トベラ群落	マサキートベラ群落	マサキートベラ群落	61702A	長崎県	マサキートベラ群落	4	VI	9							
							熊本県	マサキートベラ群落	2	VI	9							
							宮崎県	マサキートベラ群落	11	VI	9							
							鹿児島県	マサキートベラ群落	7	VI	9							
							千葉県	トベラマサキ群落	1	VI	9							
						61702B	東京都	トベラマサキ群落	13	VI	9		○					
							高知県	トベラマサキ群落	9	VI	9		○					
						ウバメガシ群落	ウバメガシ群落	ウバメガシ群落	61703A	新潟県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	VI	9					
										61700A	和歌山県	ウバメガシ群落	23	VI	9			
											徳島県	ウバメガシ群落	24	VI	9			
			香川県	ウバメガシ群落	8						VI	9						
			愛媛県	ウバメガシ群落	83						VI	9						
			61701A	鹿児島県	ウバメガシ群落				63	VI	9							
				沖縄県	ウバメガシ群落				VI	9								
				静岡県	ウバメガシ-トベラ群落				3	VI	9		○					
				愛知県	ウバメガシ-トベラ群落				4	VI	9		○					
				三重県	ウバメガシ-トベラ群落				48	VI	9		○					
				大府府	ウバメガシ-トベラ群落				VI	9		○						
			トベラ-ウバメガシ群落	トベラ-ウバメガシ群落	トベラ-ウバメガシ群落				61701B	兵庫県	ウバメガシ-トベラ群落	7	VI	9		○		
										岡山県	ウバメガシ-トベラ群落	1	VI	9		○		
										山口県	ウバメガシ-トベラ群落	1	VI	9		○		
										高知県	ウバメガシ-トベラ群落	34	VI	9		○		
						熊本県	ウバメガシ-トベラ群落	1		VI	9		○					
						大分県	ウバメガシ-トベラ群落	19		VI	9		○					
						鹿児島県	ウバメガシ-トベラ群落	VI		9		○						
広島県	トベラ-ウバメガシ群落	3				VI	9											
宮崎県	トベラ-ウバメガシ群落	VI				9												
ハマビワ群落	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	オニヤブソテツ-ハマビワ群落				61703A	島根県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落		2	VI	9						
			山口県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	5		VI	9										
			福岡県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	9		VI	9										
			佐賀県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	VI		9											
			熊本県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	7		VI	9										
			61703B	宮崎県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	VI	9											
				鹿児島県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	42	VI	9										
				沖縄県	オニヤブソテツ-ハマビワ群落	2	VI	9										
				高知県	ハマビワ-オニヤブソテツ群落	2	VI	9		○								
				長崎県	ハマビワ-オニヤブソテツ群落	152	VI	9		○								
61706	大分県	ハマビワ-オニヤブソテツ群落	11	VI	9		○											
35	亜熱帯常緑広葉樹林	亜熱帯常緑広葉樹林(陸起石灰岩上)	ボチョウジ-スダジイ群団	ボチョウジ-スダジイ群団	ボチョウジ-スダジイ群団	61700C	長崎県	マルバニッケイ群落	VI	9								
							沖縄県	マルバニッケイ群落	1	VI	9							
							長崎県	モクダチバナ群落	3	VI	9							
							長崎県	モクダチバナ群落	3	VI	9							
							鹿児島県	リュウキュウアオキ-スダジイ群落	219	VI	9		○					
							沖縄県	リュウキュウアオキ-スダジイ群落	324	VI	9		○					
							61306	鹿児島県	アマミテンナンショウ-スダジイ群落	8	VI	9						
							61307	鹿児島県	ケハダリミノキ-スダジイ群落	VI	9							
							沖縄県	ケハダリミノキ-スダジイ群落	VI	9								
							61309	鹿児島県	アオバナハイノキ-スダジイ群落	VI	9							
						鹿児島県		アオバナハイノキ-スダジイ群落	VI	9								
						61311		鹿児島県	オキナワウラジロガシ群落	1	VI	9						
						沖縄県		オキナワウラジロガシ群落	15	VI	9							
						60405D		沖縄県	イワヤナギシダ-イソノキ群落	VI	9		○					
						61308	沖縄県	オキナワシキミ-スダジイ群落	VI	9								
							沖縄県	オキナワシキミ-スダジイ群落	VI	9								
							61314	沖縄県	ケナガエサカキ-スダジイ群落	223	VI	9						
							61315	沖縄県	ヤワラケガキ-スダジイ群落	VI	9		○					
							61315B	沖縄県	ヤワラケガキ-スダジイ群落	VI	9		○					
							62400A	高知県	ピロウ群落	VI	9							
								長崎県	ピロウ群落	1	VI	9						
						宮崎県		ピロウ群落	2	VI	9							
						62400B	鹿児島県	ピロウ群落、ヤエキヤマヤシ群落	4	VI	9		○					
						62400C	大分県	ピロウ群落、ヤシ群落	VI	9		○						
						62400B	沖縄県	ピロウ群落、ヤエキヤマヤシ群落	11	VI	9		○					
ハスノハギリ群落	ハスノハギリ群落	ハスノハギリ群落	65300	沖縄県	ハスノハギリ群落	9	VI	9										
				64300	東京都	ハスノハギリ-モモタマナ群落	4	VI	9									
				64400	東京都	モモタマナ-ハスノハギリ群落	1	VI	9		○							
				64400	東京都	テリハボク-モモタマナ群落	1	VI	9		○							
				64000	東京都	シマホルトノキ-ウツノキ群落	1	VI	9		○							
				66200	東京都	モクダチバナ-テリハコブガシ群落	VI	9										
				64200	東京都	セキモンノキ-モクダチバナ群落	1	VI	9		○							
				63900	東京都	ムニヒメツバキ-シマオオタニワタリ群落	1	VI	9		○							
				63800	東京都	コブガシ-ムニヒメツバキ群落	5	VI	9		○							
				63800	東京都	コクモウクジャク-コブガシ群落	9	VI	9		○							
マルハチ群落	マルハチ群落	マルハチ群落	66000	東京都	チギ-オオバシロテツ群落	6	VI	9		○								
				67100	東京都	マルハチ群落	1	VI	9		○							
				62500A	鹿児島県	ナガミボチョウジ-クスノハカエデ群落	2	VI	9									
					沖縄県	ナガミボチョウジ-クスノハカエデ群落	41	VI	9									
				62500B	沖縄県	リュウキュウガキ-ナガミボチョウジ群落	16	VI	9		○							

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名	
VI	36	亜熱帯常緑広葉樹林(陸起石灰岩上)			ガジュマル-クロヨナ群集	62800	鹿児島県	ガジュマル-クロヨナ群集	1	VI	9			
						62900	沖縄県	ガジュマル-クロヨナ群集	21	VI	9			
						60602	鹿児島県	アカギ群落	13	VI	9			
						60602	鹿児島県	アマミアラカシ群落	2	VI	9			
	37	亜熱帯湿生林(マングロープ林)				セキモンウライソウ-オガサワラボショウ群集	64100	東京都	オガサワラボショウ-セキモンウライソウ群集		VI	9		○
							80700E	長崎県	ハマジンショウ群落	1	VII	01	○	
							62600	熊本県	ハマジンショウ群落		VI	9		
							62600	鹿児島県	マングロープ群落		VI	9		
							62600	沖縄県	マングロープ群落	7	VI	9		
							63100	鹿児島県	サガリバナ-サキシマスオウノキ群落	1	VI	9		
							63100B	沖縄県	サガリバナ-サキシマスオウノキ群落		VI	9		
							63100B	鹿児島県	サガリバナ-サキシマスオウノキ群落		VI	9		
	38	亜熱帯常緑針葉樹林				リュウキュウマツ群落	63200	沖縄県	リュウキュウマツ群落	182	VI	9		
							62300	宮崎県	ソテツ群落		VI	9		
	39	亜熱帯低木群落				ソテツ群落	62300	鹿児島県	ソテツ群落	53	VI	9		
							80800B	東京都	オオハマボク群集	2	VI	9		
							82800	鹿児島県	アダン-オオハマボク群落	19	VII	01	○	
							82300E	東京都	アダン-オオハマボク群落	56	VII	01	○	
							81402	鹿児島県	クサトベラ群集	6	VII	01	○	
							81402B	東京都	クサトベラ群落	2	VII	01	○	
							64700	東京都	ワダンノキ群集		VI	9		
							65900	東京都	ヒサカキ-ガクアジサイ群落		VI	9		
							64600	東京都	トキワイヌビワ群落		VI	9		
							64500	東京都	タコノキ群落	2	VI	9		
							64500	東京都	タコノキ-オガサワラビロウ群集	4	VI	9		
							65000	東京都	シマイスノキ-コバノアカテツ群集	7	VI	9		
							64800	東京都	ムニンアオガビ-コバノアカテツ群集	8	VI	9		
							64800	東京都	アカテツ群落		VI	9		
							64800	東京都	センダン群落		VI	9		
							83600	東京都	トゲミウドノキ群落		VII	01	○	
	VII	40	常緑広葉樹二次林			シイ・カシ二次林	70200A	千葉県	シイ・カシ萌芽林	307	VII	8		○
							70200A	神奈川県	シイ・カシ萌芽林	2	VII	8		
							70200A	福井県	シイ・カシ萌芽林	16	VII	8		
							70200A	静岡県	シイ・カシ萌芽林	123	VII	8		
70200A							愛知県	シイ・カシ萌芽林	17	VII	8			
70200A							三重県	シイ・カシ萌芽林	628	VII	8			
70200A							奈良県	シイ・カシ萌芽林	13	VII	8			
70200A							和歌山県	シイ・カシ萌芽林	683	VII	8			
70200A							鳥取県	シイ・カシ萌芽林		VII	8			
70200A							島根県	シイ・カシ萌芽林	456	VII	8			
70200A							山口県	シイ・カシ萌芽林	112	VII	8			
70200A							徳島県	シイ・カシ萌芽林	162	VII	8			
70200A							愛媛県	シイ・カシ萌芽林	86	VII	8			
70200A							高知県	シイ・カシ萌芽林	1446	VII	8			
70200A							福岡県	シイ・カシ萌芽林	334	VII	8			
70200A							佐賀県	シイ・カシ萌芽林	270	VII	8			
70200A							長崎県	シイ・カシ萌芽林	1245	VII	8			
70200A							熊本県	シイ・カシ萌芽林	814	VII	8			
70200A							大分県	シイ・カシ萌芽林	510	VII	8			
70200A							宮崎県	シイ・カシ萌芽林	25	VII	8			
70200A							鹿児島県	シイ・カシ萌芽林	417	VII	8			
70200A							沖縄県	シイ・カシ萌芽林	26	VII	8			
70200C							宮崎県	シイ・カシ萌芽林	582	VII	7			
74200							千葉県	ケヤキ-シラカシ群落	7	VII	7			
72400							長崎県	アカガシ二次林	5	VII	8			
70200D							東京都	シダジイ二次林	35	VII	8			
70200E							東京都	噴火の被害が軽微なシイ萌芽林		VII	8			
70200F							東京都	噴火の被害が激甚なシイ萌芽林	1	VII	8			
70203A							福井県	タブノキ-ヤブニッケイ幼木林		VII	8			
70203A							和歌山県	タブノキ-ヤブニッケイ幼木林	35	VII	8			
70203A							山口県	タブノキ-ヤブニッケイ幼木林	27	VII	8			
70203A							福岡県	タブノキ-ヤブニッケイ幼木林	3	VII	8			
70203A							沖縄県	タブノキ-ヤブニッケイ幼木林		VII	8			
70203B							高知県	タブノキ-ヤブニッケイ幼木林	28	VII	8			
70203C							東京都	タブノキ-ヤブニッケイ萌芽林	12	VII	8			
70203D							宮崎県	ヤブニッケイ-タブ群落	3	VII	8			
75200							福岡県	ヤブニッケイ-ヤマヤブソテツ群集		VII	8			
75200							東京都	ヒサカキ二次低木林		VII	5			
70201A							福岡県	ハクサンボク-マテバシ群落	5	VII	8			
70201A							佐賀県	ハクサンボク-マテバシ群落	3	VII	8			
70201A	宮崎県	ハクサンボク-マテバシ群落	9	VII	8									
70201A	鹿児島県	ハクサンボク-マテバシ群落	130	VII	8									
70201B	長崎県	マテバシ-ハクサンボク群落	61	VII	8									



植生区分	大区 分 コ ー ド	大区分	中区分	細区分	凡例名	群 落 コ ー ド	都道府県 名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回 3次メ ッシュ 数	旧植 生区 分	自然 度 コ ー ド	変更 チェッ ク 植生 区分	変更 チェッ ク 群 落 名				
VII	40	常緑広葉樹二次林	マサキートベラ二次林		マサキートベラ二次林	74800	東京都	トベラマサキ萌芽林	11	VI	7		○				
			ウバメガシ二次林		ウバメガシ二次林	72200	大阪府	ウバメガシ萌芽林	1	VI	8		○				
	41	落葉広葉樹二次林	コナラ群落		コナラ群落	70100A	岩手県	コナラ群落	3109	VI	7		○				
						宮城県	コナラ群落	1670	VI	7		○					
						福島県	コナラ群落	1311	VI	7		○					
						茨城県	コナラ群落	6	VI	7		○					
						栃木県	コナラ群落	650	VI	7		○					
						千葉県	コナラ群落	469	VI	7		○					
						神奈川県	コナラ群落	197	VI	7		○					
						新潟県	コナラ群落	168	VI	7		○					
						富山県	コナラ群落	481	VI	7		○					
						石川県	コナラ群落	962	VI	7		○					
						福井県	コナラ群落	521	VI	7		○					
						長野県	コナラ群落	18	VI	7		○					
						岐阜県	コナラ群落	730	VI	7		○					
						静岡県	コナラ群落	561	VI	7		○					
						滋賀県	コナラ群落	3	VI	7		○					
						京都府	コナラ群落	1066	VI	7		○					
						兵庫県	コナラ群落	949	VI	7		○					
						奈良県	コナラ群落	2	VI	7		○					
						和歌山県	コナラ群落	210	VI	7		○					
						鳥取県	コナラ群落	456	VI	7		○					
						島根県	コナラ群落	2211	VI	7		○					
						岡山県	コナラ群落	1125	VI	7		○					
						広島県	コナラ群落	849	VI	7		○					
						山口県	コナラ群落	56	VI	7		○					
						徳島県	コナラ群落	178	VI	7		○					
						高知県	コナラ群落	312	VI	7		○					
						福岡県	コナラ群落	118	VI	7		○					
						佐賀県	コナラ群落		VI	7		○					
						熊本県	コナラ群落	193	VI	7		○					
						大分県	コナラ群落	128	VI	7		○					
						宮崎県	コナラ群落	42	VI	7		○					
						鹿児島県	コナラ群落	7	VI	7		○					
						70106	岐阜県	コナラノグルミ群落		コナラノグルミ群落		5	VI	7		○	
							香川県	コナラノグルミ群落		コナラノグルミ群落		3	VI	7		○	
							福岡県	コナラノグルミ群落		コナラノグルミ群落		3	VI	7		○	
						70104	茨城県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		83	VI	7		○	
								群馬県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		85	VI	7		○
								埼玉県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		300	VI	7		○
神奈川県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		17			VI	7		○						
岐阜県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		340			VI	7		○						
愛知県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		199			VI	7		○						
佐賀県	コナラクリ群落		コナラクリ群落		1			VI	7		○						
70104B	東京都	コナラクリ群集		コナラクリ群集				57	VI	7		○					
70100A	愛媛県	コナラ群落		コナラ群落				248	VI	7		○					
70100C	三重県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落				42	VI	7		○					
70101A	茨城県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		307	VI	7		○							
		群馬県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		160	VI	7		○						
		埼玉県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		11	VI	7		○						
		神奈川県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		71	VI	7		○						
		山梨県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		390	VI	7		○						
		岐阜県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		2	VI	7		○						
		滋賀県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		137	VI	7		○						
		京都府	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落			VI	7		○						
		奈良県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		121	VI	7		○						
		香川県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		87	VI	7		○						
愛媛県	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		16	VI	7		○								
熊本市	クスギコナラ群落		クスギコナラ群落		33	VI	7		○								
70101C	東京都	コナラクスギ群集		コナラクスギ群集		42	VI	7		○							
70103	東京都	コナラオニシバリ群集		コナラオニシバリ群集		1	VI	7		○							
70103B	神奈川県	オニシバリコナラ群集		オニシバリコナラ群集		47	VI	7		○							
70106	長崎県	コナラノグルミ群落		コナラノグルミ群落		262	VI	7		○							
72100	大阪府	ヤブムラサキコナラ群集		ヤブムラサキコナラ群集		62	VI	7		○							
72100B	大阪府	ヤブムラサキコナラ群集		ヤブムラサキコナラ群集		2	VI	7		○							
●	長崎県	ヒツバタゴ群落		ヒツバタゴ群落			VI	7		○							
70106B	佐賀県	クスギ群落		クスギ群落			VI	7		○							
	長崎県	クスギ群落		クスギ群落			VI	7		○							
	大分県	クスギ群落		クスギ群落		575	VI	7		○							
	宮崎県	クスギ群落		クスギ群落			VI	7		○							
70100B	香川県	アベマキ群落		アベマキ群落		2	VI	7		○							
72600	埼玉県	アカシデイヌシデ群落		アカシデイヌシデ群落		2	VI	7		○							
72600B	奈良県	イヌシデアカシデ群落		イヌシデアカシデ群落			VI	7		○							
73600	東京都	イヌシデ群落		イヌシデ群落			VI	7		○							
70202A	東京都	オオハエゴノキオオシマザラ群集		オオハエゴノキオオシマザラ群集		49	VI	8		○							

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群落名		
Ⅷ	41	落葉広葉樹二次林	オオシマザクラ群落	オオバエゴノキ-オオシマザクラ群集	オオバエゴノキ-オオシマザクラ群集	70202B	東京都	噴火の被害が軽微なオオシマザクラ-オオバエゴノキ群集		Ⅷ	8		○		
						70202C	東京都	噴火の被害が激甚なオオシマザクラ-オオバエゴノキ群集	1	Ⅷ	8		○		
						72700	千葉県	オオバヤシヤブシ群落		Ⅷ	7				
						72700B	東京都	オオバヤシヤブシ二次林	10	Ⅷ	7		○		
						72700C	東京都	オオバヤシヤブシ-ニオイウツギ群集	8	Ⅷ	7		○		
						72700D	東京都	噴火の被害が軽微なオオバヤシヤブシ二次林		Ⅷ	7		○		
		42	常緑針葉樹二次林	アカマン群落			アカマン群落	70101D	鳥取県	アカマツ-コナラ群落	59	Ⅷ	7		○
									鳥取県	アカマツ-コナラ群落	1	Ⅷ	7		○
								71000A	福島県	アカマツ群落	644	Ⅷ	7		
									石川県	アカマツ群落	52	Ⅷ	7		
									福井県	アカマツ群落	483	Ⅷ	7		
									長野県	アカマツ群落	3	Ⅷ	7		
	岐阜県								アカマツ群落	87	Ⅷ	7			
	静岡県								アカマツ群落	14	Ⅷ	7			
	三重県								アカマツ群落	200	Ⅷ	7			
	京都府								アカマツ群落	1341	Ⅷ	7			
	大阪府								アカマツ群落	4	Ⅷ	7			
	兵庫県								アカマツ群落	29	Ⅷ	7			
	鳥取県								アカマツ群落	126	Ⅷ	7			
	鳥取県								アカマツ群落	49	Ⅷ	7			
	山口県								アカマツ群落	4	Ⅷ	7			
	徳島県								アカマツ群落	712	Ⅷ	7			
	香川県								アカマツ群落	571	Ⅷ	7			
	高知県								アカマツ群落	497	Ⅷ	7			
	福岡県								アカマツ群落	110	Ⅷ	7			
	佐賀県								アカマツ群落	29	Ⅷ	7			
	熊本県							アカマツ群落	170	Ⅷ	7				
	宮崎県							アカマツ群落	3	Ⅷ	7				
	鹿児島県							アカマツ群落	8	Ⅷ	7				
	71001A							茨城県	ヤマツツジ-アカマツ群集	2	Ⅷ	7			
								群馬県	ヤマツツジ-アカマツ群集	4	Ⅷ	7			
								新潟県	ヤマツツジ-アカマツ群集	127	Ⅷ	7			
								富山県	ヤマツツジ-アカマツ群集	18	Ⅷ	7			
								石川県	ヤマツツジ-アカマツ群集	313	Ⅷ	7			
								山梨県	ヤマツツジ-アカマツ群集		Ⅷ	7			
								岐阜県	ヤマツツジ-アカマツ群集	12	Ⅷ	7			
		滋賀県	ヤマツツジ-アカマツ群集	162	Ⅷ	7									
		山口県	ヤマツツジ-アカマツ群集	2	Ⅷ	7									
		71001B	茨城県	アカマツ-ヤマツツジ群集	5	Ⅷ	7		○						
			栃木県	アカマツ-ヤマツツジ群集	326	Ⅷ	7		○						
			埼玉県	アカマツ-ヤマツツジ群集	69	Ⅷ	7		○						
	東京都		アカマツ-ヤマツツジ群集	11	Ⅷ	7		○							
長崎県	アカマツ-ヤマツツジ群集		48	Ⅷ	7		○								
大分県	アカマツ-ヤマツツジ群集		173	Ⅷ	7		○								
71003	岐阜県	モチツツジ-アカマツ群集	812	Ⅷ	7										
	愛知県	モチツツジ-アカマツ群集	336	Ⅷ	7										
	滋賀県	モチツツジ-アカマツ群集	551	Ⅷ	7										
	大阪府	モチツツジ-アカマツ群集	327	Ⅷ	7										
	兵庫県	モチツツジ-アカマツ群集	574	Ⅷ	7										
	奈良県	モチツツジ-アカマツ群集	193	Ⅷ	7										
	和歌山県	モチツツジ-アカマツ群集	190	Ⅷ	7										
	岡山県	モチツツジ-アカマツ群集	635	Ⅷ	7										
	71003B	兵庫県	アカマツ-モチツツジ群集	1389	Ⅷ	7		○							
	71004A	岐阜県	コバノミツバツツジ-アカマツ群集	1	Ⅷ	7									
		鳥取県	コバノミツバツツジ-アカマツ群集	344	Ⅷ	7									
		岡山県	コバノミツバツツジ-アカマツ群集	1348	Ⅷ	7									
広島県		コバノミツバツツジ-アカマツ群集	3446	Ⅷ	7										
山口県		コバノミツバツツジ-アカマツ群集	3008	Ⅷ	7										
愛媛県		コバノミツバツツジ-アカマツ群集	292	Ⅷ	7										
73500	兵庫県	アカマツ-サイゴクミツバツツジ群集	436	Ⅷ	7		○								
	71002A	愛媛県	オンツツジ-アカマツ群集	415	Ⅷ	7									
71002B	長崎県	アカマツ-オンツツジ群集	3	Ⅷ	7		○								
	大分県	アカマツ-オンツツジ群集	88	Ⅷ	7		○								
71000B	福岡県	アカマツ-アカガシ群落		Ⅷ	7		○								
	70200B	兵庫県	ウバメガシ-クロマツ群落	131	Ⅷ	8		○							
71100	茨城県	クロマツ群落		Ⅷ	7										
	石川県	クロマツ群落	40	Ⅷ	7										
	福井県	クロマツ群落	12	Ⅷ	7										
	愛知県	クロマツ群落	18	Ⅷ	7										
	滋賀県	クロマツ群落	4	Ⅷ	7										
	京都府	クロマツ群落	3	Ⅷ	7										
	大阪府	クロマツ群落		Ⅷ	7										
	兵庫県	クロマツ群落	28	Ⅷ	7										
		クロマツ群落		Ⅷ	7										

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次元シュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック	変更チェック						
												植生区分	群落名						
VII	42	常緑針葉樹二次林	クロマツ群落		クロマツ群落	71100	和歌山県	クロマツ群落	1	VI	7								
							鳥取県	クロマツ群落	7	VI	7								
							島根県	クロマツ群落	49	VI	7								
							徳島県	クロマツ群落	59	VI	7								
								香川県	クロマツ群落	56	VI	7							
								愛媛県	クロマツ群落	93	VI	7							
								高知県	クロマツ群落	5	VI	7							
								佐賀県	クロマツ群落	3	VI	7							
								長崎県	クロマツ群落	69	VI	7							
								熊本県	クロマツ群落	7	VI	7							
								大分県	クロマツ群落	4	VI	7							
								鹿児島県	クロマツ群落	115	VI	7							
			リュウキュウマツ群落		リュウキュウマツ群落	63200	鹿児島県	リュウキュウマツ群落	355	VI	9	○							
			モミ群落		モミ群落	72900	石川県	モミ群落		VI	7								
43	タケ・ササ群落			タケ・ササ群落	タケ・ササ群落	70400A	群馬県	ササ・タケ群落	2	VI	5		○						
							岐阜県	ササ・タケ群落	2	VI	5		○						
							大阪府	ササ・タケ群落		VI	5		○						
							奈良県	ササ・タケ群落		VI	5		○						
							鳥取県	ササ・タケ群落	1	VI	5		○						
							島根県	ササ・タケ群落		VI	5		○						
							大分県	ササ・タケ群落	3	VI	5		○						
							鹿児島県	ササ・タケ群落	30	VI	5		○						
								ヤダケ群落		ヤダケ群落	70400A	秋田県	ササ・タケ群落		VI	5		○	
								メダケ群落		メダケ群落	70400A	山形県	ヤダケ群落		VI	5		○	
											70400A	石川県	ササ・タケ群落		VI	5		○	
											70400E	愛媛県	ササ・タケ群落	2	VI	5		○	
												千葉県	メダケ群落	2	VI	5			
												東京都	メダケ群落		VI	5			
												三重県	メダケ群落		VI	5			
												70401B	埼玉県	ヤダケ-メダケ群落		VI	5		○
													東京都	ヤダケ-メダケ群落		VI	5		○
													神奈川県	ヤダケ-メダケ群落	1	VI	5		○
													愛知県	ヤダケ-メダケ群落		VI	5		○
													三重県	ヤダケ-メダケ群落	2	VI	5		○
													兵庫県	ヤダケ-メダケ群落	1	VI	5		○
													山口県	ヤダケ-メダケ群落	1	VI	5		○
													福岡県	ヤダケ-メダケ群落		VI	5		○
													長崎県	ヤダケ-メダケ群落		VI	5		○
													熊本県	ヤダケ-メダケ群落	2	VI	5		○
													宮崎県	ヤダケ-メダケ群落	9	VI	5		○
												70401C	茨城県	メダケ-ヤダケ群落	2	VI	5		○
							高知県	メダケ-ヤダケ群落	2	VI	5		○						
			リュウキュウチク群落		リュウキュウチク群落	70403H	鹿児島県	リュウキュウチク群落	73	VI	5		○						
							沖縄県	リュウキュウチク群落	3	VI	5								
44	低木群落			低木群落	低木群落	72000A	神奈川県	林縁性つる-低木群落		VI	5		○						
							静岡県	林縁性つる-低木群落	5	VI	5		○						
							72000B	静岡県	クズ群落	1	VI	5		○					
							72000E	宮崎県	マタタビ-ノブドウ群落		VI	5		○					
							75700	宮崎県	落葉低木群落	10	VI	7		○					
							73800	宮崎県	アオモジ群落		VI	5		○					
							73900	宮崎県	アカメガシワ-カラスザンショウ群落	1	VI	5		○					
							74100	宮崎県	クサギ-アカメガシワ群団	10	VI	7		○					
							15900	秋田県	クズ群落	5	V	4		○					
							72000B	神奈川県	クズ群落	1	VI	5							
								山梨県	クズ群落	2	VI	5							
								兵庫県	クズ群落		VI	5							
								島根県	クズ群落		VI	5							
								香川県	クズ群落		VI	5							
								愛媛県	クズ群落	11	VI	5							
		福岡県	クズ群落	3	VI	5													
		長崎県	クズ群落		VI	5													
		熊本県	クズ群落		VI	5													
		大分県	クズ群落	2	VI	5													
		宮崎県	クズ群落	8	VI	5													
		鹿児島県	クズ群落	7	VI	5													
		72000C	宮崎県	マント群落	1	VI	5		○										
		73000	東京都	ツルダコ群落	1	VI	7		○										
		73200	東京都	シロガネムクノキ群集		VI	7		○										
		73300	東京都	オガサワラモクマオ群集		VI	7		○										
		74500	東京都	シチヘンゲ群落		VI	5												
		82600	東京都	ホナガソウ群落	1	VI	10		○										
		72000D	東京都	クサトケイソウ群落		VI	5												
45	二次草原		ススキ群団		ススキ群団	70600A	福島県	ススキ群団	8	VI	5								
							茨城県	ススキ群団	20	VI	5								
							栃木県	ススキ群団	40	VI	5								
							群馬県	ススキ群団	1	VI	5								

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群落名	
VII	45	二次草原	ススキ群団		ススキ群団	70600A	埼玉県	ススキ群団	2	VI	5			
							新潟県	ススキ群団	5	VI	5			
							富山県	ススキ群団	54	VI	5			
							石川県	ススキ群団	4	VI	5			
							福井県	ススキ群団	13	VI	5			
							岐阜県	ススキ群団	1	VI	5			
							静岡県	ススキ群団	186	VI	5			
							三重県	ススキ群団	24	VI	5			
							滋賀県	ススキ群団	6	VI	5			
							京都府	ススキ群団	10	VI	5			
							兵庫県	ススキ群団	11	VI	5			
							奈良県	ススキ群団	1	VI	5			
							和歌山県	ススキ群団	3	VI	5			
							島根県	ススキ群団	2	VI	5			
							岡山県	ススキ群団	50	VI	5			
							広島県	ススキ群団	36	VI	5			
							山口県	ススキ群団	32	VI	5			
							徳島県	ススキ群団	7	VI	5			
							香川県	ススキ群団	6	VI	5			
							高知県	ススキ群団	18	VI	5			
							福岡県	ススキ群団	1	VI	5			
							佐賀県	ススキ群団	2	VI	5			
							宮崎県	ススキ群団	92	VI	5			
							鹿児島県	ススキ群団	82	VI	5			
							沖縄県	ススキ群団	16	VI	5			
							70600B	山形県	ススキ群団	1	VI	5		
								新潟県	ススキ群団	5	VI	5		○
								三重県	ススキ群団	8	VI	5		○
								鳥取県	ススキ群団	11	VI	5		○
							70600L	東京都	ススキ・ササ草地	5	VI	5		○
							アズマネザサ-ススキ群集	70602D	茨城県	アズマネザサ-ススキ群集	4	VI	5	
									栃木県	アズマネザサ-ススキ群集	VI	5		
									埼玉県	アズマネザサ-ススキ群集	2	VI	5	
						神奈川県			アズマネザサ-ススキ群集	23	VI	5		
						石川県			アズマネザサ-ススキ群集	14	VI	5		
						山梨県			アズマネザサ-ススキ群集	41	VI	5		
						70602E			千葉県	ススキ-アズマネザサ群集	49	VI	5	
						70602J			茨城県	アズマネザサ-ススキ群集	9	VI	5	○
						東京都			アズマネザサ-ススキ群集	4	VI	5	○	
						福井県			アズマネザサ-ススキ群集	VI	5	○		
						ネザサ-ススキ群集	70601C	岐阜県	ネザサ-ススキ群集	2	VI	5		
								愛知県	ネザサ-ススキ群集	4	VI	5		
								大阪府	ネザサ-ススキ群集	4	VI	5		
								兵庫県	ネザサ-ススキ群集	1	VI	5		
								奈良県	ネザサ-ススキ群集	VI	5			
								福岡県	ネザサ-ススキ群集	30	VI	5		
								宮崎県	ネザサ-ススキ群集	VI	5			
70601I	熊本県	ネザサ-ススキ群集	286	VI	5	○								
70601M	兵庫県	ススキ-ネザサ群集	5	VI	5	○								
チガヤ-ススキ群集	70603F	神奈川県	チガヤ-ススキ群集	6	VI	5								
		愛知県	チガヤ-ススキ群集	10	VI	5								
		大阪府	チガヤ-ススキ群集	VI	5									
		奈良県	チガヤ-ススキ群集	1	VI	5								
		島根県	チガヤ-ススキ群集	1	VI	5								
		福岡県	チガヤ-ススキ群集	VI	5									
		宮崎県	チガヤ-ススキ群集	22	VI	5								
		鹿児島県	チガヤ-ススキ群集	8	VI	5								
		沖縄県	チガヤ-ススキ群集	130	VI	5								
		70603G	千葉県	ススキ-チガヤ群集	16	VI	5	○						
		東京都	ススキ-チガヤ群集	VI	5	○								
		長崎県	ススキ-チガヤ群集	37	VI	5	○							
		70603K	茨城県	チガヤ-ススキ群集	3	VI	5	○						
		70603N	東京都	チガヤ群集	VI	5	○							
70600H	大分県	ススキ-トダシバ群集	220	VI	5	○								
シバ群団	70700	栃木県	シバ群団	2	VI	4								
		神奈川県	シバ群団	3	VI	4								
		福井県	シバ群団	1	VI	4								
		山梨県	シバ群団	3	VI	4								
		大阪府	シバ群団	VI	4									
		奈良県	シバ群団	1	VI	4								
		和歌山県	シバ群団	VI	4									
		島根県	シバ群団	VI	4									
		山口県	シバ群団	2	VI	4								
		佐賀県	シバ群団	VI	4									
		長崎県	シバ群団	8	VI	4								

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群集コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群集名	
Ⅷ	45	二次草原			シバ群団	70700	宮崎県	シバ群団	3	Ⅷ	4			
							鹿児島県	シバ群団	1	Ⅷ	4			
						70700B	静岡県	シバ群団	6	Ⅷ	4			
						72500	和歌山県	コシダークラジロ群落	6	Ⅷ	7	○		
							宮崎県	コシダ群落	7	Ⅷ	7	○		
						70402F	愛知県	ダンチク群落		Ⅷ	5			
							和歌山県	ダンチク群落	2	Ⅷ	5			
							山口県	ダンチク群落		Ⅷ	5			
							高知県	ダンチク群落	4	Ⅷ	5			
							福岡県	ダンチク群落		Ⅷ	5			
							佐賀県	ダンチク群落		Ⅷ	5			
							長崎県	ダンチク群落	2	Ⅷ	5			
							熊本県	ダンチク群落	1	Ⅷ	5			
							宮崎県	ダンチク群落	4	Ⅷ	5			
		鹿児島県	ダンチク群落	1	Ⅷ	5								
		沖縄県	ダンチク群落	1	Ⅷ	5								
		東京都	ハチジョウアザミ群落		Ⅷ	5								
	75000	東京都	ハチジョウアザミ群落		Ⅷ	5								
	70800C	鹿児島県	ハイキビ群落	2	Ⅷ	4								
		沖縄県	ハイキビ群落		Ⅷ	4								
	75100	東京都	ハリケンズスキ群落	1	Ⅷ	5								
	75400	東京都	ホクチガヤ群落	3	Ⅷ	5								
	74900	東京都	キバナヒメフウチョウソウ-ハタガヤ群落	2	Ⅷ	5								
	74700	東京都	シマズメノヒエ-スズメノコビエ群落	2	Ⅷ	5	○							
	74600	東京都	シマチカラシバ-スズメノコビエ群落	5	Ⅷ	5	○							
	46	伐採跡地群落				伐採跡地群落	70300A	岩手県	伐跡群落	82	Ⅷ	4	○	
								宮城県	伐跡群落	16	Ⅷ	4	○	
							秋田県	伐跡群落	6	Ⅷ	4	○		
							山形県	伐跡群落	1	Ⅷ	4	○		
							福島県	伐跡群落	82	Ⅷ	4	○		
							茨城県	伐跡群落	2	Ⅷ	4	○		
							栃木県	伐跡群落	15	Ⅷ	4	○		
							群馬県	伐跡群落		Ⅷ	4	○		
							埼玉県	伐跡群落	4	Ⅷ	4	○		
							東京都	伐跡群落		Ⅷ	4	○		
							神奈川県	伐跡群落	29	Ⅷ	4	○		
							新潟県	伐跡群落	3	Ⅷ	4	○		
							石川県	伐跡群落	17	Ⅷ	4	○		
	山梨県	伐跡群落		Ⅷ	4	○								
	長野県	伐跡群落		Ⅷ	4	○								
	岐阜県	伐跡群落	48	Ⅷ	4	○								
	静岡県	伐跡群落	15	Ⅷ	4	○								
	愛知県	伐跡群落	4	Ⅷ	4	○								
	三重県	伐跡群落	30	Ⅷ	4	○								
	滋賀県	伐跡群落	51	Ⅷ	4	○								
	京都府	伐跡群落	2	Ⅷ	4	○								
	大阪府	伐跡群落	4	Ⅷ	4	○								
	兵庫県	伐跡群落	13	Ⅷ	4	○								
	奈良県	伐跡群落	57	Ⅷ	4	○								
	和歌山県	伐跡群落	6	Ⅷ	4	○								
	鳥取県	伐跡群落	38	Ⅷ	4	○								
	島根県	伐跡群落	72	Ⅷ	4	○								
	岡山県	伐跡群落	384	Ⅷ	4	○								
	広島県	伐跡群落	534	Ⅷ	4	○								
	山口県	伐跡群落	4	Ⅷ	4	○								
	徳島県	伐跡群落	28	Ⅷ	4	○								
	香川県	伐跡群落	3	Ⅷ	4	○								
	愛媛県	伐跡群落	1	Ⅷ	4	○								
	高知県	伐跡群落	57	Ⅷ	4	○								
	福岡県	伐跡群落	14	Ⅷ	4	○								
	佐賀県	伐跡群落		Ⅷ	4	○								
	長崎県	伐跡群落	17	Ⅷ	4	○								
	熊本県	伐跡群落	11	Ⅷ	4	○								
	大分県	伐跡群落	26	Ⅷ	4	○								
	宮崎県	伐跡群落	140	Ⅷ	4	○								
	鹿児島県	伐跡群落	91	Ⅷ	4	○								
	沖縄県	伐跡群落		Ⅷ	4	○								
	千葉県	伐採跡群落	6	Ⅷ	4	○								
70300D	福井県	伐採跡群落	4	Ⅷ	4	○								
	和歌山県	伐採跡群落	3	Ⅷ	4	○								
	愛媛県	伐採跡群落	3	Ⅷ	4	○								
	鹿児島県	伐採跡群落	1	Ⅷ	4	○								
70301C	茨城県	ベニバナボロギク-ダンドボロギク群落		Ⅷ	4	○								
	神奈川県	ベニバナボロギク-ダンドボロギク群落	3	Ⅷ	4	○								
	岐阜県	ベニバナボロギク-ダンドボロギク群落		Ⅷ	4	○								
	宮崎県	ベニバナボロギク-ダンドボロギク群落	9	Ⅷ	4	○								
	鹿児島県	ベニバナボロギク-ダンドボロギク群落	12	Ⅷ	4	○								

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名
VII	46	伐採跡地群落			伐採跡地群落	70301F	宮崎県	ベニバナボロギク-ダンドボロギク群落	35	VI	4		○
						70302E	神奈川県	クサイチゴ-タラノキ群落	34	VI	4		○
VIII	47	濕原・河川・池沼植生	ツルコケモモ-ミズゴケクラス		ツルコケモモ-ミズゴケクラス	80100A	北海道	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	30	VI	01		
							青森県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	7	VI	01		
							岩手県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	7	VI	01		
							秋田県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	1	VI	01		
							福島県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	1	VI	01		
							栃木県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	1	VI	01		
							群馬県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	7	VI	01		
							新潟県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	2	VI	01		
							富山県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	7	VI	01		
							長野県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	4	VI	01		
							岐阜県	ツルコケモモ-ミズゴケクラス	4	VI	01		
						80100B	山形県	高層濕原	4	VI	01		○
						80200A	北海道	スマガヤオーダー	38	VI	01		
							岩手県	スマガヤオーダー	4	VI	01		
							宮城県	スマガヤオーダー	2	VI	01		
							秋田県	スマガヤオーダー		VI	01		
							福島県	スマガヤオーダー	4	VI	01		
							茨城県	スマガヤオーダー		VI	01		
							栃木県	スマガヤオーダー	2	VI	01		
							群馬県	スマガヤオーダー	1	VI	01		
							新潟県	スマガヤオーダー		VI	01		
							富山県	スマガヤオーダー	4	VI	01		
							長野県	スマガヤオーダー	4	VI	01		
							岐阜県	スマガヤオーダー		VI	01		
							愛知県	スマガヤオーダー		VI	01		
							滋賀県	スマガヤオーダー		VI	01		
							京都府	スマガヤオーダー		VI	01		
							兵庫県	スマガヤオーダー		VI	01		
							岡山県	スマガヤオーダー		VI	01		
							広島県	スマガヤオーダー		VI	01		
							山口県	スマガヤオーダー		VI	01		
							熊本県	スマガヤオーダー		VI	01		
							大分県	スマガヤオーダー		VI	01		
							宮崎県	スマガヤオーダー		VI	01		
						80200B	山形県	中間濕原	1	VI	01		○
							愛媛県	中間濕原		VI	01		○
						80200A	長崎県	スマガヤオーダー	1	VI	01		○
						80300D	東京都	種地植生		VI	01		○
						81900	石川県	濕原		VI	01		○
						83700	宮崎県	ホシクサ-コイヌノハナヒゲ群団		VI	01		○
						80300A	北海道	ヨシクラス	604	VI	01		
							青森県	ヨシクラス	40	VI	01		
							岩手県	ヨシクラス	7	VI	01		
							宮城県	ヨシクラス	34	VI	01		
							秋田県	ヨシクラス	46	VI	01		
							福島県	ヨシクラス	15	VI	01		
							茨城県	ヨシクラス	46	VI	01		
							栃木県	ヨシクラス	22	VI	01		
							群馬県	ヨシクラス		VI	01		
							埼玉県	ヨシクラス	20	VI	01		
							千葉県	ヨシクラス	41	VI	01		
							東京都	ヨシクラス	3	VI	01		
							神奈川県	ヨシクラス	1	VI	01		
							新潟県	ヨシクラス	18	VI	01		
							富山県	ヨシクラス	10	VI	01		
							石川県	ヨシクラス	10	VI	01		
							福井県	ヨシクラス	3	VI	01		
							山梨県	ヨシクラス	1	VI	01		
							長野県	ヨシクラス	10	VI	01		
							岐阜県	ヨシクラス	6	VI	01		
							静岡県	ヨシクラス	7	VI	01		
							愛知県	ヨシクラス	10	VI	01		
							滋賀県	ヨシクラス	8	VI	01		
							京都府	ヨシクラス	21	VI	01		
							大阪府	ヨシクラス	13	VI	01		
							兵庫県	ヨシクラス	31	VI	01		
							奈良県	ヨシクラス		VI	01		
							和歌山県	ヨシクラス		VI	01		
							鳥取県	ヨシクラス	13	VI	01		
							島根県	ヨシクラス	6	VI	01		
							岡山県	ヨシクラス	8	VI	01		
							広島県	ヨシクラス	7	VI	01		

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名	
Ⅷ	47	温泉・河川・池沼植生	ヨシクラス		ヨシクラス	80300A	山口県	ヨシクラス	7	Ⅷ	01			
							徳島県	ヨシクラス	6	Ⅷ	01			
							香川県	ヨシクラス	1	Ⅷ	01			
							愛媛県	ヨシクラス	1	Ⅷ	01			
							高知県	ヨシクラス	8	Ⅷ	01			
							福岡県	ヨシクラス	11	Ⅷ	01			
							佐賀県	ヨシクラス	3	Ⅷ	01			
							長崎県	ヨシクラス		Ⅷ	01			
							大分県	ヨシクラス	2	Ⅷ	01			
							宮崎県	ヨシクラス	3	Ⅷ	01			
							鹿児島県	ヨシクラス	15	Ⅷ	01			
							沖縄県	ヨシクラス	5	Ⅷ	01			
							三重県	ヨシ群落	11	Ⅷ	01		○	
							熊本県	ヨシ群落		Ⅷ	01		○	
							山形県	低層複原		Ⅷ	01		○	
							80300C	山形県	低層複原		Ⅷ	01		○
							80301	茨城県	ミゾソバ・ヨシ群落	3	Ⅷ	5		
							神奈川県	ミゾソバ・ヨシ群落		Ⅷ	5			
							熊本県	ミゾソバ・ヨシ群落	8	Ⅷ	5			
							大分県	ミゾソバ・ヨシ群落	8	Ⅷ	5			
							宮崎県	ミゾソバ・ヨシ群落		Ⅷ	5			
							80600D	山形県	河原荒地・草地	13	Ⅷ	01		○
							80600E	和歌山県	河川敷砂礫地植生	18	Ⅷ	01		
							80500A	秋田県	ツルヨシ群集	6	Ⅷ	01		
							福島県	ツルヨシ群集	2	Ⅷ	01			
							茨城県	ツルヨシ群集	1	Ⅷ	01			
							栃木県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							神奈川県	ツルヨシ群集	1	Ⅷ	01			
							石川県	ツルヨシ群集	9	Ⅷ	01			
							山梨県	ツルヨシ群集	21	Ⅷ	01			
							岐阜県	ツルヨシ群集	5	Ⅷ	01			
							静岡県	ツルヨシ群集	7	Ⅷ	01			
							愛知県	ツルヨシ群集	2	Ⅷ	01			
							滋賀県	ツルヨシ群集	2	Ⅷ	01			
							和歌山県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							鳥取県	ツルヨシ群集	3	Ⅷ	01			
							山口県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							徳島県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							香川県	ツルヨシ群集	3	Ⅷ	01			
							愛媛県	ツルヨシ群集	1	Ⅷ	01			
							福岡県	ツルヨシ群集	3	Ⅷ	01			
							長崎県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							熊本県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							大分県	ツルヨシ群集	4	Ⅷ	01			
							宮崎県	ツルヨシ群集	23	Ⅷ	01			
							沖縄県	ツルヨシ群集		Ⅷ	01			
							80500B	山形県	ツルヨシ群落	24	Ⅷ	01		○
							三重県	ツルヨシ群落	10	Ⅷ	01		○	
							滋賀県	ツルヨシ群落	4	Ⅷ	01		○	
							80500C	東京都	ツルヨシ群落など	1	Ⅷ	01		○
							80600	山形県	オギ群落	4	Ⅷ	01		
							長野県	オギ群落		Ⅷ	01			
							80600A	宮城県	オギ群落	1	Ⅷ	01		
							秋田県	オギ群落	4	Ⅷ	01			
							群馬県	オギ群落	20	Ⅷ	01			
							埼玉県	オギ群落	12	Ⅷ	01			
							神奈川県	オギ群落	3	Ⅷ	01			
							山梨県	オギ群落	2	Ⅷ	01			
							愛知県	オギ群落	8	Ⅷ	01			
							鳥取県	オギ群落		Ⅷ	01			
							山口県	オギ群落		Ⅷ	01			
							福岡県	オギ群落	1	Ⅷ	01			
							宮崎県	オギ群落		Ⅷ	01			
							80600F	東京都	オギ群落など	9	Ⅷ	01		○
							80600G	秋田県	ホッサガヤ群落	1	Ⅷ	01		
							83000	長野県	カラヨモギ群落	12	Ⅷ	01		
							80400A	北海道	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス	7	Ⅷ	01		○
							宮城県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス	18	Ⅷ	01		○	
							秋田県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス	1	Ⅷ	01		○	
							群馬県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅷ	01		○	
							石川県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅷ	01		○	
							山梨県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅷ	01		○	
							兵庫県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス	13	Ⅷ	01		○	
							鳥取県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅷ	01		○	
							山口県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅷ	01		○	
							宮崎県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス	1	Ⅷ	01		○	
							鹿児島県	ウキクサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅷ	01		○	

植生区分	大区分コード	大区	中区分	細区分	凡例名	群集コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群集名							
Ⅶ	47	塩原・河川・池沼植生		ヒルムシロクラス	ヒルムシロクラス	80400A	沖縄県	ウキサクラス・ヒルムシロクラス		Ⅶ	01		○							
						80400B	神奈川県	ウキサクラス		Ⅶ	01	○								
						80400C	福岡県	ウキサクラス	2	Ⅶ	01	○								
						80400D	山形県	水生植物群落	1	Ⅶ	01	○								
	48	塩沼地植生			塩沼地植生	塩沼地植生	80700A	北海道	塩沼地植生	26	Ⅶ	01								
							青森県	塩沼地植生	3	Ⅶ	01									
							秋田県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							千葉県	塩沼地植生	2	Ⅶ	01									
							神奈川県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							新潟県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							石川県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							和歌山県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							広島県	塩沼地植生	1	Ⅶ	01									
							香川県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							福岡県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							佐賀県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							大分県	塩沼地植生	1	Ⅶ	01									
							鹿児島県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							沖縄県	塩沼地植生		Ⅶ	01									
							80700C	長崎県	塩沼地群落	1	Ⅶ	01								
							82900	千葉県	塩生植生		Ⅶ	01	○							
							80700D	和歌山県	ヒトモトスキ群落		Ⅶ	01	○							
							80700F	鹿児島県	シオクグ群落		Ⅶ	01								
							80703	徳島県	ハママツナーハマサジ群落		ハママツナーハマサジ群落	ハママツナーハマサジ群落	80703	徳島県	ハママツナーハマサジ群落		Ⅶ	01		
													香川県	ハママツナーハマサジ群落	1	Ⅶ	01			
													愛媛県	ハママツナーハマサジ群落	2	Ⅶ	01			
													福岡県	ハママツナーハマサジ群落		Ⅶ	01			
							宮崎県	ハママツナーハマサジ群落		Ⅶ	01									
							80701	宮崎県	アマモクラス		アマモクラス	アマモクラス	80701	宮崎県	アマモクラス		Ⅶ	01		
													沖縄県	アマモクラス		Ⅶ	01			
							49	砂丘植生			砂丘植生	砂丘植生	80900A	北海道	砂丘植生	62	Ⅶ	01		
													青森県	砂丘植生	9	Ⅶ	01			
													宮城県	砂丘植生	9	Ⅶ	01			
													秋田県	砂丘植生	20	Ⅶ	01			
													山形県	砂丘植生	8	Ⅶ	01			
													福島県	砂丘植生	7	Ⅶ	01			
													東京都	砂丘植生		Ⅶ	01			
	新潟県	砂丘植生	21	Ⅶ	01															
	富山県	砂丘植生	1	Ⅶ	01															
	福井県	砂丘植生	1	Ⅶ	01															
	静岡県	砂丘植生	4	Ⅶ	01															
	三重県	砂丘植生	15	Ⅶ	01															
	滋賀県	砂丘植生		Ⅶ	01															
	京都府	砂丘植生		Ⅶ	01															
	和歌山県	砂丘植生		Ⅶ	01															
	鳥取県	砂丘植生	13	Ⅶ	01															
	島根県	砂丘植生		Ⅶ	01															
山口県	砂丘植生	1	Ⅶ	01																
徳島県	砂丘植生	1	Ⅶ	01																
香川県	砂丘植生		Ⅶ	01																
愛媛県	砂丘植生	1	Ⅶ	01																
高知県	砂丘植生	22	Ⅶ	01																
福岡県	砂丘植生	2	Ⅶ	01																
佐賀県	砂丘植生		Ⅶ	01																
長崎県	砂丘植生	1	Ⅶ	01																
熊本県	砂丘植生		Ⅶ	01																
大分県	砂丘植生	5	Ⅶ	01																
宮崎県	砂丘植生	8	Ⅶ	01																
鹿児島県	砂丘植生	24	Ⅶ	01																
沖縄県	砂丘植生	8	Ⅶ	01																
80900B	千葉県	海岸砂丘植生	4	Ⅶ	01	○														
80900F	島根県	砂丘植物		Ⅶ	01	○														
80904	北海道	ハマナス群落		ハマナス群落	ハマナス群落	80904							北海道	ハマナス群落	20	Ⅶ	01			
						青森県							ハマナス群落	6	Ⅶ	01				
						秋田県							ハマナス群落	1	Ⅶ	01				
石川県	ハマナス群落		Ⅶ	01																
80900E	東京都	ハマゴウ群落		ハマゴウ群落	ハマグルマーハマゴウ群集	80900E							東京都	ハマゴウ群落		Ⅶ	01			
						茨城県							ハマグルマーハマゴウ群落	2	Ⅶ	01	○			
82200	愛知県	ハマグルマーハマゴウ群落		ハマグルマーハマゴウ群落	ハマグルマーハマゴウ群集	82200							愛知県	ハマグルマーハマゴウ群落		Ⅶ	01		○	
						兵庫県							ハマグルマーハマゴウ群落	10	Ⅶ	01	○			
						鹿児島県							ハマグルマーハマゴウ群落	4	Ⅶ	01	○			
						茨城県							ハマグルマーハマゴウ群集		Ⅶ	01				
						石川県							ハマグルマーハマゴウ群集		Ⅶ	01				
						兵庫県							ハマグルマーハマゴウ群集		Ⅶ	01				
82200B	和歌山県	ハマグルマーハマゴウ群集		ハマグルマーハマゴウ群集	ハマグルマーハマゴウ群集	82200B							和歌山県	ハマグルマーハマゴウ群集		Ⅶ	01			
						和歌山県							ハマグルマーハマゴウ群集		Ⅶ	01				





植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名			
VII	52	火山荒原植生・礫気孔原植生		ミヤマキリシマ群落	マイズルソウ・ミヤマキリシマ群落	41704	鹿児島県	ミヤマキリシマ・マイズルソウ群落	3	IV	9	○	○			
				ヤマホタルブクロ群落	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落	41802	群馬県	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落		IV	01	○				
							神奈川県	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落		IV	01	○				
							富山県	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落	1	IV	01	○				
							山梨県	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落	6	IV	01	○				
							岐阜県	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落	1	IV	01	○				
							静岡県	フジアザミ・ヤマホタルブクロ群落	4	IV	01	○				
						コメススキ群落	イタドリ・コメススキ群落	10200C	栃木県	イタドリ・コメススキ群落	1	01	○			
								42400A	福島県	イタドリ・コメススキ群落		IV	01	○		
									富山県	イタドリ・コメススキ群落		IV	01	○		
									長野県	イタドリ・コメススキ群落		IV	01	○		
									大分県	イタドリ・コメススキ群落		IV	01	○		
									81700B	宮城県	イタドリ・コメススキ群落	9	VI	01		
										福島県	イタドリ・コメススキ群落	8	VI	01		
							栃木県	イタドリ・コメススキ群落	2	VI	01					
						81700C	群馬県	火山荒原植生	9	VI	01		○			
						81700D	東京都	ハチジョウイタドリ群落		VI	01					
						81702N	東京都	シマタヌキラン・ハチジョウイタドリ群落	7	VI	01					
						83800	東京都	タマンダ群落	1	VI	01					
						81701D	鹿児島県	イタドリ・タマンダ群落	4	VI	01					
	53	陸起珊瑚礁植生			イタドリ・タマンダ群落	イタドリ・タマンダ群落	81400A	鹿児島県	陸起珊瑚礁植生	8	VI	01				
								沖縄県	陸起珊瑚礁植生	6	VI	01				
								81400C	沖縄県	陸起サンゴ礁植生	30	VI	01		○	
								81300C	東京都	ソナレシバ群落	1	VI	01			
								81300D	東京都	ハシバ群落		VI	01			
								81401B	東京都	モクビャッコウ群落		VI	01		○	
							81401	鹿児島県	イソマツ・モクビャッコウ群落	4	VI	01				
							81300A	長崎県	コウライシバ群落		VI	01				
								鹿児島県	コウライシバ群落	6	VI	01				
								沖縄県	コウライシバ群落	5	VI	01				
								81300B	東京都	シバ草原	1	VI	01		○	
								81400B	東京都	コハマジンチョウ群落		VI	01		○	
IX	54	植林地		シラゲンノメ群落	シラゲンノメ群落	81700I	東京都	荒原植物群落(シラゲンノメ群落など)		VI	01		○			
				スギ・ヒノキ・サワラ植林	スギ・ヒノキ・サワラ植林	90103A	北海道	スギ・ヒノキ・サワラ植林	343	IX	6					
							青森県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2049	IX	6					
							岩手県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1552	IX	6					
							茨城県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	654	IX	6					
							栃木県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1223	IX	6					
							埼玉県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	519	IX	6					
							千葉県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2	IX	6					
							東京都	スギ・ヒノキ・サワラ植林	352	IX	6					
							神奈川県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	303	IX	6					
			新潟県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1166	IX	6									
			石川県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	231	IX	6									
			福井県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	930	IX	6									
			山梨県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	322	IX	6									
			長野県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	754	IX	6									
			岐阜県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2612	IX	6									
			静岡県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2593	IX	6									
			愛知県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1280	IX	6									
			滋賀県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	392	IX	6									
			京都府	スギ・ヒノキ・サワラ植林	761	IX	6									
			大阪府	スギ・ヒノキ・サワラ植林	132	IX	6									
			兵庫県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	666	IX	6									
			奈良県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1897	IX	6									
			和歌山県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	16	IX	6									
			鳥取県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	267	IX	6									
			島根県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	532	IX	6									
			岡山県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	796	IX	6									
			広島県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	441	IX	6									
			山口県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	939	IX	6									
			徳島県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	935	IX	6									
			香川県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	89	IX	6									
			福岡県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	855	IX	6									
			佐賀県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	821	IX	6									
			長崎県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1	IX	6									
			熊本県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	2	IX	6									
			大分県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1178	IX	6									
			宮崎県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	608	IX	6									
			鹿児島県	スギ・ヒノキ・サワラ植林	1832	IX	6									
			90103B	宮城県	スギ・ヒノキ植林	1183	IX	6		○						
				茨城県	スギ・ヒノキ植林	87	IX	6		○						
				群馬県	スギ・ヒノキ植林	1157	IX	6		○						
				千葉県	スギ・ヒノキ植林	552	IX	6		○						
				富山県	スギ・ヒノキ植林	1	IX	6		○						
				石川県	スギ・ヒノキ植林	292	IX	6		○						

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名
IX	54	植林地	スギ・ヒノキ・サワラ植林		スギ・ヒノキ・サワラ植林	90103B	三重県	スギ・ヒノキ植林	2096	IX 6			○
							兵庫県	スギ・ヒノキ植林	959	IX 6			○
							和歌山県	スギ・ヒノキ植林	2214	IX 6			○
							鳥取県	スギ・ヒノキ植林	559	IX 6			○
							島根県	スギ・ヒノキ植林	382	IX 6			○
							徳島県	スギ・ヒノキ植林	644	IX 6			○
							香川県	スギ・ヒノキ植林	3	IX 6			○
							愛媛県	スギ・ヒノキ植林	2510	IX 6			○
							高知県	スギ・ヒノキ植林	3255	IX 6			○
							福岡県	スギ・ヒノキ植林	657	IX 6			○
							長崎県	スギ・ヒノキ植林	769	IX 6			○
							熊本県	スギ・ヒノキ植林	2692	IX 6			○
							大分県	スギ・ヒノキ植林	624	IX 6			○
							宮崎県	スギ・ヒノキ植林	2417	IX 6			○
							鹿児島県	スギ・ヒノキ植林	668	IX 6			○
						90103C	青森県	スギ植林	231	IX 6			○
							秋田県	スギ植林	3472	IX 6			○
							山形県	スギ植林	1039	IX 6			○
							富山県	スギ植林	478	IX 6			○
							沖縄県	スギ植林		IX 6			○
			アカマツ植林		アカマツ植林	90101A	青森県	アカマツ植林	327	IX 6			
							岩手県	アカマツ植林	2143	IX 6			
							宮城県	アカマツ植林	682	IX 6			
							秋田県	アカマツ植林	159	IX 6			
							山形県	アカマツ植林	127	IX 6			
							茨城県	アカマツ植林	754	IX 6			
							栃木県	アカマツ植林	1	IX 6			
							群馬県	アカマツ植林	107	IX 6			
							東京都	アカマツ植林	1	IX 6			
							神奈川県	アカマツ植林	5	IX 6			
							新潟県	アカマツ植林	215	IX 6			
							石川県	アカマツ植林	24	IX 6			
							福井県	アカマツ植林	5	IX 6			
							山梨県	アカマツ植林	439	IX 6			
							岐阜県	アカマツ植林		IX 6			
							静岡県	アカマツ植林	275	IX 6			
							三重県	アカマツ植林	460	IX 6			
							京都府	アカマツ植林	32	IX 6			
							奈良県	アカマツ植林		IX 6			
							和歌山県	アカマツ植林	3	IX 6			
							鳥取県	アカマツ植林	647	IX 6			
							島根県	アカマツ植林	440	IX 6			
							山口県	アカマツ植林	2	IX 6			
							香川県	アカマツ植林	4	IX 6			
							愛媛県	アカマツ植林	2	IX 6			
							福岡県	アカマツ植林	12	IX 6			
							佐賀県	アカマツ植林		IX 6			
							熊本県	アカマツ植林	23	IX 6			
							大分県	アカマツ植林	407	IX 6			
							宮崎県	アカマツ植林	237	IX 6			
			クロマツ植林		クロマツ植林	90102A	鹿児島県	アカマツ植林	13	IX 6			
							北海道	クロマツ植林	2	IX 6			
							青森県	クロマツ植林	134	IX 6			
							岩手県	クロマツ植林	6	IX 6			
							宮城県	クロマツ植林	13	IX 6			
							秋田県	クロマツ植林	116	IX 6			
							山形県	クロマツ植林	25	IX 6			
							茨城県	クロマツ植林	154	IX 6			
							群馬県	クロマツ植林	44	IX 6			
							東京都	クロマツ植林	5	IX 6			
							神奈川県	クロマツ植林	9	IX 6			
							新潟県	クロマツ植林		IX 6			
							富山県	クロマツ植林	37	IX 6			
							石川県	クロマツ植林	9	IX 6			
							山梨県	クロマツ植林	15	IX 6			
							岐阜県	クロマツ植林		IX 6			
							静岡県	クロマツ植林	26	IX 6			
							静岡県	クロマツ植林	32	IX 6			
							愛知県	クロマツ植林	337	IX 6			
							三重県	クロマツ植林	13	IX 6			
							京都府	クロマツ植林	2	IX 6			
							大阪府	クロマツ植林	41	IX 6			
							兵庫県	クロマツ植林	23	IX 6			
							奈良県	クロマツ植林	3	IX 6			
							和歌山県	クロマツ植林	25	IX 6			
							鳥取県	クロマツ植林	16	IX 6			
							島根県	クロマツ植林	192	IX 6			

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群簿コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次ノシ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群簿名						
IX	54	植林地		クロマツ植林	クロマツ植林	90102A	山口県	クロマツ植林	24	IX	6								
							徳島県	クロマツ植林	4	IX	6								
							香川県	クロマツ植林	11	IX	6								
							愛媛県	クロマツ植林	1	IX	6								
							高知県	クロマツ植林	3	IX	6								
							福岡県	クロマツ植林	28	IX	6								
							佐賀県	クロマツ植林	1	IX	6								
							長崎県	クロマツ植林		IX	6								
							熊本県	クロマツ植林	19	IX	6								
							宮崎県	クロマツ植林	29	IX	6								
							鹿児島県	クロマツ植林	329	IX	6								
							90102B	千葉県	海岸砂丘地クロマツ植林	25	IX	6							
							90104	北海道	エゾマツ植林	33	IX	6							
							90105	北海道	トドマツ植林	6562	IX	6							
								秋田県	トドマツ植林		IX	6							
							90106	北海道	アカエゾマツ植林	601	IX	6							
							90200A	北海道	落葉針葉樹植林	6088	IX	6							
								福島県	落葉針葉樹植林	238	IX	6							
								静岡県	落葉針葉樹植林	3	IX	6							
								熊本県	落葉針葉樹植林		IX	6							
							90201B	青森県	カラマツ植林	173	IX	6							
								岩手県	カラマツ植林	1680	IX	6							
								宮城県	カラマツ植林	60	IX	6							
								秋田県	カラマツ植林	112	IX	6							
								山形県	カラマツ植林	93	IX	6							
								福島県	カラマツ植林		IX	6							
								茨城県	カラマツ植林	1	IX	6							
								栃木県	カラマツ植林	144	IX	6							
								群馬県	カラマツ植林	676	IX	6							
								埼玉県	カラマツ植林	23	IX	6							
								東京都	カラマツ植林	13	IX	6							
								神奈川県	カラマツ植林	2	IX	6							
								新潟県	カラマツ植林	29	IX	6							
								富山県	カラマツ植林	15	IX	6							
								石川県	カラマツ植林	1	IX	6							
								山梨県	カラマツ植林	466	IX	6							
								長野県	カラマツ植林	2597	IX	6							
								岐阜県	カラマツ植林	132	IX	6							
								静岡県	カラマツ植林	6	IX	6							
								愛知県	カラマツ植林	1	IX	6							
								京都府	カラマツ植林		IX	6							
								兵庫県	カラマツ植林	4	IX	6							
								鳥取県	カラマツ植林	1	IX	6							
								島根県	カラマツ植林	2	IX	6							
								岡山県	カラマツ植林	11	IX	6							
								徳島県	カラマツ植林		IX	6							
								愛媛県	カラマツ植林	2	IX	6							
								宮崎県	カラマツ植林	1	IX	6							
								90100E	東京都	リュウキュウマツ植林	6	IX	6						
								90108D	鹿児島県	リュウキュウマツ植林		IX	6						
									沖縄県	リュウキュウマツ植林	22	IX	6						
								72800	茨城県	ニセアカシア群落		VII	7						
									群馬県	ニセアカシア群落	5	VII	7						
								82000	山形県	ニセアカシア河敷林		VIII	7						
							90300A	北海道	外国産針葉樹植林	162	IX	3							
								岩手県	外国産針葉樹植林		IX	3							
								山形県	外国産針葉樹植林		IX	3							
								茨城県	外国産針葉樹植林		IX	3							
								岐阜県	外国産針葉樹植林		IX	3							
								徳島県	外国産針葉樹植林	8	IX	3							
								福岡県	外国産針葉樹植林	1	IX	3							
								鹿児島県	外国産針葉樹植林	1	IX	3							
								沖縄県	外国産針葉樹植林		IX	3							
							90600A	北海道	外国産広葉樹植林	3	IX	3							
								青森県	外国産広葉樹植林	3	IX	3							
								秋田県	外国産広葉樹植林	37	IX	3							
								山形県	外国産広葉樹植林		IX	3							
								福島県	外国産広葉樹植林	5	IX	3							
								茨城県	外国産広葉樹植林		IX	3							
								埼玉県	外国産広葉樹植林		IX	3							
								千葉県	外国産広葉樹植林		IX	3							
								神奈川県	外国産広葉樹植林		IX	3							
								新潟県	外国産広葉樹植林	1	IX	3							
								石川県	外国産広葉樹植林	9	IX	3							
								山梨県	外国産広葉樹植林		IX	3							
								長野県	外国産広葉樹植林		IX	3							

種生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧種生区分	自然度コード	変更チェック(種生区分)	変更チェック(群落名)					
IX	54	植林地	外国産樹種植林		外国産樹種植林	90600A	静岡県	外国産広葉樹植林		IX	3		○					
						兵庫県	外国産広葉樹植林	2	IX	3		○						
						奈良県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						和歌山県	外国産広葉樹植林	2	IX	3		○						
						山口県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						香川県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						福岡県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						長崎県	外国産広葉樹植林	1	IX	3		○						
						熊本県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						宮崎県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						鹿児島県	外国産広葉樹植林		IX	3		○						
						沖縄県	外国産広葉樹植林	20	IX	3		○						
						90600C	東京都	モクマオウ植林	1	IX	3		○					
						90600D	千葉県	外国産樹種植林		IX	3		○					
						90600E	北海道	ニセアカシア植林	2	IX	3		○					
						90600G	鹿児島県	モクマオウ植林	3	IX	3		○					
							沖縄県	モクマオウ植林	17	IX	3		○					
						90600H	東京都	ソウシジュ植林		IX	3		○					
						90600I	鹿児島県	ソウシジュ植林	2	IX	3		○					
							沖縄県	ソウシジュ植林		IX	3		○					
								ギンネム群落		ギンネム群落	70500	東京都	ギンネム群落	11	VII	5		○
												沖縄県	ギンネム群落		VII	5		○
								その他植林		その他植林	73400	東京都	アカギ群落		VII	6		○
							90100A				北海道	常緑針葉樹植林	560	IX	6		○	
											山形県	常緑針葉樹植林	239	IX	6		○	
											福島県	常緑針葉樹植林	1794	IX	6		○	
											栃木県	常緑針葉樹植林	2	IX	6		○	
											静岡県	常緑針葉樹植林	7	IX	6		○	
											京都府	常緑針葉樹植林	11	IX	6		○	
											奈良県	常緑針葉樹植林	1	IX	6		○	
							90100B				千葉県	マツ植林	262	IX	6		○	
							90100I				東京都	イヌマキ植林		IX	6		○	
							90107C				山梨県	ウラジロモミ植林	8	IX	6		○	
											長野県	ウラジロモミ植林	1	IX	6		○	
											静岡県	ウラジロモミ植林	13	IX	6		○	
							90110F				石川県	ヒノキアスナロ植林	72	IX	6		○	
							90115H				山梨県	シラビソ植林	29	IX	6		○	
							90400A				秋田県	常緑広葉樹植林	1	IX	6		○	
											群馬県	常緑広葉樹植林		IX	6		○	
											静岡県	常緑広葉樹植林		IX	6		○	
											大阪府	常緑広葉樹植林		IX	6		○	
											奈良県	常緑広葉樹植林	4	IX	6		○	
											山口県	常緑広葉樹植林		IX	6		○	
											佐賀県	常緑広葉樹植林		IX	6		○	
											大分県	常緑広葉樹植林	3	IX	6		○	
											宮崎県	常緑広葉樹植林	5	IX	6		○	
											沖縄県	常緑広葉樹植林	2	IX	6		○	
							90400C				東京都	ガジュマル植林	1	IX	6		○	
							90400D				東京都	ツグ植林		IX	6		○	
							90400E				東京都	ヤブツバキ植林	1	IX	6		○	
				90401B	神奈川県	クスノキ植林					IX	6		○				
					兵庫県	クスノキ植林					IX	6		○				
					奈良県	クスノキ植林					IX	6		○				
					福岡県	クスノキ植林	2				IX	6		○				
					長崎県	クスノキ植林					IX	6		○				
					熊本県	クスノキ植林					IX	6		○				
					宮崎県	クスノキ植林					IX	6		○				
					鹿児島県	クスノキ植林					IX	6		○				
				90402	千葉県	マテバシイ植林	18				IX	6		○				
					神奈川県	マテバシイ植林					IX	6		○				
					佐賀県	マテバシイ植林					IX	6		○				
					鹿児島県	マテバシイ植林					IX	6		○				
				90500A	北海道	落葉広葉樹植林	101				IX	6		○				
					青森県	落葉広葉樹植林	11				IX	6		○				
					宮城県	落葉広葉樹植林	2				IX	6		○				
					秋田県	落葉広葉樹植林	3				IX	6		○				
					福島県	落葉広葉樹植林	7				IX	6		○				
					茨城県	落葉広葉樹植林					IX	6		○				
					群馬県	落葉広葉樹植林	1				IX	6		○				
					千葉県	落葉広葉樹植林					IX	6		○				
					東京都	落葉広葉樹植林	1				IX	6		○				
					神奈川県	落葉広葉樹植林	5				IX	6		○				
					新潟県	落葉広葉樹植林	1	IX	6		○							
					石川県	落葉広葉樹植林		IX	6		○							
					山梨県	落葉広葉樹植林	1	IX	6		○							
					静岡県	落葉広葉樹植林		IX	6		○							

植生 区分	大区 コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落 コード	都道府 県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回 3次メ ッシュ 数	旧植 生区 分	自然 度コ ード	変更 チェック 植生 区分	変更 チェック 群落 名							
DX	54	植林地	その他植林		その他植林	90500A	京都府	落葉広葉樹植林	2	IX	6		○							
						兵庫県	落葉広葉樹植林		IX	6		○								
						奈良県	落葉広葉樹植林	2	IX	6		○								
						島根県	落葉広葉樹植林		IX	6		○								
						山口県	落葉広葉樹植林	3	IX	6		○								
						香川県	落葉広葉樹植林	6	IX	6		○								
						愛媛県	落葉広葉樹植林		IX	6		○								
						福岡県	落葉広葉樹植林	12	IX	6		○								
						佐賀県	落葉広葉樹植林	1	IX	6		○								
						熊本県	落葉広葉樹植林	43	IX	6		○								
						宮崎県	落葉広葉樹植林	179	IX	6		○								
						鹿児島県	落葉広葉樹植林	2	IX	6		○								
						沖縄県	落葉広葉樹植林		IX	6		○								
						90500B	千葉県	クスギ植林		IX	6		○							
							愛知県	クスギ植林		IX	6		○							
							和歌山県	クスギ植林		IX	6		○							
							愛媛県	クスギ植林		IX	6		○							
						90500C	大分県	クスギ群落		IX	6		○							
						90500D	奈良県	サクブ植林		IX	6		○							
						90500F	宮崎県	クスギコナラ植林		IX	6		○							
						90500G	宮崎県	ケヤキ植林		IX	6		○							
						90500I	島根県	落葉広葉樹		IX	6		○							
						90500J	宮崎県	オオハヤシヤブシ植林		IX	6		○							
						90500K	宮崎県	オニグルミ植林		IX	6		○							
						90507E	山梨県	ヤマハノキ植林		IX	6		○							
	90507H	宮崎県	ケヤマハノキ植林		IX	6		○												
	91800	東京都	テリハボク林		IX	6		○												
	91900	東京都	オオハマボク林		IX	6		○												
	92000	東京都	ヒロウ植林		IX	6		○												
	92100	東京都	マルバクエグミ植林		IX	6		○												
		55	竹林			竹林	90700A	宮城県	竹林	1	IX	7								
								秋田県	竹林		IX	7								
								福島県	竹林		IX	7								
								茨城県	竹林		IX	7								
								群馬県	竹林		IX	7								
								千葉県	竹林	13	IX	7								
								東京都	竹林	2	IX	7								
								神奈川県	竹林	3	IX	7								
								新潟県	竹林	6	IX	7								
								福井県	竹林	3	IX	7								
								山梨県	竹林	3	IX	7								
								長野県	竹林	3	IX	7								
								岐阜県	竹林	3	IX	7								
								静岡県	竹林	13	IX	7								
								愛知県	竹林	5	IX	7								
							三重県	竹林	2	IX	7									
							滋賀県	竹林	12	IX	7									
							京都府	竹林	32	IX	7									
							大阪府	竹林	12	IX	7									
							兵庫県	竹林	11	IX	7									
							奈良県	竹林	2	IX	7									
							和歌山県	竹林	1	IX	7									
							島根県	竹林		IX	7									
							岡山県	竹林	4	IX	7									
							広島県	竹林	1	IX	7									
							山口県	竹林	28	IX	7									
							徳島県	竹林	4	IX	7									
							愛媛県	竹林	1	IX	7									
							高知県	竹林	3	IX	7									
							長崎県	竹林		IX	7									
							熊本県	竹林	11	IX	7									
							大分県	竹林	31	IX	7									
							鹿児島県	竹林	7	IX	7									
							沖縄県	竹林		IX	7									
							90700C	石川県	モウソウチク植林		IX	7		○						
									モウソウチク林		モウソウチク林	90701B	茨城県	モウソウチク林	3	IX	7			
													栃木県	モウソウチク林	2	IX	7			
													埼玉県	モウソウチク林	7	IX	7			
													富山県	モウソウチク林	7	IX	7			
													石川県	モウソウチク林	17	IX	7			
													福井県	モウソウチク林		IX	7			
													三重県	モウソウチク林	11	IX	7			
													鳥取県	モウソウチク林		IX	7			
													島根県	モウソウチク林	8	IX	7			
													徳島県	モウソウチク林	37	IX	7			
			香川県	モウソウチク林	8	IX						7								

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名			
IX	55	竹林	モウソウチク林		モウソウチク林	90701B	愛媛県	モウソウチク林		DX	7					
							福岡県	モウソウチク林	42	DX	7					
							佐賀県	モウソウチク林	12	DX	7					
							長崎県	モウソウチク林	2	DX	7					
							宮崎県	モウソウチク林	10	DX	7					
							鹿児島県	モウソウチク林	43	DX	7					
							山形県	マダケ林	2	DX	7			○		
							茨城県	マダケ・ハチク林		DX	7					
							埼玉県	マダケ・ハチク林		DX	7					
							島根県	マダケ・ハチク林	9	DX	7					
							香川県	マダケ・ハチク林	1	DX	7					
							福岡県	マダケ・ハチク林	1	DX	7					
							佐賀県	マダケ・ハチク林		DX	7					
							長崎県	マダケ・ハチク林		DX	7					
							宮崎県	マダケ・ハチク林	2	DX	7					
					ホウライチク・ホテイチク林	ホウライチク・ホテイチク林	70400A	沖縄県	ササ・タケ群落	1	VI	5	○	○		
								宮崎県	ササ・タケ群落	1	VI	5	○	○		
							70400I	宮崎県	ホウライチク・ゴキダケ群落		VI	5	○	○		
								宮崎県	ホウライチク群落		VI	5	○	○		
								宮崎県	ホウライチク林		DX	7		○		
							70400J	宮崎県	ホテイチク群落	1	VI	5	○	○		
							70401J	宮崎県	ホテイチク林		VI	7	○	○		
		56	牧草地・ゴルフ場・芝地			牧草地・ゴルフ場・芝地	91500C	埼玉県	人工草地	2	DX	2		○		
							東京都	人工草地	32	DX	2			○		
							神奈川県	人工草地	13	DX	2				○	
							静岡県	人工草地	56	DX	2				○	
							三重県	人工草地	61	DX	2				○	
							兵庫県	人工草地	73	DX	2				○	
							高知県	人工草地	4	DX	2				○	
							沖縄県	人工草地	19	DX	2				○	
							91500D	青森県	牧草地, ゴルフ場, 飛行場	255	DX	2				○
								鳥取県	牧草地, ゴルフ場, 飛行場	43	DX	2				○
							91500F	滋賀県	牧草地, 人工草地	5	DX	2				○
							91500G	山形県	牧草地, ゴルフ場, スキー場	52	DX	2				○
							91500H	北海道	飛行場	20	DX	2				○
							91500I	新潟県	牧草地, 飛行場	19	DX	2				○
							91500K	岩手県	牧草地, ゴルフ場	335	DX	2				○
								福島県	牧草地, ゴルフ場	89	DX	2				○
								茨城県	牧草地, ゴルフ場	65	DX	2				○
								岐阜県	牧草地, ゴルフ場	44	DX	2				○
								沖縄県	牧草地, ゴルフ場	38	DX	2				○
							91500L	群馬県	牧草地, ゴルフ場, 採草地	79	DX	2				○
						91500N	奈良県	人工草地, ゴルフ場	17	DX	2				○	
						91500O	山口県	牧草地, ゴルフ場, 飛行場, 採草地	29	DX	2				○	
						91501M	長崎県	ゴルフ場, 飛行場	8	DX	2				○	
						91500E	和歌山県	ゴルフ場, 公園芝地, シバーチドメグサ群落	13	DX	2				○	
						91500J	長崎県	ゴルフ場, 飛行場の芝地	9	DX	2				○	
						91501B	北海道	ゴルフ場	145	DX	2				○	
							宮城県	ゴルフ場	52	DX	2				○	
							茨城県	ゴルフ場	58	DX	2				○	
							栃木県	ゴルフ場	104	DX	2				○	
							埼玉県	ゴルフ場	89	DX	2				○	
							千葉県	ゴルフ場	101	DX	2				○	
							神奈川県	ゴルフ場	18	DX	2				○	
							新潟県	ゴルフ場	21	DX	2				○	
							富山県	ゴルフ場	8	DX	2				○	
							石川県	ゴルフ場	29	DX	2				○	
							福井県	ゴルフ場	15	DX	2				○	
							岐阜県	ゴルフ場	50	DX	2				○	
							静岡県	ゴルフ場	11	DX	2				○	
							愛知県	ゴルフ場	44	DX	2				○	
							滋賀県	ゴルフ場	34	DX	2				○	
							大阪府	ゴルフ場	27	DX	2				○	
							兵庫県	ゴルフ場	32	DX	2				○	
					和歌山県	ゴルフ場	3	DX	2				○			
					鳥取県	ゴルフ場	2	DX	2				○			
					岡山県	ゴルフ場	39	DX	2				○			
					広島県	ゴルフ場	29	DX	2				○			
					徳島県	ゴルフ場	3	DX	2				○			
					香川県	ゴルフ場	18	DX	2				○			
					愛媛県	ゴルフ場	8	DX	2				○			
					高知県	ゴルフ場	8	DX	2				○			
					福岡県	ゴルフ場	30	DX	2				○			
					佐賀県	ゴルフ場	12	DX	2				○			
					熊本県	ゴルフ場	25	DX	2				○			
					宮崎県	ゴルフ場	15	DX	2				○			

種生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群号コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然区コード	変更チェック 植生区分	変更チェック 群号								
IX	56	牧草地・ゴルフ場・芝地	牧草地		牧草地	51200	新潟県	ナガハグサ群落	4	V	4	○	○								
							静岡県	ナガハグサ群落	1	V	4	○	○								
							91500A	北海道	牧草地	7272	IX	2									
							香森県	牧草地	23	IX	2										
							宮城県	牧草地	56	IX	2										
							秋田県	牧草地	100	IX	2										
							福島県	牧草地	33	IX	2										
							茨城県	牧草地	4	IX	2										
							栃木県	牧草地	44	IX	2										
							群馬県	牧草地	18	IX	2										
							千葉県	牧草地	24	IX	2										
							神奈川県	牧草地	6	IX	2										
							新潟県	牧草地	21	IX	2										
							富山県	牧草地	5	IX	2										
							石川県	牧草地	16	IX	2										
							福井県	牧草地	5	IX	2										
							山梨県	牧草地	22	IX	2										
							長野県	牧草地	95	IX	2										
							岐阜県	牧草地	12	IX	2										
							愛知県	牧草地	4	IX	2										
							京都府	牧草地	27	IX	2										
							大阪府	牧草地		IX	2										
							奈良県	牧草地	3	IX	2										
							鳥取県	牧草地	26	IX	2										
							岡山県	牧草地	36	IX	2										
							広島県	牧草地	13	IX	2										
							山口県	牧草地	21	IX	2										
							徳島県	牧草地	8	IX	2										
							香川県	牧草地		IX	2										
							愛媛県	牧草地	16	IX	2										
							福岡県	牧草地	26	IX	2										
							佐賀県	牧草地	10	IX	2										
							長崎県	牧草地	5	IX	2										
							熊本県	牧草地	78	IX	2										
							大分県	牧草地	55	IX	2										
							宮崎県	牧草地	12	IX	2										
							鹿児島県	牧草地	78	IX	2										
							IX	57	耕作地	路傍・空地雑草群落		路傍・空地雑草群落	52100	北海道	雑草草原	141	V	5	○	○	
														70900A	群馬県	路傍雑草群落	8	VI	4	○	○
														埼玉県	路傍雑草群落	25	VI	4	○	○	
														千葉県	路傍雑草群落	94	VI	4	○	○	
														東京都	路傍雑草群落	30	VI	4	○	○	
														神奈川県	路傍雑草群落	3	VI	4	○	○	
														石川県	路傍雑草群落	3	VI	4	○	○	
														山梨県	路傍雑草群落		VI	4	○	○	
														岐阜県	路傍雑草群落	12	VI	4	○	○	
														静岡県	路傍雑草群落	5	VI	4	○	○	
														奈良県	路傍雑草群落	6	VI	4	○	○	
														山口県	路傍雑草群落		VI	4	○	○	
														徳島県	路傍雑草群落	11	VI	4	○	○	
愛媛県	路傍雑草群落	10	VI	4	○	○															
高知県	路傍雑草群落		VI	4	○	○															
福岡県	路傍雑草群落	6	VI	4	○	○															
宮崎県	路傍雑草群落	1	VI	4	○	○															
鹿児島県	路傍雑草群落	1	VI	4	○	○															
沖縄県	路傍雑草群落		VI	4	○	○															
70900H	東京都	空地・埋立地植物群落		VI	2	○								○							
70900I	宮崎県	路傍群落	5	VI	2	○								○							
70900J	宮崎県	路傍群落・路傍雑草群落	7	VI	2	○								○							
75600	宮崎県	広葉地・のり草本植生	1	VI	5	○								○							
91400D	北海道	耕作放棄地雑草群落	328	IX	4	○								○							
IX				クズ-カナムグラ群落	クズ-カナムグラ群落	70901B								東京都	耕作放棄地雑草群落		IX	4			
														茨城県	クズ-カナムグラ群落	2	VI	4	○		
														神奈川県	クズ-カナムグラ群落		VI	4	○		
														愛知県	クズ-カナムグラ群落		VI	4	○		
														滋賀県	クズ-カナムグラ群落	1	VI	4	○		
														奈良県	クズ-カナムグラ群落	1	VI	4	○		
							山口県	クズ-カナムグラ群落	1	VI	4	○									
							福岡県	クズ-カナムグラ群落	1	VI	4	○									
							70902C	茨城県	セイダカアワダチソウ群落	1	VI	2	○	○							
							神奈川県	セイダカアワダチソウ群落		VI	2	○	○								
IX					セイタカアワダチソウ群落	70902C	愛知県	セイダカアワダチソウ群落		VI	2	○	○								
							滋賀県	セイダカアワダチソウ群落	4	VI	2	○	○								
							山口県	セイダカアワダチソウ群落	3	VI	2	○	○								
							福岡県	セイダカアワダチソウ群落	18	VI	2	○	○								
							宮崎県	セイダカアワダチソウ群落		VI	2	○	○								



植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名												
IX	57	耕作地	路傍・空地雑草群落	セイタカアワダチソウ群落 オオアワダチソウ-オオハンゴンソウ群落 ヨモギ群落	セイタカアワダチソウ群落 オオアワダチソウ-オオハンゴンソウ群落 ヨモギ群落	70902C	鹿児島県	セイタカアワダチソウ群落		VB	2	○	○												
						51500	北海道	オオアワダチソウ-オオハンゴンソウ群落	2	V	2	○	○												
						70903D	茨城県	ヨモギ群落		VB	4	○	○												
							神奈川県	ヨモギ群落		VB	4	○	○												
							静岡県	ヨモギ群落	4	VB	4	○	○												
							滋賀県	ヨモギ群落	6	VB	4	○	○												
							鳥取県	ヨモギ群落	3	VB	4	○	○												
							鹿児島県	ヨモギ群落		VB	4	○	○												
							74000	東京都	オニチカラシバ群落		VB	4	○	○											
							74300	東京都	コトブキクレーモンバノキ群落	1	VB	5	○	○											
						90800	果樹園	果樹園	果樹園	果樹園	果樹園	90800	茨城県	常緑果樹園	1	IX	3	○	○						
												栃木県	常緑果樹園		IX	3	○	○							
												埼玉県	常緑果樹園		IX	3	○	○							
												千葉県	常緑果樹園	21	IX	3	○	○							
												東京都	常緑果樹園	1	IX	3	○	○							
												神奈川県	常緑果樹園	66	IX	3	○	○							
												福井県	常緑果樹園	1	IX	3	○	○							
												山梨県	常緑果樹園		IX	3	○	○							
												岐阜県	常緑果樹園	5	IX	3	○	○							
												静岡県	常緑果樹園	308	IX	3	○	○							
												愛知県	常緑果樹園	50	IX	3	○	○							
												三重県	常緑果樹園	48	IX	3	○	○							
												京都府	常緑果樹園		IX	3	○	○							
												大阪府	常緑果樹園	42	IX	3	○	○							
												兵庫県	常緑果樹園	12	IX	3	○	○							
												奈良県	常緑果樹園	9	IX	3	○	○							
												和歌山県	常緑果樹園	251	IX	3	○	○							
												鳥取県	常緑果樹園	8	IX	3	○	○							
												岡山県	常緑果樹園	13	IX	3	○	○							
												広島県	常緑果樹園	121	IX	3	○	○							
												山口県	常緑果樹園	73	IX	3	○	○							
												徳島県	常緑果樹園	78	IX	3	○	○							
												香川県	常緑果樹園	91	IX	3	○	○							
												愛媛県	常緑果樹園	416	IX	3	○	○							
												高知県	常緑果樹園	23	IX	3	○	○							
												福岡県	常緑果樹園	160	IX	3	○	○							
												佐賀県	常緑果樹園	184	IX	3	○	○							
												長崎県	常緑果樹園	233	IX	3	○	○							
												熊本県	常緑果樹園	250	IX	3	○	○							
												大分県	常緑果樹園	219	IX	3	○	○							
												宮崎県	常緑果樹園	60	IX	3	○	○							
												鹿児島県	常緑果樹園	79	IX	3	○	○							
												90900A	落葉果樹園	落葉果樹園	落葉果樹園	落葉果樹園	落葉果樹園	90900A	北海道	落葉果樹園	67	IX	3	○	○
																		青森県	落葉果樹園	359	IX	3	○	○	
																		岩手県	落葉果樹園	40	IX	3	○	○	
																		宮城県	落葉果樹園	23	IX	3	○	○	
																		秋田県	落葉果樹園	49	IX	3	○	○	
																		山形県	落葉果樹園	168	IX	3	○	○	
																		福島県	落葉果樹園	127	IX	3	○	○	
																		茨城県	落葉果樹園	40	IX	3	○	○	
																		栃木県	落葉果樹園	15	IX	3	○	○	
																		群馬県	落葉果樹園	21	IX	3	○	○	
																		埼玉県	落葉果樹園	9	IX	3	○	○	
																		千葉県	落葉果樹園	15	IX	3	○	○	
																		東京都	落葉果樹園	3	IX	3	○	○	
																		神奈川県	落葉果樹園	6	IX	3	○	○	
																		新潟県	落葉果樹園	25	IX	3	○	○	
																		富山県	落葉果樹園	3	IX	3	○	○	
																		石川県	落葉果樹園	24	IX	3	○	○	
																		福井県	落葉果樹園	4	IX	3	○	○	
																		山梨県	落葉果樹園	150	IX	3	○	○	
																		長野県	落葉果樹園	171	IX	3	○	○	
																		岐阜県	落葉果樹園	24	IX	3	○	○	
																		静岡県	落葉果樹園	1	IX	3	○	○	
																		愛知県	落葉果樹園	24	IX	3	○	○	
																		三重県	落葉果樹園	3	IX	3	○	○	
																		滋賀県	落葉果樹園	4	IX	3	○	○	
																		京都府	落葉果樹園	10	IX	3	○	○	
																		大阪府	落葉果樹園	24	IX	3	○	○	
																		兵庫県	落葉果樹園	14	IX	3	○	○	
																		奈良県	落葉果樹園	30	IX	3	○	○	
																		和歌山県	落葉果樹園	51	IX	3	○	○	
																		鳥取県	落葉果樹園	80	IX	3	○	○	
																		岡山県	落葉果樹園	16	IX	3	○	○	
																		広島県	落葉果樹園	58	IX	3	○	○	

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名
IX	57	耕作地		果樹園			果樹園	90900A	広島県 落葉果樹園	8	IX	3	○
								山口県 落葉果樹園	6	IX	3	○	
								徳島県 落葉果樹園	9	IX	3	○	
								香川県 落葉果樹園	23	IX	3	○	
								愛媛県 落葉果樹園	10	IX	3	○	
								高知県 落葉果樹園	1	IX	3	○	
								福岡県 落葉果樹園	73	IX	3	○	
								佐賀県 落葉果樹園	8	IX	3	○	
								熊本県 落葉果樹園	22	IX	3	○	
								宮崎県 落葉果樹園	19	IX	3	○	
								90900D	長崎県 落葉果樹園・ハゼノキ植栽		IX	3	○
								91000	宮城県 桑園	24	IX	3	○
								秋田県 桑園		IX	3	○	
								山形県 桑園	71	IX	3	○	
								福島県 桑園	219	IX	3	○	
								茨城県 桑園	30	IX	3	○	
								栃木県 桑園	25	IX	3	○	
								群馬県 桑園	320	IX	3	○	
								埼玉県 桑園	45	IX	3	○	
								東京都 桑園		IX	3	○	
								神奈川県 桑園	10	IX	3	○	
								新潟県 桑園	11	IX	3	○	
								石川県 桑園	2	IX	3	○	
								山梨県 桑園	135	IX	3	○	
								岐阜県 桑園	11	IX	3	○	
								静岡県 桑園		IX	3	○	
								愛知県 桑園	11	IX	3	○	
								三重県 桑園	12	IX	3	○	
								滋賀県 桑園	3	IX	3	○	
								京都府 桑園	12	IX	3	○	
								兵庫県 桑園	2	IX	3	○	
								奈良県 桑園	1	IX	3	○	
								和歌山県 桑園	1	IX	3	○	
								鳥取県 桑園	1	IX	3	○	
								島根県 桑園	9	IX	3	○	
								徳島県 桑園	15	IX	3	○	
								香川県 桑園	1	IX	3	○	
								愛媛県 桑園	4	IX	3	○	
								高知県 桑園	7	IX	3	○	
								佐賀県 桑園	1	IX	3	○	
								長崎県 桑園	4	IX	3	○	
								熊本県 桑園	22	IX	3	○	
								大分県 桑園	19	IX	3	○	
								宮崎県 桑園	1	IX	3	○	
								沖縄県 桑園	1	IX	3	○	
								91000B	埼玉県 桑畑	167	IX	3	○
								千葉県 桑畑	1	IX	3	○	
								滋賀県 桑畑		IX	3	○	
								福岡県 桑畑	1	IX	3	○	
								宮崎県 桑畑	7	IX	3	○	
鹿児島県 桑畑		IX	3	○									
91100	茨城県 茶畑		IX	3	○								
群馬県 茶畑		IX	3	○									
埼玉県 茶畑	16	IX	3	○									
東京都 茶畑	1	IX	3	○									
神奈川県 茶畑	1	IX	3	○									
石川県 茶畑		IX	3	○									
福井県 茶畑	5	IX	3	○									
山梨県 茶畑	7	IX	3	○									
長野県 茶畑		IX	3	○									
岐阜県 茶畑	16	IX	3	○									
静岡県 茶畑	223	IX	3	○									
愛知県 茶畑	4	IX	3	○									
三重県 茶畑	59	IX	3	○									
滋賀県 茶畑	8	IX	3	○									
京都府 茶畑	20	IX	3	○									
兵庫県 茶畑		IX	3	○									
奈良県 茶畑	10	IX	3	○									
和歌山県 茶畑	1	IX	3	○									
島根県 茶畑		IX	3	○									
山口県 茶畑	2	IX	3	○									
徳島県 茶畑	5	IX	3	○									
香川県 茶畑	4	IX	3	○									
愛媛県 茶畑		IX	3	○									
高知県 茶畑	13	IX	3	○									
福岡県 茶畑	8	IX	3	○									

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名	
IX	57	耕作地	畑地雑草群落		畑地雑草群落	91100	佐賀県	茶畑	15	IX	3		○	
							長崎県	茶畑	5	IX	3		○	
							熊本県	茶畑	6	IX	3		○	
							大分県	茶畑	2	IX	3		○	
							宮崎県	茶畑	12	IX	3		○	
							鹿児島県	茶畑	62	IX	3		○	
							沖縄県	茶畑		IX	3		○	
							91100B	島根県	茶園	3	IX	3		○
								大分県	茶園		IX	3		○
							91200	北海道	苗圃	14	IX	3		○
								青森県	苗圃	3	IX	3		○
								秋田県	苗圃	3	IX	3		○
								山形県	苗圃	2	IX	3		○
								茨城県	苗圃		IX	3		○
						栃木県		苗圃	4	IX	3		○	
						埼玉県		苗圃	27	IX	3		○	
						千葉県		苗圃	16	IX	3		○	
						東京都		苗圃	12	IX	3		○	
						神奈川県		苗圃	1	IX	3		○	
						新潟県		苗圃	1	IX	3		○	
						富山県		苗圃		IX	3		○	
						石川県		苗圃		IX	3		○	
						三重県		苗圃	15	IX	3		○	
						滋賀県		苗圃		IX	3		○	
						大阪府		苗圃	5	IX	3		○	
						和歌山県		苗圃		IX	3		○	
						鳥取県		苗圃		IX	3		○	
						島根県		苗圃		IX	3		○	
						山口県		苗圃	1	IX	3		○	
						徳島県		苗圃		IX	3		○	
						香川県		苗圃		IX	3		○	
						高知県		苗圃		IX	3		○	
						福岡県		苗圃	23	IX	3		○	
						宮崎県		苗圃	2	IX	3		○	
						沖縄県		苗圃		IX	3		○	
						91300A		青森県	畑地雑草群落	515	IX	2		○
								岩手県	畑地雑草群落	1033	IX	2		○
								宮城県	畑地雑草群落	300	IX	2		○
								秋田県	畑地雑草群落	205	IX	2		○
								福島県	畑地雑草群落	564	IX	2		○
								茨城県	畑地雑草群落	1167	IX	2		○
								群馬県	畑地雑草群落	506	IX	2		○
								埼玉県	畑地雑草群落	323	IX	2		○
							千葉県	畑地雑草群落	653	IX	2		○	
							東京都	畑地雑草群落	64	IX	2		○	
							神奈川県	畑地雑草群落	124	IX	2		○	
							新潟県	畑地雑草群落	238	IX	2		○	
							富山県	畑地雑草群落	31	IX	2		○	
							石川県	畑地雑草群落	30	IX	2		○	
							福井県	畑地雑草群落	29	IX	2		○	
							山梨県	畑地雑草群落	98	IX	2		○	
							長野県	畑地雑草群落	671	IX	2		○	
							岐阜県	畑地雑草群落	98	IX	2		○	
							静岡県	畑地雑草群落	258	IX	2		○	
愛知県	畑地雑草群落	334	IX	2			○							
三重県	畑地雑草群落	120	IX	2			○							
滋賀県	畑地雑草群落	6	IX	2			○							
京都府	畑地雑草群落	24	IX	2			○							
大阪府	畑地雑草群落	6	IX	2			○							
兵庫県	畑地雑草群落	35	IX	2			○							
奈良県	畑地雑草群落	24	IX	2			○							
和歌山県	畑地雑草群落	31	IX	2			○							
島根県	畑地雑草群落	46	IX	2			○							
岡山県	畑地雑草群落	225	IX	2			○							
広島県	畑地雑草群落	182	IX	2			○							
山口県	畑地雑草群落	35	IX	2			○							
徳島県	畑地雑草群落	133	IX	2			○							
香川県	畑地雑草群落	33	IX	2			○							
愛媛県	畑地雑草群落	178	IX	2			○							
高知県	畑地雑草群落	128	IX	2			○							
福岡県	畑地雑草群落	21	IX	2			○							
佐賀県	畑地雑草群落	33	IX	2			○							
長崎県	畑地雑草群落	368	IX	2			○							
熊本県	畑地雑草群落	460	IX	2			○							
大分県	畑地雑草群落	164	IX	2			○							
宮崎県	畑地雑草群落	449	IX	2			○							

植生区分	大区コード	大区	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名	
IX	57	耕作地	畑地雑草群落		畑地雑草群落	91300A	鹿児島県	畑地雑草群落	1231	IX	2			
							神奈川県	畑地雑草群落	578	IX	2			
						91300B	北海道	畑地	6411	IX	2		○	
							山形県	畑地	154	IX	2		○	
							茨城県	畑地	2	IX	2		○	
							栃木県	畑地	383	IX	2		○	
							石川県	畑地	64	IX	2		○	
							滋賀県	畑地	7	IX	2		○	
							鳥取県	畑地	106	IX	2		○	
							島根県	畑地	26	IX	2		○	
							福岡県	畑地	25	IX	2		○	
						91300D	茨城県	耕作畑雑草群落		IX	2		○	
							東京都	耕作畑雑草群落		IX	2		○	
						91400A	茨城県	休耕地雑草群落		1	IX	4		○
							栃木県	休耕地雑草群落		1	IX	4		○
							埼玉県	休耕地雑草群落		9	IX	4		○
							千葉県	休耕地雑草群落			IX	4		○
							東京都	休耕地雑草群落		1	IX	4		○
							三重県	休耕地雑草群落		5	IX	4		○
							神奈川	休耕地雑草群落			IX	4		○
						91400B	群馬県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落			IX	4		○
							神奈川県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落			IX	4		○
							新潟県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		2	IX	4		○
							富山県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		6	IX	4		○
							石川県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		1	IX	4		○
							山梨県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		19	IX	4		○
							岐阜県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		8	IX	4		○
							静岡県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落			IX	4		○
							愛知県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		3	IX	4		○
							滋賀県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		1	IX	4		○
							島根県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		1	IX	4		○
							山口県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		4	IX	4		○
							福岡県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		1	IX	4		○
							佐賀県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落			IX	4		○
							長崎県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		22	IX	4		○
							宮崎県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		2	IX	4		○
							鹿児島県	ヒメムカシヨモギ-オオアレチノギク群落		13	IX	4		○
						91400E	山形県	休耕地		2	IX	4		○
						91400G	千葉県	オオアレチノギク-ヒメムカシヨモギ群落		5	IX	4		○
						73700	東京都	アオリュウゼツラン群落			VI	5		○
						74400	東京都	サイザルアサ群落			VI	5		○
						91600A	青森県	水田雑草群落		1180	IX	2		
							岩手県	水田雑草群落		1754	IX	2		
							宮城県	水田雑草群落		1664	IX	2		
							秋田県	水田雑草群落		1878	IX	2		
							福島県	水田雑草群落		1652	IX	2		
							茨城県	水田雑草群落		1263	IX	2		
							群馬県	水田雑草群落		464	IX	2		
							埼玉県	水田雑草群落		822	IX	2		
							千葉県	水田雑草群落		1248	IX	2		
							東京都	水田雑草群落		11	IX	2		
							神奈川県	水田雑草群落		119	IX	2		
	新潟県	水田雑草群落		2518	IX	2								
	富山県	水田雑草群落		951	IX	2								
	石川県	水田雑草群落		322	IX	2								
	山梨県	水田雑草群落		171	IX	2								
	長野県	水田雑草群落		1093	IX	2								
	岐阜県	水田雑草群落		803	IX	2								
	静岡県	水田雑草群落		617	IX	2								
	愛知県	水田雑草群落		981	IX	2								
	三重県	水田雑草群落		777	IX	2								
	滋賀県	水田雑草群落		359	IX	2								
	京都府	水田雑草群落		487	IX	2								
	大阪府	水田雑草群落		275	IX	2								
	兵庫県	水田雑草群落		1426	IX	2								
	奈良県	水田雑草群落		347	IX	2								
	和歌山県	水田雑草群落		207	IX	2								
	鳥取県	水田雑草群落		529	IX	2								
	岡山県	水田雑草群落		1174	IX	2								
	広島県	水田雑草群落		1151	IX	2								
	山口県	水田雑草群落		784	IX	2								
	徳島県	水田雑草群落		404	IX	2								
	香川県	水田雑草群落		454	IX	2								
	愛媛県	水田雑草群落		517	IX	2								
	高知県	水田雑草群落		407	IX	2								
	福岡県	水田雑草群落		979	IX	2								
		アオリュウゼツラン群落												
		サイザルアサ群落												
		水田雑草群落												

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名						
IX	57	耕作地	水田雑草群落		水田雑草群落	91600A	佐賀県	水田雑草群落	660	IX	2								
							長崎県	水田雑草群落	418	IX	2								
							熊本県	水田雑草群落	1095	IX	2								
							大分県	水田雑草群落	802	IX	2								
							宮崎県	水田雑草群落	549	IX	2								
							鹿児島県	水田雑草群落	591	IX	2								
							沖縄県	水田雑草群落	6	IX	2								
							91600B	北海道	水田	2955	IX	2							
								山形県	水田	1411	IX	2							
								栃木県	水田	1383	IX	2							
								石川県	水田	352	IX	2							
								福井県	水田	636	IX	2							
								滋賀県	水田	367	IX	2							
								鳥取県	水田	465	IX	2							
						島根県	水田	271	IX	2									
						91700A	青森県	休耕田雑草群落	15	IX	4								
							福島県	休耕田雑草群落	3	IX	4								
							茨城県	休耕田雑草群落	2	IX	4								
							栃木県	休耕田雑草群落	36	IX	4								
							埼玉県	休耕田雑草群落	31	IX	4								
							千葉県	休耕田雑草群落	31	IX	4								
			東京都	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			神奈川県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			新潟県	休耕田雑草群落	3		IX	4											
			石川県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			山梨県	休耕田雑草群落	2		IX	4											
			長野県	休耕田雑草群落	5		IX	4											
			岐阜県	休耕田雑草群落	9		IX	4											
			静岡県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			愛知県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			三重県	休耕田雑草群落	9		IX	4											
			滋賀県	休耕田雑草群落	3		IX	4											
			京都府	休耕田雑草群落	18		IX	4											
			大阪府	休耕田雑草群落	4		IX	4											
			兵庫県	休耕田雑草群落	3		IX	4											
			奈良県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			和歌山県	休耕田雑草群落	3		IX	4											
			鳥取県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			山口県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			香川県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			福岡県	休耕田雑草群落	5		IX	4											
			長崎県	休耕田雑草群落	4		IX	4											
			宮崎県	休耕田雑草群落	1		IX	4											
			鹿児島県	休耕田雑草群落	2		IX	4											
			沖縄県	休耕田雑草群落	7		IX	4											
			91700B	山形県	休耕田		2	IX	4										
				滋賀県	休耕田		2	IX	4										
91700C	東京都	ヨシ群落	1	IX	4														
A0100	埼玉県	市街地	1	X	1														
70900E A0100A	静岡県	ミノボロスグーオオバコ群落	1	Ⅷ	2														
	北海道	市街地	531	X	1														
	青森県	市街地	312	X	1														
	岩手県	市街地	219	X	1														
	宮城県	市街地	463	X	1														
	秋田県	市街地	215	X	1														
	山形県	市街地	53	X	1														
	福島県	市街地	283	X	1														
	茨城県	市街地	254	X	1														
	栃木県	市街地	272	X	1														
	群馬県	市街地	51	X	1														
	埼玉県	市街地	447	X	1														
	千葉県	市街地	386	X	1														
	東京都	市街地	718	X	1														
	神奈川県	市街地	711	X	1														
	新潟県	市街地	246	X	1														
	富山県	市街地	138	X	1														
	石川県	市街地	29	X	1														
	福井県	市街地	174	X	1														
	山梨県	市街地	149	X	1														
	長野県	市街地	203	X	1														
	岐阜県	市街地	412	X	1														
	静岡県	市街地	446	X	1														
	愛知県	市街地	850	X	1														
	三重県	市街地	263	X	1														
	滋賀県	市街地	204	X	1														
	京都府	市街地	272	X	1														
	X	58	市街地等	市街地		市街地	A0100A	東京都	市街地	1	X	1							

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群集コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群集名		
X	58	市街地等	市街地		市街地		A0100A	大阪府 市街地	586	X	1				
							兵庫県 市街地	407	X	1					
							奈良県 市街地	176	X	1					
							和歌山県 市街地	126	X	1					
							鳥取県 市街地	31	X	1					
							島根県 市街地	50	X	1					
							岡山県 市街地	143	X	1					
							広島県 市街地	160	X	1					
							山口県 市街地	155	X	1					
							徳島県 市街地	10	X	1					
							香川県 市街地	148	X	1					
							愛媛県 市街地	112	X	1					
							高知県 市街地	44	X	1					
							福岡県 市街地	378	X	1					
							佐賀県 市街地	38	X	1					
							長崎県 市街地	221	X	1					
							熊本県 市街地	255	X	1					
							大分県 市街地	162	X	1					
							宮崎県 市街地	71	X	1					
							鹿児島県 市街地	245	X	1					
							沖縄県 市街地	166	X	1					
							A0100B	東京都 集落	1	X	1			○	
							A0200A	北海道 緑の多い住宅地	791	X	2			○	
								青森県 緑の多い住宅地	37	X	2			○	
								秋田県 緑の多い住宅地	87	X	2			○	
								福島県 緑の多い住宅地	131	X	2			○	
								茨城県 緑の多い住宅地	336	X	2			○	
								栃木県 緑の多い住宅地	1	X	2			○	
								群馬県 緑の多い住宅地	26	X	2			○	
								埼玉県 緑の多い住宅地	88	X	2			○	
								千葉県 緑の多い住宅地	276	X	2			○	
								東京都 緑の多い住宅地	135	X	2			○	
								神奈川県 緑の多い住宅地	55	X	2			○	
								新潟県 緑の多い住宅地	439	X	2			○	
								富山県 緑の多い住宅地	41	X	2			○	
								石川県 緑の多い住宅地	215	X	2			○	
								福井県 緑の多い住宅地	15	X	2			○	
								山梨県 緑の多い住宅地	3	X	2			○	
								長野県 緑の多い住宅地	269	X	2			○	
								岐阜県 緑の多い住宅地	147	X	2			○	
								静岡県 緑の多い住宅地	78	X	2			○	
								愛知県 緑の多い住宅地	23	X	2			○	
								三重県 緑の多い住宅地	67	X	2			○	
								滋賀県 緑の多い住宅地	51	X	2			○	
								京都府 緑の多い住宅地	29	X	2			○	
								大阪府 緑の多い住宅地	29	X	2			○	
								兵庫県 緑の多い住宅地	160	X	2			○	
								奈良県 緑の多い住宅地	1	X	2			○	
								和歌山県 緑の多い住宅地	47	X	2			○	
								鳥取県 緑の多い住宅地	56	X	2			○	
								島根県 緑の多い住宅地	120	X	2			○	
								岡山県 緑の多い住宅地	136	X	2			○	
								広島県 緑の多い住宅地	98	X	2			○	
								徳島県 緑の多い住宅地	70	X	2			○	
								香川県 緑の多い住宅地	14	X	2			○	
								高知県 緑の多い住宅地	49	X	2			○	
								福岡県 緑の多い住宅地	242	X	2			○	
								佐賀県 緑の多い住宅地	128	X	2			○	
								長崎県 緑の多い住宅地	6	X	2			○	
								熊本県 緑の多い住宅地	42	X	2			○	
								大分県 緑の多い住宅地	77	X	2			○	
								宮崎県 緑の多い住宅地	168	X	2			○	
								鹿児島県 緑の多い住宅地	278	X	2			○	
								A0200E	山形県 緑の多い住宅地、公園、樹苑等	33	X	2			○
								A0200F	青森県 緑の多い住宅地、公園、墓地	71	X	2			○
									鳥取県 緑の多い住宅地、公園、墓地	46	X	2			○
									山口県 緑の多い住宅地、公園、墓地	136	X	2			○
									愛媛県 緑の多い住宅地、公園、墓地	83	X	2			○
									長崎県 緑の多い住宅地、公園、墓地	33	X	2			○
									沖縄県 緑の多い住宅地、公園、墓地	2	X	2			○
							A0200G	群馬県 緑の多い住宅地、公園、墓地等	295	X	2			○	
								埼玉県 緑の多い住宅地、公園、墓地等	95	X	2			○	
								奈良県 緑の多い住宅地、公園、墓地等	7	X	2			○	
								山口県 緑の多い住宅地、公園、墓地等	61	X	2			○	
							A0200H	栃木県 緑の多い住宅地、公園、運動公園、研究所、墓地等	89	X	2		○		
							A0200I	山形県 緑の多い住宅地、公園、墓地、樹苑等	256	X	2		○		

植生区分	大区コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名
X	58	市街地等	市街地		市街地	A0200J	沖縄県	緑の多い住宅地、墓地、公園等	4	X	2		○
						A1000	東京都	広いコンクリート地	15	X	1		○
							新潟県	広いコンクリート地	7	X	1		○
							富山県	広いコンクリート地	1	X	1		○
						A0200B	茨城県	公園、墓地		X	2		○
							岡山県	公園、墓地	2	X	2		○
							福岡県	公園、墓地	3	X	2		○
							佐賀県	公園、墓地		X	2		○
							長崎県	公園、墓地	2	X	2		○
							宮崎県	公園、墓地	3	X	2		○
						A0200C	埼玉県	公園、墓地等	7	X	2		○
							東京都	公園、墓地等	15	X	2		○
							岐阜県	公園、墓地等	1	X	2		○
							大阪府	公園、墓地等	12	X	2		○
							和歌山県	公園、墓地等	4	X	2		○
							香川県	公園、墓地等	1	X	2		○
							福岡県	公園、墓地等	105	X	2		○
							佐賀県	公園、墓地等	3	X	2		○
						A0200D	愛媛県	公園	1	X	2		○
						A0300	北海道	工場地帯	174	X	1		
							青森県	工場地帯	12	X	1		
							秋田県	工場地帯	33	X	1		
							山形県	工場地帯	21	X	1		
							福島県	工場地帯	26	X	1		
							茨城県	工場地帯	67	X	1		
							栃木県	工場地帯	53	X	1		
							群馬県	工場地帯	27	X	1		
							埼玉県	工場地帯	62	X	1		
							千葉県	工場地帯	93	X	1		
							東京都	工場地帯	38	X	1		
							神奈川県	工場地帯	105	X	1		
							新潟県	工場地帯	9	X	1		
							富山県	工場地帯	23	X	1		
							石川県	工場地帯	6	X	1		
							福井県	工場地帯	11	X	1		
							山梨県	工場地帯	3	X	1		
							岐阜県	工場地帯	12	X	1		
							静岡県	工場地帯	29	X	1		
							愛知県	工場地帯	126	X	1		
							三重県	工場地帯	34	X	1		
							滋賀県	工場地帯	26	X	1		
							京都府	工場地帯	12	X	1		
							大阪府	工場地帯	97	X	1		
							兵庫県	工場地帯	89	X	1		
							奈良県	工場地帯	7	X	1		
							和歌山県	工場地帯	13	X	1		
							鳥取県	工場地帯	2	X	1		
							島根県	工場地帯	11	X	1		
							岡山県	工場地帯	40	X	1		
							広島県	工場地帯	37	X	1		
							山口県	工場地帯	52	X	1		
							徳島県	工場地帯	2	X	1		
							香川県	工場地帯	22	X	1		
							愛媛県	工場地帯	35	X	1		
							高知県	工場地帯	6	X	1		
							福岡県	工場地帯	90	X	1		
							佐賀県	工場地帯	3	X	1		
							長崎県	工場地帯	13	X	1		
							大分県	工場地帯	16	X	1		
							宮崎県	工場地帯	4	X	1		
							鹿児島県	工場地帯	3	X	1		
							沖縄県	工場地帯	5	X	1		
						A0300B	熊本県	工業地帯	6	X	1		○
						A0300C	徳島県	工場	3	X	1		○
							宮崎県	工場	4	X	1		○
						A0400A	北海道	造成地	295	X	1		
							岩手県	造成地	43	X	1		
							宮城県	造成地	47	X	1		
							秋田県	造成地	47	X	1		
							山形県	造成地	45	X	1		
							福島県	造成地	89	X	1		
							茨城県	造成地	103	X	1		
							栃木県	造成地	11	X	1		
							群馬県	造成地	13	X	1		
							埼玉県	造成地	15	X	1		
							千葉県	造成地	121	X	1		
								造成地					

植生区分	大区コード	大区	中区分	細区分	凡例名	群落コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群落名	
X	58	市街地等	造成地		造成地	A0400A	東京都	造成地	48	X	1			
							神奈川県	造成地	42	X	1			
							新潟県	造成地	81	X	1			
							富山県	造成地	24	X	1			
							石川県	造成地	33	X	1			
							福井県	造成地	8	X	1			
							長野県	造成地	22	X	1			
							岐阜県	造成地	40	X	1			
							静岡県	造成地	43	X	1			
							愛知県	造成地	50	X	1			
							三重県	造成地	81	X	1			
							滋賀県	造成地	40	X	1			
							京都府	造成地	26	X	1			
							大阪府	造成地	57	X	1			
							兵庫県	造成地	121	X	1			
							奈良県	造成地	3	X	1			
							和歌山県	造成地	25	X	1			
							鳥取県	造成地	28	X	1			
							岡山県	造成地	33	X	1			
							広島県	造成地	54	X	1			
							山口県	造成地	41	X	1			
							徳島県	造成地	33	X	1			
							香川県	造成地	30	X	1			
							愛媛県	造成地	10	X	1			
							高知県	造成地	18	X	1			
							福岡県	造成地	68	X	1			
							佐賀県	造成地	8	X	1			
							長崎県	造成地	24	X	1			
							熊本県	造成地	26	X	1			
							大分県	造成地	31	X	1			
							宮崎県	造成地	8	X	1			
							鹿児島県	造成地	35	X	1			
							沖縄県	造成地	14	X	1			
							A0400E	青森県	造成地, 採石場	1	X	1		○
								埼玉県	造成地, 採石場	9	X	1		○
								鳥取県	造成地, 採石場	20	X	1		○
								宮崎県	造成地, 採石場	13	X	1		○
								沖縄県	造成地, 採石場	8	X	1		○
							A0400G	栃木県	造成地, 採石場, 人為裸地	36	X	1		○
								香川県	造成地, 採石場, 人為裸地	1	X	1		○
							A0400H	青森県	造成地, 採石場, 人為裸地, 焼跡	63	X	1		○
								香川県	造成地, 採石場, 人為裸地, 焼跡	1	X	1		○
							A0400J	茨城県	造成地, ボク山, 採石場	31	X	1		○
							A0400K	奈良県	造成地, 採石地	22	X	1		○
							A0400L	山梨県	造成地, 裸地	40	X	1		○
							静岡県	造成地, 裸地	1	X	1		○	
						A0402C	福岡県	ボク山	9	X	1		○	
							長崎県	ボク山		X	1		○	
						A0403D	茨城県	採石場	5	X	1		○	
							埼玉県	採石場	4	X	1		○	
石川県	採石場	3	X	1			○							
和歌山県	採石場		X	1			○							
岡山県	採石場	4	X	1			○							
広島県	採石場	3	X	1			○							
香川県	採石場	1	X	1			○							
福岡県	採石場	12	X	1			○							
佐賀県	採石場	2	X	1			○							
長崎県	採石場	6	X	1			○							
宮崎県	採石場	1	X	1			○							
福岡県	採石地	8	X	1			○							
A0900	兵庫県	廃塩田	2	X	1			○						
	岡山県	廃塩田	4	X	1		○							
	愛媛県	廃塩田		X	1		○							
A0500	福島県	干拓地	1	X	1									
	千葉県	干拓地		X	1									
	石川県	干拓地		X	1									
	愛知県	干拓地	38	X	1									
	鳥取県	干拓地	5	X	1									
	岡山県	干拓地	3	X	1									
	山口県	干拓地	1	X	1									
	香川県	干拓地	1	X	1									
	福岡県	干拓地	19	X	1									
	佐賀県	干拓地		X	1									
	長崎県	干拓地	3	X	1									
	熊本県	干拓地	2	X	1									
	大分県	干拓地	9	X	1									



植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群務コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群務名			
X	58	市街地等	干拓地		干拓地	A0500	宮崎県	干拓地		X	1					
							鹿児島県	干拓地		1	X	1				
							沖縄県	干拓地		X	1					
							北海道	開放水域		934	X	03				
							青森県	開放水域		146	X	03				
							岩手県	開放水域		58	X	03				
							宮城県	開放水域		29	X	03				
							秋田県	開放水域		91	X	03				
							山形県	開放水域		58	X	03				
							福島県	開放水域		195	X	03				
							茨城県	開放水域		262	X	03				
							栃木県	開放水域		7	X	03				
							群馬県	開放水域		60	X	03				
							埼玉県	開放水域		27	X	03				
							千葉県	開放水域		49	X	03				
							東京都	開放水域		54	X	03				
							神奈川県	開放水域		30	X	03				
							新潟県	開放水域		177	X	03				
							富山県	開放水域		21	X	03				
							石川県	開放水域		25	X	03				
							福井県	開放水域		15	X	03				
							山梨県	開放水域		27	X	03				
							長野県	開放水域		69	X	03				
							岐阜県	開放水域		110	X	03				
							静岡県	開放水域		119	X	03				
							愛知県	開放水域		107	X	03				
							三重県	開放水域		49	X	03				
							滋賀県	開放水域		660	X	03				
							京都府	開放水域		14	X	03				
							大阪府	開放水域		44	X	03				
							兵庫県	開放水域		28	X	03				
							奈良県	開放水域		31	X	03				
							和歌山県	開放水域		17	X	03				
							鳥取県	開放水域		23	X	03				
							島根県	開放水域		170	X	03				
							岡山県	開放水域		37	X	03				
							広島県	開放水域		30	X	03				
							山口県	開放水域		37	X	03				
							徳島県	開放水域		18	X	03				
							香川県	開放水域		28	X	03				
							愛媛県	開放水域		21	X	03				
							高知県	開放水域		42	X	03				
							福岡県	開放水域		44	X	03				
							佐賀県	開放水域		16	X	03				
							長崎県	開放水域		6	X	03				
							熊本県	開放水域		9	X	03				
							大分県	開放水域		18	X	03				
							宮崎県	開放水域		51	X	03				
							鹿児島県	開放水域		20	X	03				
							沖縄県	開放水域		2	X	03				
									A0600C	北海道	開放水域	3	X	03		
										青森県	開放水域	26	X	03		
										宮城県	開放水域	41	X	03		
										秋田県	開放水域	28	X	03		
										茨城県	開放水域	1	X	03		
										栃木県	開放水域	19	X	03		
										埼玉県	開放水域	4	X	03		
										静岡県	開放水域	5	X	03		
										愛知県	開放水域	1	X	03		
										京都府	開放水域	3	X	03		
										徳島県	開放水域	10	X	03		
										大分県	開放水域	1	X	03		
									A0700	北海道	自然裸地	276	X	02		
										青森県	自然裸地	36	X	02		
										秋田県	自然裸地	4	X	02		
										山形県	自然裸地	9	X	02		
										福島県	自然裸地	14	X	02		
										茨城県	自然裸地	6	X	02		
										栃木県	自然裸地	104	X	02		
										群馬県	自然裸地	8	X	02		
										埼玉県	自然裸地	10	X	02		
										千葉県	自然裸地	19	X	02		
										東京都	自然裸地	64	X	02		
										神奈川県	自然裸地	9	X	02		
										新潟県	自然裸地	113	X	02		
										富山県	自然裸地	38	X	02		
						開放水域		開放水域								
						自然裸地		自然裸地								

植生区分	大区分コード	大区分	中区分	細区分	凡例名	群集コード	都道府県名	第2回第3回凡例名(都道府県表示)	第5回3次メッシュ数	旧植生区分	自然度コード	変更チェック植生区分	変更チェック群集名
X	58	市街地等	自然裸地		自然裸地	A0700	石川県	自然裸地	28	X	02		
							福井県	自然裸地	12	X	02		
							山梨県	自然裸地	7	X	02		
							長野県	自然裸地	71	X	02		
							岐阜県	自然裸地	62	X	02		
							静岡県	自然裸地	145	X	02		
							愛知県	自然裸地	3	X	02		
							三重県	自然裸地	12	X	02		
							滋賀県	自然裸地	10	X	02		
							京都府	自然裸地	6	X	02		
							大阪府	自然裸地		X	02		
							兵庫県	自然裸地		X	02		
							奈良県	自然裸地	5	X	02		
							和歌山県	自然裸地	46	X	02		
							鳥取県	自然裸地	1	X	02		
							島根県	自然裸地	65	X	02		
							岡山県	自然裸地	7	X	02		
							山口県	自然裸地		X	02		
							徳島県	自然裸地	42	X	02		
							香川県	自然裸地	4	X	02		
							愛媛県	自然裸地	7	X	02		
							高知県	自然裸地	16	X	02		
							福岡県	自然裸地	11	X	02		
							佐賀県	自然裸地	4	X	02		
							長崎県	自然裸地	23	X	02		
							熊本県	自然裸地	24	X	02		
							大分県	自然裸地	8	X	02		
							宮崎県	自然裸地	27	X	02		
							鹿児島県	自然裸地	61	X	02		
							沖縄県	自然裸地	3	X	02		

第5回自然環境保全基礎調査  
植生調査とりまとめ業務 作業担当者

この総合解析は、アジア航測株式会社の以下の  
担当者が実施した。

解 析：環境部                      江田 敏幸（作業責任者）  
   坂井 勇夫  
   丸山 芳史  
   日野 彰彦  
   高梨 淳  
   廣永 茂雄

監 修：取締役（環境担当）  
   赤土 攻

環境庁請負

第5回自然環境保全基礎調査  
植生調査報告書  
(全国版)

平成11(1999)年3月

**環境庁自然保護局**

業務受託者：アジア航測株式会社

東京都新宿区新宿4の2の18

Tel：(03) 5379-2151